

教001	項目名	事務局運営費	
主要な施策	事務局運営費等	ページ	40
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-20-3352		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P32（教001）		
目 事務局費	【事業の概要】 ・全国都市教育長協議会等への教育長、事務局職員の参加旅費 ・教育委員会事務局の運営経費 ・損害賠償請求訴訟弁護業務の委託		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・教育委員とともに事務局職員が、全国都市教育長協議会へ参加することにより、最新教育事情や課題などの情報共有が図られた。 ・損害賠償請求訴訟処理終了により、委託契約していた弁護士へ報酬金の支払いを行った。		
当初予算額	1,437	【今後の課題・方向性】 事務局運営に必要な不可欠な経費であり、今後も適切に処理を行っていく。	
補正予算額	315		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,752	【参考】	
本年度決算額	1,596	評価結果 事務局運営に必要な不可欠な経費であり、今後も適切に処理を行っていく。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,596		
計	1,596		
前年度決算額	1,581		

教002	項目名	学校維持補修費(小学校・通常)	
主要な施策	学校維持補修費	ページ	41
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 小学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P51（教001）、12月補正予算・P32（教002）		
目 学校管理費	【事業の概要】 ・各小学校に日常的に発生する施設の不具合について修繕を行うことにより、安全かつ快適な教育環境を確保する。 ・4月に発生した強風により、学校施設への被害や学校に隣接する墓地の灯籠等に損害を与えてしまったため、施設の修繕、墓石破損復旧賠償を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・日常的に発生する学校施設の修繕 ・強風被害による施設の修繕 ・隣接墓地墓石破損復旧賠償		
当初予算額	34,093	【今後の課題・方向性】 学校施設の適正な維持管理に不可欠なものであり、今後も継続的に修繕等を行っていく。	
補正予算額	14,141		
予算流・充用額	1		
最終予算額	48,235	評価結果 学校施設の適正な維持管理に不可欠なものであり、今後も継続的に修繕等を行っていく。	
本年度決算額	46,820		
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	2,031		
一般財源	44,789		
計	46,820		
前年度決算額	33,249		

教003	項目名	湖山小学校校舎耐震補強事業費	
主要な施策	湖山小学校校舎耐震補強事業費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 小学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P242（教001）		
目 学校建設費	【事業の概要】 湖山小学校の校舎のうち、昭和46、47、49、54年に建設の校舎5棟が耐震性の低い建物と診断され補強が必要となったため、平成23年度に耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得、実施設計業務を行い、平成24年度に耐震補強工事を実施した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 校舎耐震補強工事 ・管理特別教室棟 鉄骨ブレースを14構面設置 ・教室棟 鉄骨ブレースを9構面設置 ・校舎間接続部改修（EXP-J拡幅改修） ・外壁改修 ・屋上防水改修		
当初予算額	219,591	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
補正予算額	△24,220		
予算流・充用額	0		
最終予算額	195,371	【参考】	
本年度決算額	192,285	前年度決算額 9,587	
区分	決算額	評価結果 平成24年度事業完了。	
財源内訳	国・県支出金 80,106		
	地方債 106,400		
	その他 0		
	一般財源 5,779		
	計 192,285		

教004	項目名	面影小学校校舎耐震補強事業費	
主要な施策	面影小学校校舎耐震補強事業費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 小学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P242（教002）、6月補正予算・P27（教001）		
目 学校建設費	【事業の概要】 面影小学校の校舎のうち、昭和47、51、53、56、57年に建設の校舎5棟が耐震性の低い建物と診断され補強が必要となったため、平成23年度に耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得、実施設計業務を行い、平成24年度に耐震補強工事を実施した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 校舎耐震補強工事 ・管理教室棟 鉄骨ブレースを16構面設置 ・教室棟 鉄骨ブレースを10構面設置、耐力壁設置 ・校舎間接続部改修（EXP-J拡幅改修） ・外壁改修 ・屋上防水改修		
当初予算額	236,962	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
補正予算額	37,835		
予算流・充用額	0		
最終予算額	274,797	【参考】	
本年度決算額	266,179	前年度決算額 11,973	
区分	決算額	評価結果 平成24年度事業完了。	
財源内訳	国・県支出金 82,621		
	地方債 174,300		
	その他 0		
	一般財源 9,258		
	計 266,179		

教005	項目名	久松小学校校舎耐震補強事業費	
主要な施策	久松小学校校舎耐震補強事業費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 小学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P243（教003）、6月補正予算・P27（教002）		
目 学校建設費	【事業の概要】 久松小学校の校舎のうち、昭和45年に建設の校舎2棟が耐震性の低い建物と診断され補強が必要となったため、平成23年度に耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得、実施設計業務を行い、平成24年度に耐震補強工事を実施した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 校舎耐震補強工事 ・管理教室棟 鉄骨枠付ブレースを14構面設置、柱補強、耐震スリット施工 ・教室棟 鉄骨ブレースを14構面設置 ・階段室部分外壁化粧ブロック撤去 ・昇降口外壁増設		
当初予算額	155,112	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
補正予算額	10,562		
予算流・充用額	0		
最終予算額	165,674	その他の財源の内訳	
本年度決算額	163,024	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	62,223	
	地方債	42,900	
	その他	0	
	一般財源	57,901	
	計	163,024	
(参考)	前年度決算額	8,381	評価結果 平成24年度事業完了。

教006	項目名	明治小学校校舎耐震補強事業費	
主要な施策	明治小学校校舎耐震補強事業費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 小学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P28（教003）		
目 学校建設費	【事業の概要】 明治小学校の校舎のうち、昭和40年に建設の校舎1棟が耐震性能の低い建物と診断され耐震補強工事が必要となり、工事の実施に向けた審査機関の評定取得、実施設計業務を平成23年度に実施した。 耐震補強工事は、国の補正予算に対応し、平成23年度に学校施設環境改善交付金事業の認定を受け、事業を平成24年度に繰越し行うこととしていたが、計画より補強箇所数等の増工が必要となったため、6月補正予算に計上し繰越予算と合わせて耐震補強工事を実施した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 校舎耐震補強工事 ・鉄骨枠付ブレース 10構面設置 ・鉄筋コンクリート壁 5構面設置 ・階段室壁面の解体復旧		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
補正予算額	19,589		
予算流・充用額	0		
最終予算額	19,589	その他の財源の内訳	
本年度決算額	18,119	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	18,100	
	その他	0	
	一般財源	19	
	計	18,119	
(参考)	前年度決算額	4,096	評価結果 平成24年度事業完了。

教007	項目名	稲葉山小学校校舎耐震補強事業費																					
主要な施策	稲葉山小学校校舎耐震補強事業費	ページ	42																				
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353																						
款 教育費	【9次総の施策体系】1102																						
項 小学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P243(教004)、1月補正予算・P1(教001)																						
目 学校建設費	【事業の概要】 稲葉山小学校の校舎のうち、昭和46、48、50年に建設の校舎4棟が耐震性能の低い建物と診断され耐震補強工事が必要となり、工事の実施に向けた審査機関の評定取得、実施設計業務を平成24年度に実施した。 耐震補強工事は、国の補正予算に対応し、平成24年度の学校施設環境改善交付金事業の認定を受け、事業を平成25年度に繰越し行う。																						
(単位:千円)	・校舎(昭和46、48、50年建築、RC造3階建、延床面積 1,680㎡、Is値0.45)																						
当初予算額	12,212	【事業の成果】 ・耐震補強計画の作成及び審査機関の評定取得。 ・評定結果に基づく耐震補強実施設計の作成。																					
補正予算額	68,713	【今後の課題・方向性】 工事は平成25年度に事業を繰越実施。																					
予算流・充用額	0	【参考】																					
最終予算額	80,925	評価結果	地震時における生徒・教職員の安全が確保できるよう耐震補強工事を進めていく。																				
本年度決算額	5,222	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区分	決算額	<table border="1"> <tr> <th>財源内訳</th> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>4,600</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>622</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,222</td> </tr> </table>		財源内訳	区 分	決算額	財源内訳	国・県支出金	0	地方債	4,600	その他	0	一般財源	622	計	5,222						
財源内訳	区 分	決算額																					
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	4,600																					
	その他	0																					
	一般財源	622																					
	計	5,222																					
前年度決算額	0																						

教008	項目名	明德小学校校舎耐震補強事業費																					
主要な施策	明德小学校校舎耐震補強事業費	ページ	42																				
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353																						
款 教育費	【9次総の施策体系】1102																						
項 小学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P244(教005)																						
目 学校建設費	【事業の概要】 明德小学校の校舎のうち、昭和52、53年に建設の校舎2棟が耐震性能の低い建物と診断され、耐震補強工事が必要となった。																						
(単位:千円)	・校舎(昭和52年建築、RC造3階建、延床面積 1,875㎡、Is値0.49) ・校舎(昭和53年建築、RC造3階建、延床面積 1,209㎡、Is値0.49)																						
当初予算額	13,084	【事業の成果】 ・耐震補強計画の作成及び審査機関の評定取得。 ・評定結果に基づく耐震補強実施設計の作成。																					
補正予算額	△3,077	【今後の課題・方向性】 平成25年度工事実施。																					
予算流・充用額	0	【参考】																					
最終予算額	10,007	評価結果	地震時における生徒・教職員の安全が確保できるよう耐震補強工事を進めていく。																				
本年度決算額	10,001	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区分	決算額	<table border="1"> <tr> <th>財源内訳</th> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>8,700</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,301</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,001</td> </tr> </table>		財源内訳	区 分	決算額	財源内訳	国・県支出金	0	地方債	8,700	その他	0	一般財源	1,301	計	10,001						
財源内訳	区 分	決算額																					
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	8,700																					
	その他	0																					
	一般財源	1,301																					
	計	10,001																					
前年度決算額	0																						

教009	項目名	美和小学校校舎耐震補強事業費	
主要な施策	美和小学校校舎耐震補強事業費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 小学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P244（教006）		
目 学校建設費	【事業の概要】 美和小学校の校舎のうち、昭和42年に建設の校舎1棟が耐震性能の低い建物と診断され、耐震補強工事が必要となった。		
(単位:千円)	・校舎（昭和42年建築、RC造3階建、延床面積 2,281㎡、Is値0.46）		
当初予算額	6,667	【事業の成果】 ・耐震補強計画の作成及び審査機関の評定取得。 ・評定結果に基づく耐震補強実施設計の作成。	
補正予算額	△ 1,094	【今後の課題・方向性】 平成25年度工事実施。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	5,573	【参考】	
本年度決算額	5,430	評価結果	
区分	決算額	地震時における生徒・教職員の安全が確保できるよう耐震補強工事を進めていく。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	4,600		
その他	0		
一般財源	830		
計	5,430		
前年度決算額	0		

教010	項目名	学校維持補修費(中学校・通常)	
主要な施策	学校維持補修費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P51（教002）		
目 学校管理費	【事業の概要】 ・各中学校に日常的に発生する施設の不具合について修繕を行うことによって、安全かつ快適な教育環境を確保する。 ・4月に発生した強風により、中学校12校で防球ネット支柱やガラス等が破損する被害を受けたため修繕を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・日常的に発生する学校施設の修繕 ・強風被害による施設の修繕		
当初予算額	18,936	【今後の課題・方向性】 学校施設の適正な維持管理に不可欠なものであり、今後も継続的に修繕等を行っていく。	
補正予算額	4,386		
予算流・充用額	△ 1,931		
最終予算額	21,391		
本年度決算額	21,222		
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	281		
一般財源	20,941		
計	21,222		
前年度決算額	19,135		

教011	項目名	湖東中学校校舎耐震補強事業費	
主要な施策	湖東中学校校舎耐震補強事業費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P245(教007)		
目 学校建設費	【事業の概要】 湖東中学校の校舎のうち、昭和53、54年に建設の校舎2棟が耐震性の低い建物と診断され補強が必要となったため、平成22年度に耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得、実施設計業務を行い、平成23、24年度に耐震補強工事を実施した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 校舎耐震補強工事 ・耐震補強ブレース26構面設置 ・校舎間接続部改修(EXP-J拡幅改修) ・外壁改修 ・外部建具改修 ・屋上防水改修		
当初予算額	209,195	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
補正予算額	△3,347		
予算流・充用額	0		
最終予算額	205,848	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
本年度決算額	204,810	評価結果 平成24年度事業完了。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金 63,177	平成24年度事業完了。	
	地方債 0		
	その他 141,633		
	一般財源 0		
	計 204,810		
(参考)	前年度決算額 145,459		

教012	項目名	南中学校校舎改築事業費	
主要な施策	南中学校校舎改築事業費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P245(教008)		
目 学校建設費	【事業の概要】 南中学校校舎のうち、昭和43、44(2棟)、45年に建設の校舎が、耐震性能の低い建物と診断され、平成19年度に耐震補強工事実施に向けた審査機関の評定取得を行ったが、耐震補強では南側校舎に補強効果が出ないため改築を行うこととした。 平成21年度に実施設計を行っており、平成23～25年度で改築工事を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 校舎改築工事着工(2年目) 校舎(教室棟):鉄筋コンクリート造 4階建 延床面積 2,990㎡		
当初予算額	299,267	【今後の課題・方向性】 平成25年度完成。	
補正予算額	△7,640		
予算流・充用額	0		
最終予算額	291,627	評価結果 校舎改築工事を行い、生徒・教職員の安全が確保できる教育環境整備を進めていく。	
本年度決算額	291,617		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金 69,004		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 222,613		
	計 291,617		
(参考)	前年度決算額 320,335		

教013	項目名	河原中学校屋内運動場改築事業費	
主要な施策	河原中学校屋内運動場改築事業費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P246(教009)		
目 学校建設費	【事業の概要】 河原中学校の屋内運動場は、耐震性が低く危険であったため、平成19年12月より使用を禁止。平成22年度に校舎改築に伴い解体し、平成23～24年度に改築工事を実施した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 屋内運動場:鉄骨造 延床面積 1,011㎡ 武道練習場:鉄骨造 延床面積 127㎡		
当初予算額	303,085	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
補正予算額	△67,845		
予算流・充用額	0		
最終予算額	235,240	【事業の成果】 屋内運動場:鉄骨造 延床面積 1,011㎡ 武道練習場:鉄骨造 延床面積 127㎡	
本年度決算額	234,709	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
財源内訳	国・県支出金 78,271	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
	地方債 0	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
	その他 0	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
	一般財源 156,438	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
	計 234,709	【今後の課題・方向性】 平成24年度工事完了。	
(参考)	前年度決算額 55,923	評価結果 平成24年度事業完了。	

教014	項目名	河原中学校屋外運動場整備事業費	
主要な施策	河原中学校屋外運動場整備事業費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P246(教010)		
目 学校建設費	【事業の概要】 河原中学校は、平成22～23年度で校舎改築工事を行った。新校舎建設に伴い、グラウンド形状や利用形態(位置)が変更となったため、平成23年度からグラウンド整備工事を行っている。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・グラウンド整備工事着工(2年目) 整備面積 約8,000㎡ 側溝設備、防球ネット、バックネット設置		
当初予算額	54,812	【今後の課題・必要性】 平成25年度完成。	
補正予算額	△13,895		
予算流・充用額	0		
最終予算額	40,917	【今後の課題・必要性】 平成25年度完成。	
本年度決算額	40,917	【今後の課題・必要性】 平成25年度完成。	
区分	決算額	【今後の課題・必要性】 平成25年度完成。	
財源内訳	国・県支出金 9,117	【今後の課題・必要性】 平成25年度完成。	
	地方債 30,200	【今後の課題・必要性】 平成25年度完成。	
	その他 0	【今後の課題・必要性】 平成25年度完成。	
	一般財源 1,600	【今後の課題・必要性】 平成25年度完成。	
	計 40,917	【今後の課題・必要性】 平成25年度完成。	
(参考)	前年度決算額 27,307	評価結果 平成23～25年度の3ヶ年でグラウンド整備工事を行い、教育環境の向上を図る。	

教015	項目名	河原中学校屋外環境整備事業費		
主要な施策	河原中学校屋外運動場整備事業費	ページ	42	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 教育総務課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P33 (教003)			
目 学校建設費	【事業の概要】 河原中学校は、平成22～23年度で校舎改築工事を行い、平成23～24年度にかけて屋内運動場とグラウンド整備を行っている。 屋内運動場が年度末を待たず、1月末での早期完成引渡しとなったことから、外構整備の予定を早めて平成24年度から着工することとした。			
(単位:千円)	【事業の成果】 ・テニスコート整備(2面) ・外構整備(駐車場、通路及び側溝、境界フェンス設置等)			
当初予算額	0	【今後の課題・必要性】 平成25年度完成。		
補正予算額	17,472			
予算流・充用額	0			
最終予算額	17,472	【参考】		
本年度決算額	14,970	評価結果	平成24～25年度で外構整備工事を行い、教育環境の向上を図る。	
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	14,200		
	その他	0		
	一般財源	770		
	計	14,970		
前年度決算額	0			

教016	項目名	北中学校校舎耐震補強事業費		
主要な施策	北中学校校舎耐震補強事業費	ページ	42	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 教育総務課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P247 (教011)			
目 学校建設費	【事業の概要】 北中学校の校舎のうち、昭和52年に建設の校舎1棟が耐震性能の低い建物と診断され補強が必要となったため、平成23年度に耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得、実施設計業務を行い、平成24年度に耐震補強工事を実施した。			
(単位:千円)	【事業の成果】 校舎耐震補強工事 ・教室・特別教室棟 鉄骨ブレースを18構面設置 鉄筋コンクリート耐震壁を7構面設置 ・校舎間接続部改修 (EXP-J改修) ・屋外鉄骨階段の塗装改修			
当初予算額	159,538	【今後の課題・方向性】 校舎耐震補強工事は平成24年度完了。平成25年度から耐震補強校舎以外の校舎改築工事を進めていく。		
補正予算額	△26,799			
予算流・充用額	0			
最終予算額	132,739	評価結果	平成24年度耐震補強工事完了。平成25年度から耐震補強校舎以外の校舎改築工事を進めていく。	
本年度決算額	132,737			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	35,902		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	96,835		
	計	132,737		
前年度決算額	13,981			

教017	項目名	東中学校校舎耐震補強事業費		
主要な施策	東中学校校舎耐震補強事業費	ページ	42	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 教育総務課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P247 (教012)			
目 学校建設費	【事業の概要】 東中学校の校舎のうち、昭和55、56年に建設の校舎3棟が耐震性能の低い建物と診断され、耐震補強工事が必要となった。			
(単位:千円)	・管理特別教室棟 (昭和55,56年建築、RC造3階建、延床面積 3,224㎡、Is値0.44) ・教室棟 (昭和56年建築、RC造3階建、延床面積 2,325㎡、Is値0.42)			
当初予算額	17,960	【事業の成果】 ・耐震補強計画、実施設計業務		
補正予算額	△ 2,420	【今後の課題・方向性】 平成25～26年度工事実施		
予算流・充用額	0			
最終予算額	15,540	【事業の成果】 ・耐震補強計画、実施設計業務		
本年度決算額	14,480	【今後の課題・方向性】 平成25～26年度工事実施		
区分	決算額	【事業の成果】 ・耐震補強計画、実施設計業務		
財源内訳	国・県支出金 0	【今後の課題・方向性】 平成25～26年度工事実施		
	地方債 13,600			
	その他 0			
	一般財源 880			
	計 14,480			
(参考)	前年度決算額 0	評価結果 地震時における生徒・教職員の安全が確保できるよう耐震補強工事を進めていく。		

教018	項目名	気高中学校校舎耐震整備事業費																	
主要な施策	気高中学校校舎耐震補強事業費	ページ	42	所 属 名															
年度	H24	教育委員会事務局 教育総務課																	
会計名	事業の概要																		
一般会計	【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353																		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102																		
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P248 (教013)																		
目 学校建設費	【事業の概要】 気高中学校の校舎のうち、昭和42年に建設の校舎2棟が耐震性能が低い建物と診断されたため、耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得と実施設計を行う。																		
(単位:千円)	<table border="1"> <tr> <td>校舎</td> <td>建築年</td> <td>構造</td> <td>延床面積</td> <td>Is値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>S42年</td> <td>RC造3階建</td> <td>1,952㎡</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td></td> <td>S42年</td> <td>RC造3階建</td> <td>1,789㎡</td> <td>0.45</td> </tr> </table>				校舎	建築年	構造	延床面積	Is値		S42年	RC造3階建	1,952㎡	0.51		S42年	RC造3階建	1,789㎡	0.45
校舎	建築年	構造	延床面積	Is値															
	S42年	RC造3階建	1,952㎡	0.51															
	S42年	RC造3階建	1,789㎡	0.45															
当初予算額	12,447	【事業の成果】 ・校舎耐震診断及び耐力度調査業務																	
補正予算額	△ 5,405	【今後の課題・方向性】 耐震診断評定取得業務の結果、校舎の耐力を確保するためには大規模な補強改修が必要となるため、改築を含めた総合的な検討が必要となった。西部地域の学校のあり方検討と並行し今後の方向性を早急に決定する必要がある。																	
予算流・充用額	0																		
最終予算額	7,042	【事業の成果】 ・校舎耐震診断及び耐力度調査業務																	
本年度決算額	7,041	【今後の課題・方向性】 耐震診断評定取得業務の結果、校舎の耐力を確保するためには大規模な補強改修が必要となるため、改築を含めた総合的な検討が必要となった。西部地域の学校のあり方検討と並行し今後の方向性を早急に決定する必要がある。																	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 耐震診断評定取得業務の結果、校舎の耐力を確保するためには大規模な補強改修が必要となるため、改築を含めた総合的な検討が必要となった。西部地域の学校のあり方検討と並行し今後の方向性を早急に決定する必要がある。																	
財源内訳	国・県支出金 0																		
	地方債 0																		
	その他 0																		
	一般財源 7,041																		
	計 7,041																		
(参考)	前年度決算額 0	評価結果 西部地域の学校のあり方検討と並行し今後の方向性を早急に決定する必要がある。																	

教019	項目名	青谷中学校校舎耐震補強事業費		
主要な施策	青谷中学校校舎耐震補強事業費	ページ	42	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 教育総務課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353			
款 教育費	【9次総の施策体系】 1102			
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P248 (教014)			
目 学校建設費	【事業の概要】 青谷中学校の校舎のうち、昭和34、35年に建設の校舎2棟が耐震性能が低い建物と診断されたため、耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得と実施設計を行う。			
(単位:千円)	校舎 建築年 構造 延床面積 I s 値			
当初予算額	11,131	S34年	RC造3階建	994㎡ 0.43
補正予算額	△7,423	S35年	RC造3階建	1,546㎡ 0.44
予算流・充用額	0	【事業の成果】 ・校舎耐震診断評定取得業務		
最終予算額	3,708	【今後の課題・方向性】 耐震診断評定取得業務の結果、校舎の経過年数、不同沈下、劣化状況等を考慮すると改築に向けた総合的な検討が必要となった。西部地域の学校のあり方検討と並行し今後の方向性を早急に決定する必要がある。		
本年度決算額	3,708	【事業の成果】 ・校舎耐震診断評定取得業務		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 耐震診断評定取得業務の結果、校舎の経過年数、不同沈下、劣化状況等を考慮すると改築に向けた総合的な検討が必要となった。西部地域の学校のあり方検討と並行し今後の方向性を早急に決定する必要がある。		
財源内訳	国・県支出金	0	【事業の成果】 ・校舎耐震診断評定取得業務	
	地方債	0	【今後の課題・方向性】 耐震診断評定取得業務の結果、校舎の経過年数、不同沈下、劣化状況等を考慮すると改築に向けた総合的な検討が必要となった。西部地域の学校のあり方検討と並行し今後の方向性を早急に決定する必要がある。	
	その他	0	【事業の成果】 ・校舎耐震診断評定取得業務	
	一般財源	3,708	【今後の課題・方向性】 耐震診断評定取得業務の結果、校舎の経過年数、不同沈下、劣化状況等を考慮すると改築に向けた総合的な検討が必要となった。西部地域の学校のあり方検討と並行し今後の方向性を早急に決定する必要がある。	
	計	3,708	【事業の成果】 ・校舎耐震診断評定取得業務	
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 西部地域の学校のあり方検討と並行し今後の方向性を早急に決定する必要がある。	

教020	項目名	北中学校校舎改築事業費		
主要な施策	北中学校校舎改築事業費	ページ	42	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 教育総務課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353			
款 教育費	【9次総の施策体系】 1102			
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P249 (教015)			
目 学校建設費	【事業の概要】 北中学校校舎のうち、昭和36、38、40、52年に建設の校舎6棟が耐震性の低い建物と診断され補強が必要となったため、耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得を平成23年度に行った。しかし、このうちの5棟が地盤沈下の影響が激しく、補強工事だけでは耐震効果が出ないと判断されたため、校舎改築を行うこととした。			
(単位:千円)	改築校舎：鉄筋コンクリート造 4階建 延床面積 3,582㎡ 解体撤去（既存校舎 3,538㎡）			
当初予算額	57,568	【事業の成果】 ・校舎改築実施設計業務 ・校舎改築に係る地質調査業務		
補正予算額	△14,744	【今後の課題・方向性】 平成25～27年度工事実施。		
予算流・充用額	0	【事業の成果】 ・校舎改築実施設計業務 ・校舎改築に係る地質調査業務		
最終予算額	42,824	【今後の課題・方向性】 平成25～27年度工事実施。		
本年度決算額	42,740	【事業の成果】 ・校舎改築実施設計業務 ・校舎改築に係る地質調査業務		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 平成25～27年度工事実施。		
財源内訳	国・県支出金	0	【事業の成果】 ・校舎改築実施設計業務 ・校舎改築に係る地質調査業務	
	地方債	40,600	【今後の課題・方向性】 平成25～27年度工事実施。	
	その他	0	【事業の成果】 ・校舎改築実施設計業務 ・校舎改築に係る地質調査業務	
	一般財源	2,140	【今後の課題・方向性】 平成25～27年度工事実施。	
	計	42,740	【事業の成果】 ・校舎改築実施設計業務 ・校舎改築に係る地質調査業務	
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 平成25～27年度に工事を行い、生徒・教職員の安全が確保できる教育環境整備を進めていく。	

教021	項目名	用瀬中学校校舎改築事業費	
主要な施策	用瀬中学校校舎改築事業費	ページ	42
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【9次総の施策体系】 1102		
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P249 (教016)		
目 学校建設費	【事業の概要】 用瀬中学校校舎のうち、昭和32、33年に建設の校舎2棟が耐震性の低い建物と診断され補強が必要となったため、耐震補強工事の実施に向けた審査機関の評定取得を平成23年度に行った。その結果、I s値が0.30以下であるとともに、コンクリート強度や鉄筋調査の数値も低く、今後の補強計画として改築も含めた計画が望ましいと判断されたため、校舎の改築を行う。 これに並行し、平成25年度から用瀬中学校、佐治中学校の統合が決定したため、これを見据えた改築校舎整備を進めていく。		
(単位:千円)	【事業の成果】 校舎改築工事 校舎: 鉄筋コンクリート造 3階建 延床面積 約2,900㎡ 解体撤去 (既存校舎及び附属棟 2,791㎡)		
当初予算額	462,562	【今後の課題・方向性】 平成25年度改築工事完了。	
補正予算額	△ 35,390		
予算流・充用額	0		
最終予算額	427,172	【参考】	
本年度決算額	418,255	前年度決算額 16,174	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金 130,714	平成24～25年度に改築工事を行い、生徒・教職員の安全が確保できる教育環境整備を進めていく。	
	地方債 283,800		
	その他 0		
	一般財源 3,741		
	計 418,255		
その他財源の内訳	分担金 0		
	負担金 0		
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 0		

教022	項目名	放課後児童対策事業費	
主要な施策	放課後児童対策事業費	ページ	29
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 地域・家庭教育係 0857-20-3376		
款 民生費	【9次総の施策体系】 1102		
項 児童福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P250 (教017)、12月補正予算・P33 (教004)		
目 児童福祉総務費	【事業の概要】 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年児童の育成・指導に資するため、放課後児童クラブの運営を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 ○45クラブの運営 利用者数 1,637人 ○用瀬移転 平成22年度: 39クラブの運営 利用者数 1,422人 平成23年度: 43クラブの運営 利用者数 1,505人		
当初予算額	218,476	【今後の課題・方向性】 入級児童数は年々増加しており、大規模クラブの分割等に引き続き取り組む。 また、国の子ども子育て新制度に基づき、平成25年度にニーズ調査、26年度に放課後児童クラブに関する基準を定めた条例を制定する。	
補正予算額	492		
予算流・充用額	0		
最終予算額	218,968	【参考】	
本年度決算額	217,213	前年度決算額 201,475	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金 119,161	共働きや一人親家庭の増加により、放課後児童クラブのニーズは年々高まっており、この傾向は今後も続くものと考えている。このため、大規模化が進行している児童クラブの分割等に引き続き取り組む。 また、平成24年度に国会で成立した子ども子育て関連3法により、平成26年度中に放課後児童クラブに関する基準を定めた条例を制定することとしており、新制度への移行を見据えて取り組んでいく。	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 98,052		
	計 217,213		
その他財源の内訳	分担金 0		
	負担金 0		
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 0		

教023	項目名	姫路市鳥取市中学生交流事業費			
主要な施策	姫路市鳥取市中学校交流事業費	ページ	41	所 属 名	
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366				
款 教育費	【9次総の施策体系】1102				
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P250(教018)				
目 教育振興費	【事業の概要】 鳥取市中学校長会に委託し、両市の中学生が交互に訪問し、合宿生活等を通じて交流を深める。派遣と受入を1年交代で実施している。				
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度は、姫路市から中学生35人を迎え入れ事業を実施した。 平成22年度:受入 姫路市から中学生35人を受け入れ 平成23年度:派遣 姫路市へ中学生35人を派遣				
当初予算額	1,910	【今後の課題・方向性】 今後も両市の交流、生徒の成長のために有効な事業であり、継続・拡充が必要であると考えている。			
補正予算額	0				
予算流・充用額	0				
最終予算額	1,910				
本年度決算額	1,808				
区分	決算額				
財源内訳	国・県支出金				0
	地方債				0
	その他				0
	一般財源				1,808
	計	1,808			
参考)	前年度決算額	444	評価結果	42回の長い歴史を持った本交流事業は、両市の文化交流、中学生の健全育成に有効である。	

教024	項目名	生徒指導専任相談員事業費			
主要な施策	生徒指導対策事業費	ページ	41	所 属 名	
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366				
款 教育費	【9次総の施策体系】1102				
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P251(教019)				
目 教育振興費	【事業の概要】 中学校生徒の学校不適應傾向の解消のため、各中学校に生徒指導専任相談員1名を配置している。				
(単位:千円)	【事業の成果】 18人/18校配置(平成21年度~平成24年度)				
当初予算額	33,542	【今後の課題・方向性】 教育相談室に常駐する生徒指導専任相談員は、さまざまな悩みや不安を抱える中学生にとって安心して相談できる存在である。また、相談室登校生徒の学習支援や教室復帰支援の重要な役割も担っており、不登校担当教員などとの連携により教室復帰する生徒も少なくない。市内全中学校に配置されており、今後も継続した取り組みが必要であると考えている。			
補正予算額	△670				
予算流・充用額	0				
最終予算額	32,872				
本年度決算額	32,836				
区分	決算額				
財源内訳	国・県支出金				0
	地方債				0
	その他				0
	一般財源				32,836
	計	32,836			
参考)	前年度決算額	32,836	評価結果	不適應生徒の学校復帰への足掛かりとしてまた、様々な悩みを持つ思春期の生徒にとって相談室対応は重要であると認識しているが、学校規模により活用状況に違いが見られる。配置人数は変更しないで配置の仕方を工夫したり、大規模校には複数配置したりと、配置のあり方の検討が必要と判断している。	

教025	項目名	不登校対策事業費		
主要な施策	不登校対策事業費	ページ	41	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P251(教020)			
目 教育振興費	【事業の概要】 学校不登校の専門家や地域協力員の活用により、学校不登校の解消に向けた取り組みを行う。 ① 学校不登校対策専門委員会、地域協力員の会、学校代表の会を行い、対策事業を推進する。 ② 学校不登校対策専門委員会の委員を各学校へ派遣し、助言や支援を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 学校不登校対策専門委員会開催3回 委員数14人 (H23 3回 15人、H22 3回 15人) 地域協力員の会開催2回 委員数61人 (H23 2回 61人、H22 2回 61人)			
当初予算額	625	【今後の課題・方向性】 鳥取市の不登校児童生徒出現率は、全国平均に比べ高く、今後も鳥取市不登校対策専門委員会による方針をもとに、各小中学校や中学校区において未然防止と早期対応のための継続的な事業の展開が必要であり、本事業の継続・拡充が必要であると考えている。		
補正予算額	△162	【参考】		
予算流・充用額	0	評価結果		
最終予算額	463	学校と地域、専門機関が連携して、学校不登校の解消にあたっており、今後も事業の継続が必要である。		
本年度決算額	326	その他財源の内訳		
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳	国・県支出金	負担金	0	
	地方債	使用料	0	
	その他	手数料	0	
	一般財源	財産収入	0	
計	326	寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
前年度決算額	589			

教026	項目名	語学指導等外国青年招致事業費		
主要な施策	語学指導等外国青年招致事業費	ページ	41	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P252(教021)			
目 教育振興費	【事業の概要】 財団法人自治体国際化協会から斡旋を受けた外国青年を語学指導助手として各中学校に配置し、英語指導及び国際理解教育の補助を行う。また、中学校区内の小中学校に定期的に派遣し、小学校の外国語活動に携わらせる。			
(単位:千円)	【事業の成果】 語学指導等外国青年を13人配置した。(平成21年度～平成24年度)			
当初予算額	64,722	【今後の課題・方向性】 小学校での外国語活動、中学校での外国語科の授業時数3割増が完全実施となった。したがって、語学指導等外国青年の活用は一層重要となり、その配置の充実が望まれる。		
補正予算額	△1,887	【参考】		
予算流・充用額	△44	評価結果		
最終予算額	62,791	中学校区に語学指導助手を配置することで、小中学校を通じた英語及び国際理解教育の指導補助が可能となり、中学校進学段階ですでに英語に慣れ親しんでおり、学習意欲も高まってきている。今後中学校での活用の充実を図るとともに活用の場を広げ、子どもたちのコミュニケーション能力の一層の向上を図ることが大切である。そのためには、受け入れ事務システムの効率化を図りながら継続的に語学指導助手を確保することが必要である。		
本年度決算額	62,494	その他財源の内訳		
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳	国・県支出金	負担金	0	
	地方債	使用料	0	
	その他	手数料	0	
	一般財源	財産収入	0	
計	62,494	寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	134	
		その他	0	
前年度決算額	62,421			

教027	項目名	市中学校文化連盟補助		
主要な施策	小・中学校文化事業費	ページ	41	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学務係 0857-20-3356			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P34 (教005)			
目 教育振興費	【事業の概要】 市中学校合同文化祭、全日本吹奏楽コンクール中国大会派遣等の事業費に対して補助金を支出する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 全日本吹奏楽コンクール中国大会派遣に対する補助:東中・高草中参加(鳥取市) H23:東中・高草中・国府中参加(広島市) H22:国府中・高草中参加(松江市)			
当初予算額	476	【今後の課題・方向性】 この事業は中学校の文化活動の充実、発展と向上をはかること、及びこれらに対する保護者の経済的負担の軽減を目的としており、今後も継続して実施する必要がある。		
補正予算額	135			
予算流・充用額	0			
最終予算額	611	【参考】		
本年度決算額	610	前年度決算額 2,415		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		この事業は中学校の文化活動の充実、発展と向上をはかること、及びこれらに対する保護者の経済的負担の軽減を目的としており、今後も継続して実施する必要がある。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	610			
計	610			

教028	項目名	小学校外国語活動人材支援事業費		
主要な施策	国際理解教育推進事業費	ページ	41	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】教育センター 0857-36-6060			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P252 (教022)			
目 教育振興費	【事業の概要】 外国語活動の授業を補助する地域人材を活用し、小学校の外国語活動の円滑な実施と充実した外国語活動の実践を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介を受けたりして、5・6年生1クラスあたり、年間8時間分の外国語活動授業において指導の補助を行う。 平成22年度:39校 986回 平成23年度:39校 945回 平成24年度:38校 975回			
当初予算額	2,860	【今後の課題・方向性】 担任単独の授業に加えて、外国語に堪能な地域人材やネイティブスピーカーとふれ合うことは、児童が外国語を通してコミュニケーション能力の素地を養うために大変効果的である。また、必要に応じて、外国語活動支援員の研修を行い、小学校外国語活動の趣旨に沿った指導力の向上を図っていくことが必要である。		
補正予算額	△300			
予算流・充用額	△100			
最終予算額	2,460	【参考】		
本年度決算額	2,445	小学校で新しく導入された外国語活動を中学校での外国語の学習に効果的につなぐためにも、地域の人材や留学生を活用した支援事業は効果的である。ネイティブスピーカーに触れることにより、外国語や外国に対する興味・関心を高め、中学校での学習をより意欲的なものにするなど大いに期待される。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	2,445			
計	2,445			
前年度決算額	2,382			

教029	項目名	学校図書館活用推進事業費	
主要な施策	学校図書館活用推進事業費	ページ	41
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学務係 0857-20-3356		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P253(教022)		
目 教育振興費	【事業の概要】 下記業務を行うため、学校図書館司書を配置する。 ① 図書館資料の収集や児童生徒及び教員の利用に供する業務、及び児童生徒の読書指導や総合的な学習の時間・各教科の学習に活用する図書との照会相談業務 ② 朝の読書や読み聞かせ、さらに他の学校図書館、県市立図書館との連携業務 ③ 充実した図書館経営を行うための研修への参加		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度:各学校に計58名配置。 H23:各学校に計57名配置 H22:各学校に計57名配置		
当初予算額	102,417	【今後の課題・方向性】 今後は、業務負担の大きい2校兼務を無くし専任配置を進めていく必要がある。	
補正予算額	473		
予算流・充用額	0		
最終予算額	102,890	【参考】	
本年度決算額	102,787	評価結果 学校図書館司書は児童生徒の教育力向上のため重要な役割を担っており、全校単独配置は必要である。	
区分	決算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	102,787	財産収入	0
計	102,787	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
前年度決算額	100,626		

教030	項目名	地域で学ぶ職場体験活動事業費	
主要な施策	地域で学ぶ職場体験活動事業費	ページ	41
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P253(教024)		
目 教育振興費	【事業の概要】 事業は、「鳥取市ワクワクとっとり推進協議会」に委託して実施し、市内中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、中学校区を中心に地域の事業所や施設等で連続する3～5日間の職場体験活動を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 各中学校区では、「中学校区推進協議会」を中心に事業を実施しており、学校・地域・保護者の協働が進んでいる。生徒は、事業を通して働くことの意義や喜び、あいさつや言葉遣い等の社会人としてのマナーの大切さに改めて気付く機会となっている。 平成24年度 全18中学校で実施し、第2学年生徒1,584名が参加。 H23:中学生1,713人、協力企業等646事業所 H22:中学生1,715人、協力企業等651事業所		
当初予算額	3,004	【今後の課題・方向性】 新学習指導要領の中でキャリア教育の重要性は高まっており、本事業の意義は大きい。一方で、各教科の授業時数増加もあり、本年度は体験活動日数を3～5日としたが、その検証が必要である。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	3,004	【参考】	
本年度決算額	3,003	評価結果 キャリア教育の中で中核をなす事業であり、「生きる力」を身につけ、しっかりとした職業観・勤労観の育成に役立っている。地域で生徒を育むという意識の高揚を図り、鳥取市教育ビジョンめざす子ども像「ふるさとを思い、志を持つ子」の育成につながる有効な事業であり、継続を望む。	
区分	決算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	3,003	財産収入	0
計	3,003	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
前年度決算額	3,122		

教031	項目名	複式学級解消事業費	
主要な施策	複式学級解消事業費	ページ	41
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P254(教025)		
目 教育振興費	【事業の概要】 小学校の複式学級解消は、国の基準(公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律)では2箇学年で17名、県の基準(鳥取県公立小・中・特別支援学校学級編成基準)では2箇学年で16名で対象となるが、15名以下は対象外である。2箇学年で15名以下となる学級に対し複式学級支援臨時を配置することにより、複式学級による種々の困難点を解消し、中山間地域小規模校の特性を生かした決め細かな指導の充実を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度:臨時加配教員8名を配置(神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名) H23:9名(神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名、逢坂小1名) H22:9名(神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名、逢坂小1名)		
当初予算額	30,197	【今後の課題・方向性】 複式学級の学級運営上、人的配置をすることはきめ細かい指導の充実に有効であり、今後も配置していく必要がある。また、今後は担任補助として配置されている現在の臨時教員が、担任することが可能となるよう制度の見直しを図る必要がある。	
補正予算額	△1,707	【事業の成果】 平成24年度:臨時加配教員8名を配置(神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名) H23:9名(神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名、逢坂小1名) H22:9名(神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名、逢坂小1名)	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 複式学級の学級運営上、人的配置をすることはきめ細かい指導の充実に有効であり、今後も配置していく必要がある。また、今後は担任補助として配置されている現在の臨時教員が、担任することが可能となるよう制度の見直しを図る必要がある。	
最終予算額	28,490	【事業の成果】 平成24年度:臨時加配教員8名を配置(神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名) H23:9名(神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名、逢坂小1名) H22:9名(神戸小、東郷小、明治小、瑞穂小各2名、逢坂小1名)	
本年度決算額	28,417	【今後の課題・方向性】 複式学級の学級運営上、人的配置をすることはきめ細かい指導の充実に有効であり、今後も配置していく必要がある。また、今後は担任補助として配置されている現在の臨時教員が、担任することが可能となるよう制度の見直しを図る必要がある。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 複式学級の学級運営上、人的配置をすることはきめ細かい指導の充実に有効であり、今後も配置していく必要がある。また、今後は担任補助として配置されている現在の臨時教員が、担任することが可能となるよう制度の見直しを図る必要がある。	
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 複式学級の学級運営上、人的配置をすることはきめ細かい指導の充実に有効であり、今後も配置していく必要がある。また、今後は担任補助として配置されている現在の臨時教員が、担任することが可能となるよう制度の見直しを図る必要がある。
地方債	0		
その他	0		
一般財源	28,417		
計	28,417		
(参考)	前年度決算額	32,483	評価結果 2箇学年で15名以下となる学級に対し複式学級支援臨時教員を配置することにより、複式学級による種々の困難点を解消し円滑な学級運営を図る上で効果の高い事業である。今後も配置の必要性があるとともに、加配教員(講師)が学級を担当できるよう制度の見直しも検討していきたい。

教032	項目名	自立と創造の学校づくり推進事業費	
主要な施策	教育改革推進事業費	ページ	40
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P254(教026)		
目 教育振興費	【事業の概要】 学校の創意工夫・自主的な取組に関して、各学校が企画立案したものを教育委員会が評価・査定をし、必要な予算を措置する。市は、鳥取市小学校教育研究会及び鳥取市中学校教育振興会に委託して事業を実施する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ① 一律支援予算による事業 従来より効果的に展開されてきた事業並びに日常の教育活動について、児童・生徒数に応じて自主的に学校が運営できる予算として配分した。 ② 特別支援予算による事業 特色ある学校づくりのために独自に企画立案した計画書をもとに成果が期待される事業に対して、評価・査定を行った上で予算配分した。 平成24年度 19,455,000円		
当初予算額	19,735	【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、中学校区の特徴ある取組への支援拡充も含め、事業内容の見直しと改善を図りながら充実にしていきたい。	
補正予算額	△280	【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、中学校区の特徴ある取組への支援拡充も含め、事業内容の見直しと改善を図りながら充実にしていきたい。	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、中学校区の特徴ある取組への支援拡充も含め、事業内容の見直しと改善を図りながら充実にしていきたい。	
最終予算額	19,455	【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、中学校区の特徴ある取組への支援拡充も含め、事業内容の見直しと改善を図りながら充実にしていきたい。	
本年度決算額	19,455	【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、中学校区の特徴ある取組への支援拡充も含め、事業内容の見直しと改善を図りながら充実にしていきたい。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、中学校区の特徴ある取組への支援拡充も含め、事業内容の見直しと改善を図りながら充実にしていきたい。	
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、中学校区の特徴ある取組への支援拡充も含め、事業内容の見直しと改善を図りながら充実にしていきたい。
地方債	0		
その他	0		
一般財源	19,455		
計	19,455		
(参考)	前年度決算額	19,763	評価結果 地域に開かれた魅力ある学校づくりを実現するため、学校の創意工夫・自主的な取組を進めていく必要がある。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、小中一貫教育推進プランを基盤とした中学校区の特徴ある取組への支援拡充も含め、事業内容の見直しと改善を図りながら充実にしていきたい。

教033	項目名	小中一貫教育推進事業費		
主要な施策	教育改革推進事業費	ページ	40	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P255(教027)			
目 教育振興費	【事業の概要】 湖南学園において、9年間を見通した教育課程の編成と授業改善について実践を積み重ね、授業公開を通してその成果を広く発信する。他の中学校区は、それを先行事例としながら、トリニティープラン等で培われた学校・家庭・地域が一体となった教育基盤のもとに、9年間を見通した一貫教育を推進する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 ① 湖南学園における9年間を見通した教育実践と研究発表会の実施 ② 各中学校区における「小中一貫教育推進プラン」に基づいた教育実践			
当初予算額	1,382	【今後の課題・方向性】 「小中一貫教育推進プラン」に基づいた各中学校区の取組を積極的に情報発信し、中学校区全体で子どもを育てる気運を高めていくことが大切である。また、各中学校区が創造的な取組を推進しやすい支援を工夫することが必要である。		
補正予算額	△240	【事業の成果】		
予算流・充用額	△36	① 湖南学園における9年間を見通した教育実践と研究発表会の実施 ② 各中学校区における「小中一貫教育推進プラン」に基づいた教育実践		
最終予算額	1,106	【今後の課題・方向性】		
本年度決算額	905	「小中一貫教育推進プラン」に基づいた各中学校区の取組を積極的に情報発信し、中学校区全体で子どもを育てる気運を高めていくことが大切である。また、各中学校区が創造的な取組を推進しやすい支援を工夫することが必要である。		
区分	決算額	【事業の成果】		
財源内訳	0	① 湖南学園における9年間を見通した教育実践と研究発表会の実施 ② 各中学校区における「小中一貫教育推進プラン」に基づいた教育実践		
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】		
地方債	0	「小中一貫教育推進プラン」に基づいた各中学校区の取組を積極的に情報発信し、中学校区全体で子どもを育てる気運を高めていくことが大切である。また、各中学校区が創造的な取組を推進しやすい支援を工夫することが必要である。		
その他	0	【事業の成果】		
一般財源	905	① 湖南学園における9年間を見通した教育実践と研究発表会の実施 ② 各中学校区における「小中一貫教育推進プラン」に基づいた教育実践		
計	905	【今後の課題・方向性】		
(参考)	【事業の成果】			
前年度決算額	1,784	① 湖南学園における9年間を見通した教育実践と研究発表会の実施 ② 各中学校区における「小中一貫教育推進プラン」に基づいた教育実践		
評価結果	各中学校区では、小中一貫教育の重要性への意識が高まり、特色ある取組が進んできている。今後、県の事業も活用しながら、その成果を積極的に情報発信し、中学校区全体で子どもを育てる気運を高めていくことが大切である。また、これまでの取組を踏まえながら今後の小中一貫教育の方向性を考えると、各中学校区が創造的な取組を推進しやすい支援を工夫することが必要である。			

教034	項目名	モラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくり事業費		
主要な施策	教育改革推進事業費	ページ	40	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P255(教028)			
目 教育振興費	【事業の概要】 ① モラル向上パンフレット・チラシ・ポスターの配布による啓発活動 ② モラルやマナーを大切にする地域の自主的な啓発活動の支援 (「草の根活動」促進委託事業)			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 ① リーフレット、ポスター印刷等の配布 ・新入生児童、子育て・親育ち講座、鳥取市教育フォーラム等 ② 「草の根活動」事業委託@50,000円×11団体 ・挨拶運動、親子地域清掃活動、モラル等に関する講演会の実施等			
当初予算額	1,210	H23:リーフレット、ポスター印刷等、「草の根活動」事業委託@50,000円×12団体 H22:リーフレット、ポスター印刷等、「草の根活動」事業委託@50,000円×13団体		
補正予算額	△350	【今後の課題・方向性】 今後は、トリニティープランや小中一貫教育推進プランとの連携を図りながら、中学校区でのモラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくりをさらに効果的に進める必要がある。		
予算流・充用額	△2	【事業の成果】		
最終予算額	858	① リーフレット、ポスター印刷等の配布 ・新入生児童、子育て・親育ち講座、鳥取市教育フォーラム等 ② 「草の根活動」事業委託@50,000円×11団体 ・挨拶運動、親子地域清掃活動、モラル等に関する講演会の実施等		
本年度決算額	853	H23:リーフレット、ポスター印刷等、「草の根活動」事業委託@50,000円×12団体 H22:リーフレット、ポスター印刷等、「草の根活動」事業委託@50,000円×13団体		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】		
財源内訳	0	今後は、トリニティープランや小中一貫教育推進プランとの連携を図りながら、中学校区でのモラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくりをさらに効果的に進める必要がある。		
国・県支出金	0	【事業の成果】		
地方債	0	① リーフレット、ポスター印刷等の配布 ・新入生児童、子育て・親育ち講座、鳥取市教育フォーラム等 ② 「草の根活動」事業委託@50,000円×11団体 ・挨拶運動、親子地域清掃活動、モラル等に関する講演会の実施等		
その他	0	H23:リーフレット、ポスター印刷等、「草の根活動」事業委託@50,000円×12団体 H22:リーフレット、ポスター印刷等、「草の根活動」事業委託@50,000円×13団体		
一般財源	853	【今後の課題・方向性】		
計	853	今後は、トリニティープランや小中一貫教育推進プランとの連携を図りながら、中学校区でのモラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくりをさらに効果的に進める必要がある。		
(参考)	【事業の成果】			
前年度決算額	884	① リーフレット、ポスター印刷等の配布 ・新入生児童、子育て・親育ち講座、鳥取市教育フォーラム等 ② 「草の根活動」事業委託@50,000円×11団体 ・挨拶運動、親子地域清掃活動、モラル等に関する講演会の実施等		
評価結果	教育委員会が作成した「鳥取市取組スタンダード(みんなで人づくり)」を実現するため、児童生徒と関わりの深い地域の各種団体の取り組みを促し支援することは、将来に渡って効果ある取り組みと考える。平成24年度は11団体の実施に止まったが、各種団体への呼びかけの工夫やトリニティープラン・小中一貫教育推進プランとの連携を図りながら、実施団体を増やしていきたい。			

教035	項目名	小規模校特別転入制度推進費
------	-----	---------------

主要な施策	小規模校特別転入制度推進費	ページ	40
-------	---------------	-----	----

所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	
-----	--

一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)

当初予算額	180
-------	-----

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	180
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収金	0
その他	0

本年度決算額	170
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	170
計	170

【問合せ先】指導係 0857-20-3357

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P256(教029)

【事業の概要】  
中山間地域小規模校では、地域の特性を活かした特色ある教育が意欲的に進められ成果をあげている。校区を越えてこれら中山間地域小規模校への通学を認めることで、中山間地域小規模校に入学・転学することを希望する児童・保護者にその機会を提供する。

【事業の成果】  
1 神戸小・東郷小・明治小・瑞穂小・逢坂小・湖南学園小・西郷小の7校が特認校として事業を実施。  
2 小規模校特別転入制度実施推進委員会を年3回実施し、特認校区の取組の情報交換、市民への制度の周知を実施。  
3 市民、幼・保育園、学校等への情報提供及び特認校区での説明・啓発活動の実施。  
平成24年度の制度利用者 25名(神戸小2名・東郷小7名・瑞穂小2名・湖南学園小14名)

H23: 実施校6校(神戸、東郷、明治、逢坂、瑞穂、湖南学園)  
転入実績18人(東郷5、瑞穂2、神戸2、湖南学園9)  
H22: 実施校6校(神戸、東郷、明治、逢坂、瑞穂、湖南学園)  
転入実績7人(東郷5、瑞穂1、神戸1)

【今後の課題・方向性】  
中山間地域小規模校の特色ある学校づくりを支援すると共に、転入学を希望する児童・保護者にその機会を保障していくために制度を維持拡充していく必要がある。また、啓発広報活動の方法やそれに係る予算の確保が必要である。

(参考)

前年度決算額	153
--------	-----

評価結果	小規模校特別転入制度実施推進委員会が中心となり、市民への制度の周知を継続的に行うことで、制度を活用して転入学をする児童が年々増加してきている。また、一連の取組を通して中山間地域小規模校の魅力ある学校づくりや地域の特色を発信する良い機会となっている。今後も啓発広報活動の方法を工夫しそれに係る予算確保をしながら制度の維持・拡充を進める必要がある。
------	--

教036	項目名	新学習指導要領を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究費
------	-----	-------------------------------

主要な施策	学力向上推進事業費	ページ	40
-------	-----------	-----	----

所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	
-----	--

一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)

当初予算額	0
-------	---

補正予算額	131
-------	-----

予算流・充用額	3
---------	---

最終予算額	134
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収金	0
その他	0

本年度決算額	118
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	118
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	118

【問合せ先】指導係 0857-20-3357

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
6月補正予算・P28(教004)

【事業の概要】  
全国学力・学習状況調査の分析結果では、鳥取市の児童生徒の学習習慣や学習意欲、学んだことを活用する力に課題があることが明らかになった。家庭学習時間の不足や自主的、自発的な学習が促されるよう学力向上に向けての「学習意欲の向上」及び教職員の授業力の向上をさらに図っていくことが必要である。

【事業の成果】  
「学力の向上」を重点目標とし、以下の項目を中心に教師の授業力の向上、学習習慣の定着を進める。  
●授業における「ねらい」と「指導」と「評価」を明確にし、すべての児童生徒が「わかる」「教科の面白さを感じる」授業づくり  
●基礎学力の定着を図り、一人ひとりに応じたきめ細かな教育の充実  
●自主的・自発的な学習が促される家庭・地域と協力した「学びの習慣化」の取り組み  
●小中9年間を見通した系統的かつ効果的な教育実践

【事業の内容・実績】  
○外部講師を招聘した授業研究会を実施する。  
○先進地の視察を行う。  
※事業実績 平成23年度対象校 福部中学校  
平成24年度対象校 東郷小学校

(参考)

前年度決算額	206
--------	-----

評価結果	学力向上にかかる先進地視察、外部講師を招聘した研修会の開催を通じて国語科を柱とした授業改善に積極的に取り組み、その成果を中学校区を中心に授業公開や研究会で広めることができた。
------	---

教037	項目名	教育センター運営事業費
------	-----	-------------

主要な施策	教育センター運営事業費	ページ	40
-------	-------------	-----	----

所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	20,603
補正予算額	△ 903
予算流・充用額	0

最終予算額	19,700
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	2,789
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	46
その他	0

本年度決算額	19,223
--------	--------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	2,835
一般財源	16,388
計	19,223

【問合せ先】教育センター 0857-36-6060

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P257(教031)

【事業の概要】  
県が対応してきた適応指導教室による児童生徒への支援を継続、充実するとともに、教育相談機能を位置づけ、不登校やいじめに対する相談活動を推進する。また、教職員の指導力向上を図るための研修を企画、実施するなど、市内の児童生徒、保護者、教職員にとって様々な支援を行う総合的、実践的な役割を果たす。

【事業の成果】  
平成24年度：教育相談延べ745件（H23：724件、H22：583件）、適応指導教室「すなはま」通級数延べ1,482人（H23：869人、H22：1,465人）、教職員研修 計10回 243人参加（H23：13回 275人、H22：2回 47人）、ひびきセミナー3回 77人参加（H23：6回 168人、H22：11回 202人）研修室利用延べ6,884人（H23：5,852人、H22：5,248人）、体育館利用人数延べ24,733人（H23：22,361人、H22：27,110人）

【今後の課題と方向性】  
学校不適応児童生徒の実態把握と支援について学校教育課と連携しながら個々の児童生徒の課題を把握し、個に応じた支援策を講じていく必要がある。また、研修企画についても特別支援教育の視点や学級作りを意識した新たな企画が求められている。さらに、小中のつながりを深めながら事業を企画する必要がある。そのためには本センターの質の充実を一層図る必要がある。

(参考)	
前年度決算額	19,372

評価結果	学校不適応児童生徒の実態把握と支援について学校教育課と連携しながら個々の児童生徒の課題を把握し、個に応じた支援策を講じていく必要がある。また、研修企画についても特別支援教育の視点や学級作りを意識した新たな企画が求められている。さらに、小中のつながりを深めながら事業を企画する必要がある。そのためには本センターの質の充実を一層図る必要がある。
------	--

教038	項目名	特別支援教育支援員配置事業費
------	-----	----------------

主要な施策	特別支援教育支援員配置事業費	ページ	40
-------	----------------	-----	----

所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

(単位:千円)	
当初予算額	29,367
補正予算額	1,922
予算流・充用額	0

最終予算額	31,289
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

本年度決算額	30,566
--------	--------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	30,566
計	30,566

【問合せ先】指導係 0857-20-3357

【9次総の施策体系】1102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P256(教030)

【事業の概要】  
個別の配慮を必要とする児童生徒個々のニーズに応じた学習指導や生活指導を支援する。

【事業の成果】  
特別支援教育支援員配置  
平成22年度＝18名  
平成23年度＝20名  
平成24年度＝23名

【今後の課題・方向性】  
全国的に、学習中に個別の配慮を必要とする児童生徒が増加しており、本市においても今後、ますます特別支援教育支援員の配置要望校は増える見込んでいる。

(参考)	
前年度決算額	25,906

評価結果	年々、配置数を少しずつ拡充してきたところであるが、学習中に個別に配慮を必要とする児童生徒の支援のため、今後も、少しずつ小中学校の配置校を増やす方針である。
------	---

教039	項目名	特別支援教育総合推進事業費		
主要な施策	特別支援教育支援員配置事業費	ページ	40	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P29(教005)			
目 教育振興費	【事業の概要】 発達障がいを含むすべての障がいのある幼児児童生徒の一貫した支援を行う中学校区を推進地域として指定し、地域の体制整備及び理解啓発活動の促進を図るため推進地域内の小中学校の特別支援教育主任の中から早期支援コーディネーターを1名を指名し、地域内の体制整備の推進役として活動を行う。 また、早期支援コーディネーターとして活動を行う時間(週8時間)の授業を補充する非常勤職員を配置する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 湖東中学校区を推進地域として指定し、湖東中学校区内の保・幼・小・中学校において特別支援教育の体制整備づくりを行った。			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって小学校とつながり、地域の支援体制を推進していく取組を他の中学校区にも広げ、自然体の特別支援教育の推進や不適応の解消に成果を上げていく。		
補正予算額	840			
予算流・充用額	4			
最終予算額	844	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。		
本年度決算額	840	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。		
財源内訳	決算額	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。		
国・県支出金	560	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。		
地方債	0	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。		
その他	0	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。		
一般財源	280	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。		
計	840	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。		
(参考)	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。			
前年度決算額	0	【今後の課題・方向性】 支援コーディネーターが中学校区の中心となって、保・幼・小・中学校・専門機関を太くつなぐことにより、保護者、児童生徒を一貫して支援する体制が充実してきた。今後も事業を継続し、中学校区での特別支援教育のあり方を改善していくことが必要である。		

教040	項目名	心や性に関する専門家派遣事業費		
主要な施策	心や性に関する専門家派遣事業費	ページ	41	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P265(教047)			
目 教育振興費	【事業の概要】 心や性に関する健康問題、命の問題について専門家を中学校へ派遣し、生徒の心身の健康を保持増進するとともに、学校が行う性教育に対する支援体制の充実を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 17中学校、37回実施 (H23 17中学校 37回実施)			
当初予算額	444	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
最終予算額	444	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
本年度決算額	444	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
財源内訳	決算額	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
国・県支出金	222	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
地方債	0	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
その他	0	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
一般財源	222	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
計	444	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		
(参考)	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。			
前年度決算額	444	【今後の課題・方向性】 生徒の心や性に関する生徒指導上の問題や相談に対しては、専門家の支援が大変有効で、心身の健康を保持増進することは、新学習指導要領にも位置付けられているため、今後も継続が望まれる事業である。		

教041	項目名	スクールソーシャルワーカー活用事業費	
主要な施策	スクールソーシャルワーカー活用事業費	ページ	40
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P257 (教032)		
目 教育振興費	【事業の概要】 学校教育課に社会福祉士等の資格を持つ人材をスクールソーシャルワーカーとして配置し、学校や関係諸機関との連絡調整や支援会議への参加、該当の児童生徒及び保護者に対する相談や働きかけを行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 スクールソーシャルワーカーとして2名を配置し、該当の児童生徒及び保護者に対する相談や働きかけを早期に行うことができた。(平成23年度~)		
当初予算額	4,023	【今後の課題・方向性】 不登校、問題行動等の問題は、学校だけで対応することが困難な場合も少なくない。これらの解決のためには、関係機関との連携が必要であり、教育と福祉の両面から事例をとらえ専門的な知識や経験を持って早期対応にあたるスクールソーシャルワーカーの役割は大きい。学校・家庭・関係機関の円滑な連携の要であり、今後も事業の積極的な拡充が必要であると考えている。	
補正予算額	△1,304		
予算流・充用額	0		
最終予算額	2,719	【今後の課題・方向性】 不登校、問題行動等の問題は、学校だけで対応することが困難な場合も少なくない。これらの解決のためには、関係機関との連携が必要であり、教育と福祉の両面から事例をとらえ専門的な知識や経験を持って早期対応にあたるスクールソーシャルワーカーの役割は大きい。学校・家庭・関係機関の円滑な連携の要であり、今後も事業の積極的な拡充が必要であると考えている。	
本年度決算額	2,566	【今後の課題・方向性】 不登校、問題行動等の問題は、学校だけで対応することが困難な場合も少なくない。これらの解決のためには、関係機関との連携が必要であり、教育と福祉の両面から事例をとらえ専門的な知識や経験を持って早期対応にあたるスクールソーシャルワーカーの役割は大きい。学校・家庭・関係機関の円滑な連携の要であり、今後も事業の積極的な拡充が必要であると考えている。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 不登校、問題行動等の問題は、学校だけで対応することが困難な場合も少なくない。これらの解決のためには、関係機関との連携が必要であり、教育と福祉の両面から事例をとらえ専門的な知識や経験を持って早期対応にあたるスクールソーシャルワーカーの役割は大きい。学校・家庭・関係機関の円滑な連携の要であり、今後も事業の積極的な拡充が必要であると考えている。	
財源内訳	国・県支出金	1,713	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	853	
	計	2,566	
(参考)	評価結果	学校からの相談事案が増加している。福祉と教育の専門的知識や経験を生かして関係機関との連携に大きく貢献しており、学校不適応対策の取り組みとして大変有効であり継続を希望する。	
前年度決算額	737		

教042	項目名	遠距離通学費補助金(小学校)	
主要な施策	遠距離通学費補助金	ページ	40
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学務係 0857-20-3356		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P258 (教033)		
目 教育振興費	【事業の概要】 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する児童の保護者に対し、バス定期券の購入又は自家用車等で送迎により通学にかかる経費の一部を補助し、経済的負担の軽減を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 遠距離通学する生徒の保護者の経済的負担の軽減が図られている。 平成24年度支給者 658人 H23: 645人 H22: 760人		
当初予算額	17,164	【今後の課題・方向性】 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する児童の保護者に対し、経済的負担を軽減することは、今後も必要である。	
補正予算額	△436		
予算流・充用額	0		
最終予算額	16,728	【今後の課題・方向性】 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する児童の保護者に対し、経済的負担を軽減することは、今後も必要である。	
本年度決算額	16,609	【今後の課題・方向性】 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する児童の保護者に対し、経済的負担を軽減することは、今後も必要である。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する児童の保護者に対し、経済的負担を軽減することは、今後も必要である。	
財源内訳	国・県支出金	856	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	15,753	
	計	16,609	
(参考)	評価結果	遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する児童の保護者に対し、経済的負担を軽減することは、今後も必要である。また、平成22年度に全市域統一した制度で実施している事業であり、課題等が生じた場合は、適宜見直しを図っていく必要があると考えている。	
前年度決算額	16,936		

教043	項目名	遠距離通学費補助金(中学校)																						
主要な施策	遠距離通学費補助金	ページ	40	所 属 名																				
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】学務係 0857-20-3356																							
款 教育費	【9次総の施策体系】1102																							
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P258(教034)																							
目 教育振興費	【事業の概要】 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する生徒の保護者に対し、バス定期券の購入又は自家用車等で送迎により通学にかかる経費の一部を補助し、経済的負担の軽減を図る。																							
(単位:千円)	【事業の成果】 遠距離通学する生徒の保護者の経済的負担の軽減が図られている。 平成24年度支給者 108人 H23:98人 H22:143人																							
当初予算額	15,758	【今後の課題・方向性】 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減することは、今後も必要である。																						
補正予算額	△ 8,165																							
予算流・充用額	0																							
最終予算額	7,593	【評価結果】 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減することは、今後も必要である。また、平成22年度に全市域統一した制度で実施している事業であり、課題等が生じた場合は、適宜見直しを図っていく必要があると考えている。																						
本年度決算額	7,431	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
区分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	0																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	7,431																						
	計	7,431																						
(参考)	前年度決算額	7,154																						

教044	項目名	郡山市鳥取市小学生交流事業費																						
主要な施策	郡山市鳥取市小学生交流事業費	ページ	40	所 属 名																				
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366																							
款 教育費	【第9次総の施策体系】1102																							
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P259(教035)																							
目 教育振興費	【事業の概要】 郡山市との交流を深めるため、両市の小学生を隔年で双方の市に派遣し、両市の特色を生かした交流を行う。両市の小学生が体験活動や宿泊等で交流活動を行う。																							
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度は、市内15校から22名の児童が郡山市を訪問。両市児童が自然体験活動や歴史・文化理解等を通じ絆を深め、姉妹都市としての結びつきを強めるきっかけとなった。 H23:市内45校(附属小含む)が郡山市58校へ「応援メッセージ」を作成し届けた。 H22:郡山市小学生29名・引率8名 計37名で鳥取市を訪問																							
当初予算額	1,900	【今後の課題・方向性】 郡山市と鳥取市の小学生が隔年で双方の市を訪問し、自然体験活動等を行う。事業は、鳥取市小学校長会に委託し実施する。																						
補正予算額	△ 24																							
予算流・充用額	0																							
最終予算額	1,876	【評価結果】 相互に訪問しての交流事業を継続し、姉妹都市としての絆を一層深めていく必要がある。																						
本年度決算額	1,703	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
区分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	0																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	1,703																						
	計	1,703																						
(参考)	前年度決算額	879																						

教045	項目名	要保護・準要保護児童就学援助費(小学校)		
主要な施策	要保護・準要保護児童就学援助費	ページ	40	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学務係 0857-20-3356			
款 教育費	【9次総の施策体系】0201			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P34(教006)			
目 教育振興費	【事業の概要】 経済的な理由により教育費に困っている保護者に対し、就学のため必要な学用品費、修学旅行費等の一部を援助することにより、要保護及び準要保護世帯の経済的負担の縮減を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度認定 小学校1, 122人 H23: 1, 085人 H22: 1, 074人			
当初予算額	24,916	【今後の課題・方向性】 援助対象者は年々増加している。援助を必要とする保護者の増加が見込まれるため、継続実施していく必要がある。		
補正予算額	1,460			
予算流・充用額	0			
最終予算額	26,376	評価結果		
本年度決算額	25,906	要保護及び準要保護世帯の経済的な負担の縮減を図るため、今後も継続実施していく必要がある。		
区分	決算額	要保護及び準要保護世帯の経済的な負担の縮減を図るため、今後も継続実施していく必要がある。		
財源内訳	国・県支出金 563			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 25,343			
	計 25,906			
(参考)	前年度決算額	25,330		

教046	項目名	要保護・準要保護児童就学援助費(中学校)		
主要な施策	要保護・準要保護児童就学援助費	ページ	40	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学務係 0857-20-3356			
款 教育費	【9次総の施策体系】1101			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P35(教007)			
目 教育振興費	【事業の概要】 経済的な理由により教育費に困っている保護者に対し、就学のため必要な学用品費、修学旅行費等の一部を援助することにより、要保護及び準要保護世帯の経済的負担の縮減を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度認定 中学校649人 H23: 640人 H22: 653人			
当初予算額	32,260	【今後の課題・方向性】 援助対象者は年々増加している。援助を必要とする保護者の増加が見込まれるため、継続実施していく必要がある。		
補正予算額	3,690			
予算流・充用額	0			
最終予算額	35,950	評価結果		
本年度決算額	35,470	要保護及び準要保護世帯の経済的な負担の縮減を図るため、今後も継続実施していく必要がある。		
区分	決算額	要保護及び準要保護世帯の経済的な負担の縮減を図るため、今後も継続実施していく必要がある。		
財源内訳	国・県支出金 660			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 34,810			
	計 35,470			
(参考)	前年度決算額	32,083		

教047	項目名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費		
主要な施策	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費	ページ	41	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P259(教036)			
目 教育振興費	【事業の概要】 児童が、佐治町の農山村で生活体験を通じて、豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人のあたたかさを感じることで、ふるさとを大切に、強い志をもつ子どもを育成する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 市内小学校9校(賀露・明德・湖山西・津ノ井・中ノ郷・大正・末恒・美和・遷喬小)が2泊3日で以下の内容を実施。 ①林業体験活動 ②郷土料理作り体験活動 ③農林家暮らし体験 ④和紙作り体験活動 ⑤佐治谷話の語り部体験 ⑥魚のつかみ取り体験 ⑦星空観察等 H23:小学校5校(賀露・明德・湖山西・津ノ井・中ノ郷)実施 H22:賀露小学校、明德小学校の2校がモデル校として実施			
当初予算額	5,034	【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。今後も、新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。		
補正予算額	△370	【事業の成果】 市内小学校9校(賀露・明德・湖山西・津ノ井・中ノ郷・大正・末恒・美和・遷喬小)が2泊3日で以下の内容を実施。 ①林業体験活動 ②郷土料理作り体験活動 ③農林家暮らし体験 ④和紙作り体験活動 ⑤佐治谷話の語り部体験 ⑥魚のつかみ取り体験 ⑦星空観察等 H23:小学校5校(賀露・明德・湖山西・津ノ井・中ノ郷)実施 H22:賀露小学校、明德小学校の2校がモデル校として実施		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。今後も、新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。		
最終予算額	4,664	【事業の成果】 市内小学校9校(賀露・明德・湖山西・津ノ井・中ノ郷・大正・末恒・美和・遷喬小)が2泊3日で以下の内容を実施。 ①林業体験活動 ②郷土料理作り体験活動 ③農林家暮らし体験 ④和紙作り体験活動 ⑤佐治谷話の語り部体験 ⑥魚のつかみ取り体験 ⑦星空観察等 H23:小学校5校(賀露・明德・湖山西・津ノ井・中ノ郷)実施 H22:賀露小学校、明德小学校の2校がモデル校として実施		
本年度決算額	4,662	【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。今後も、新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。今後も、新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。今後も、新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。	
	地方債	4,600	【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。今後も、新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。	
	その他	0	【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。今後も、新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。	
	一般財源	62	【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。今後も、新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。	
	計	4,662	【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。今後も、新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。	
(参考)	前年度決算額	2,362	【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。今後も、新市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。	
	評価結果	新市の豊かな資源を活用した教育実践を支援していくため、今後も実施校を計画的に増やしていくことが重要である。佐治地域だけではなく、他の地域に出かけて体験活動をするなど、新たな取り組みも検討することが必要である。		

教048	項目名	ふるさとの先輩活用事業費		
主要な施策	ふるさとの先輩活用事業費	ページ	41	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】教育センター 0857-36-6060			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P260(教038)			
目 教育振興費	【事業の概要】 鳥取市出身の人材で、広く各界で活躍している人材を迎え、直接、生徒に講話や講義を行ってもらうことを通して、郷土の先輩から学ぶ機会を設け、鳥取市教育ビジョン「ふるさとを思い 志を 持つ子」の実現を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 市内中学校で郷土出身の人材を招聘し、全生徒対象の講演会または講義を行う。 平成24年度:青谷中・鹿野中・北中・佐治中にて実施。 H23:青谷中・鹿野中・北中にて実施			
当初予算額	900	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。		
補正予算額	△520	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。		
最終予算額	380	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。		
本年度決算額	370	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。	
	地方債	0	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。	
	その他	0	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。	
	一般財源	370	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。	
	計	370	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。	
(参考)	前年度決算額	332	【今後の課題・方向性】 招聘する人材をいかに発掘するかが大きな課題であるが、今後は各校で招聘した人材の情報をもとにリストを作成するなどなどして効果的な運用をめざす。	
	評価結果	過去2年間の実績を見ると、毎年実施している学校もある。講師の人選等の課題で、事業実施に至らない学校も見られるが、中学生という義務教育最終段階で、先輩の講話や講義を通して自分の生き方を考える機会を設けることはとても意義深いと考えている。事業の啓発を図りながら今後も継続していきたい。		

教049	項目名	学校支援ふるさと人材活用事業費																						
主要な施策	学校支援ふるさと人材活用事業費	ページ	41	所 属 名																				
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】教育センター 0857-36-6060																							
款 教育費	【9次総の施策体系】1102																							
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P261(教039)																							
目 教育振興費	【事業の概要】 鳥取市在住の人材を小学校の教育活動支援者として活用することにより、郷土鳥取の大人とのふれあいの機会を設け、教育ビジョン「ふるさとを思い 志を 持つ子」の実現を図る。																							
(単位:千円)	【事業の成果】 小学校の全学年・全学級で活用する。具体的には各学級2回の人材活用を基本とする。 平成24年度:35校 728回実施 H23:38校、688回実施																							
当初予算額	2,580	【今後の課題・方向性】 今後も各学級2回の人材活用を基本とし、地域人材との学習経験の場を確保していきたい。																						
補正予算額	△860																							
予算流・充用額	115																							
最終予算額	1,835	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>1,673</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	1,673	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	1,673																							
贈収入	0																							
その他	0																							
本年度決算額	1,835																							
区 分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	0																						
	地方債	0																						
	その他	1,673																						
	一般財源	162																						
	計	1,835																						
(参考)	前年度決算額	1,725	<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>地域の人材を全ての学校で効果的に活用するこの事業は、小学校現場にとってもとても意義ある事業である。児童にとっては地域の大人とのふれあいを通して学習を展開できるし、学校も地域と協働した教育運営を展開できる大きな利点がある。今後も継続したい事業である。</td> </tr> </table>		評価結果	地域の人材を全ての学校で効果的に活用するこの事業は、小学校現場にとってもとても意義ある事業である。児童にとっては地域の大人とのふれあいを通して学習を展開できるし、学校も地域と協働した教育運営を展開できる大きな利点がある。今後も継続したい事業である。																		
評価結果	地域の人材を全ての学校で効果的に活用するこの事業は、小学校現場にとってもとても意義ある事業である。児童にとっては地域の大人とのふれあいを通して学習を展開できるし、学校も地域と協働した教育運営を展開できる大きな利点がある。今後も継続したい事業である。																							

教050	項目名	登校支援事業費(住民生活に光をそそぐ交付金事業費)																						
主要な施策	登校支援事業費	ページ	41	所 属 名																				
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357																							
款 教育費	【9次総の施策体系】1102																							
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P261(教040)																							
目 教育振興費	【事業の概要】 不適応傾向、全欠の児童生徒の家庭・保護者への働きかけや相談、本人の進路形成に資するような支援や学習支援、情報提供を学校外において行う職員を配置し、不登校児童生徒への支援体制をさらに充実させ、不登校児童生徒の学校復帰を支援する。																							
(単位:千円)	【事業の成果】 平成23年度～24年度 ①市内4中学校区に学習支援教員を配置。(湖東中、南中、桜ヶ丘中、河原中) ②学校体制や教職員の支援に関わる研修事業 ③引きこもり児童生徒家庭学習支援事業																							
当初予算額	7,314	【今後の課題・方向性】 平成24年度をもって事業終了となる。																						
補正予算額	41																							
予算流・充用額	0																							
最終予算額	7,355	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>6,846</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	6,846	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	6,846																							
贈収入	0																							
その他	0																							
本年度決算額	7,248																							
区 分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	0																						
	地方債	0																						
	その他	6,846																						
	一般財源	402																						
	計	7,248																						
(参考)	前年度決算額	4,615	<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>不登校児童生徒の学校復帰において学習支援は欠かせないものであり、家庭訪問や市教育センターとの連携においても大きな成果が認められる。</td> </tr> </table>		評価結果	不登校児童生徒の学校復帰において学習支援は欠かせないものであり、家庭訪問や市教育センターとの連携においても大きな成果が認められる。																		
評価結果	不登校児童生徒の学校復帰において学習支援は欠かせないものであり、家庭訪問や市教育センターとの連携においても大きな成果が認められる。																							

教051	項目名	道徳教育実践研究事業費	
主要な施策	道徳教育実践研究事業費	ページ	40
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357		
款 教育費	【9次総の施策体系】1101		
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P265(教048)		
目 教育振興費	【事業の概要】 ①魅力ある道徳の時間の展開 ②他教科・領域と関連させた全教育活動を通しての道徳教育の推進 ③地域・学校間の関わりを重視した地域で育てる道徳教育の展開 ①～③の視点での道徳教育の充実を図るため、取組を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・道徳教育に関する外部講師派遣、保護者・地域との連携、研修等特色のある道徳教育の取り組みに対する支援。 ・道徳教育用教材活用について、「心のノート」などの教材の作成・印刷・購入・配布等に関する支援を実施する。		
当初予算額	900	【今後の取り組み】 今後とも事業を実施することで、各学校の道徳教育を充実させ、志を持ちふるさと思いたくましく生きる力をはぐんでいきたい。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	900	【参考】	
本年度決算額	721	評価結果 各学校での研修会が充実し、道徳授業に対する意識や授業力の向上につながる事業であり、今後も様々な特色ある取組で夢や志を持つ児童生徒が増え、自尊感情の高まりも期待できることから、本事業を継続し、各学校における道徳教育をさらに充実させることが必要である。	
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	721	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	721	
前年度決算額	897		

教052	項目名	地域で育む学校支援ボランティア事業費	
主要な施策	地域で育む学校支援ボランティア事業費	ページ	41
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域・家庭教育係 0857-20-3376		
款 教育費	【9次総の施策体系】1101		
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P262(教041)		
目 教育振興費	【事業の概要】 小・中学校の実態に応じて、コーディネーターを配置し、従来行っていた学習支援、県境整備、安全パトロール等の地域ボランティアの活動をコーディネートすることによって学校と地域が共同して、児童生徒へきめ細やかな指導、支援を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 20校に対して、コーディネーターの配置、地域ボランティア活動の委託を行った。		
当初予算額	4,665	【今後の課題・方向性】 今後も、学校とボランティアをつなぐコーディネーターを活用し、多様な知識や経験を持つ多くの地域の人材を発掘し、学校のニーズに合ったボランティア活動が出来るよう継続実施する。	
補正予算額	△1,220		
予算流・充用額	0		
最終予算額	3,445	【参考】	
本年度決算額	3,335	評価結果 コーディネーターを配置することで、多様な知識や経験をもつ地域人材を発掘し、年間を通して学校のニーズに合ったボランティア活動が効果的に実施できる。学校と地域がより協働しながら児童生徒へのきめ細やかな指導・支援が行えるシステムとして今後も充実が望まれる。	
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	3,335	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	3,335	
前年度決算額	0		

教053	項目名	少人数学級を活かす学びと指導の創造事業費		
主要な施策	少人数学級を活かす学びと指導の創造事業費	ページ	40	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】教育改革係 0857-20-3366			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P29(教006)			
目 教育振興費	【事業の概要】 少人数学級の利点を生かした授業改革の研究 実践を行い、義務教育9年間を通した学力の向上のため、中学校区を指定し外部講師を招聘した授業研究会や教職員研修会を実施する。また、授業評価をはじめとしたアンケート調査を実施し、全国学力・学習状況調査結果も活用しながら取り組みの検証・改善を行う。 ①少人数学級を活かす子どもたちのための授業改革 →言語活動の充実ときめ細かな指導に生かす評価の推進 ②授業改革をめざす教師同士の学び合い・高めあい →授業研究会の工夫と研究組織の活性化			
(単位:千円)	【事業の成果】 4中学校区(西・北・湖南学園・桜ヶ丘)にて実施。			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 「学力の向上」、特に「活用する力の育成」や「学習意欲の向上」は鳥取市の重要課題である。少人数学級を活かした指導や授業改善の在り方について研究実践を行い、その成果を市全体に還元する。		
補正予算額	1,680			
予算流・充用額	57			
最終予算額	1,737	【参考】		
本年度決算額	1,671	評価結果 鳥取市の課題である「学力の向上」や活用力、学習意欲の向上につながる事業であり、授業改善に関わる研究実践を広く市全体へ還元できるため、効果が大いと考えられる。		
区分	決算額	他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	1,671	分担金	
	地方債	0	負担金	
	その他	0	使用料	
	一般財源	0	手数料	
計	計	1,671	財産収入	
			寄付金	
			繰入金	
			贈収入	
			その他	
前年度決算額	0			

教054	項目名	小学校3～6年生における35人学級実施事業費		
主要な施策	小学校35人学級実施事業費	ページ	42	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 小学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P262(教042)			
目 教育振興費	【事業の概要】 小学校3～6年における35人学級実施に伴い、県へ協力金を拠出する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 17学級 17人分×200万円			
当初予算額	34,000	【今後の課題・方向性】 少人数学級編制とすることは、児童の生活指導及び学力の定着に大きな効果が上がっているところであり、今後も県の要請に応じ協力していく。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	34,000	【参考】		
本年度決算額	34,000	評価結果 国は学級編制基準の見直し(40人→35人)を進めており、県においても3年生～6年生に35人学級を独自に実施している。少人数学級編制とすることは、児童の生活指導及び学力の定着に大きな効果が上がっているところであり、本事業の継続を図りたい。		
区分	決算額	他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	
	地方債	0	負担金	
	その他	0	使用料	
	一般財源	34,000	手数料	
計	計	34,000	財産収入	
			寄付金	
			繰入金	
			贈収入	
			その他	
前年度決算額	0			

教055	項目名	中学校2・3年生における35人学級実施事業費		
主要な施策	中学校35人学級実施事業費	ページ	42	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P263(教043)			
目 教育振興費	【事業の概要】 中学校2・3年における35人学級実施に伴い、県へ協力金を拠出する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 16学級 16人分×200万円			
当初予算額	26,000	【今後の課題・方向性】 少人数学級編制とすることは、生徒の生活指導及び学力の定着に大きな効果が上がっているところであり、今後も県の要請に応じ協力していく。		
補正予算額	6,000			
予算流・充用額	0			
最終予算額	32,000	【評価結果】 国は学級編制基準の見直し(40人→35人)を進めており、県においても中学校2・3年に35人学級を独自に実施している。少人数学級編制とすることは、児童の生活指導及び学力の定着に大きな効果が上がっているところであり、本事業の継続を図りたい。		
本年度決算額	32,000	その他財源の内訳		
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳		負担金	0	
国・県支出金	0	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	32,000	寄付金	0	
計	32,000	繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額	0			

教056	項目名	武道必修化に伴う外部指導者派遣事業費		
主要な施策	武道必修化に伴う外部指導者派遣事業費	ページ	42	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】教育改革係 0857-20-3366			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 中学校費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P52(教003)			
目 教育振興費	【事業の概要】 平成24年度から中学校新学習指導要領の保健体育科で必修となった武道(柔道・剣道・相撲)の授業において、武道の専門家を学校に派遣し、教科担任とのチーム・ティーチングによる指導を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 専門的な知識、技能を有している指導者に指導してもらうことにより、武道の礼儀作法に関わる指導をはじめ、生徒の技能レベルや発達段階に応じた適切かつ安全な指導を行う。また、保健体育科の教員が、技術習得のための専門的な指導方法や礼儀作法の習得方法などにふれることにより、武道に対する指導力の向上を図る。			
当初予算額	0	武道外部指導者を3中学校3人(湖東中、用瀬中、佐治中)派遣。		
補正予算額	206	【今後の取り組み】 来年度以降も、外部指導者の派遣希望がある場合、人選し派遣を検討する。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	206	【評価結果】 中学校の体育の指導者が、必ずしも武道の技能に熟達しているわけではないため、専門的な知識や技能を有している外部指導者と共にチーム・ティーチングをすることは、かなり効果がある。安全に事故がないよう指導するという観点からも、今後も希望する学校に対して継続して活用していきたい。		
本年度決算額	176	その他財源の内訳		
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳		負担金	0	
国・県支出金	176	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	0	寄付金	0	
計	176	繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額	0			

教057	項目名	放課後子ども教室推進事業費		
主要な施策	放課後子ども教室推進事業費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 地域・家庭教育係 0857-20-3376			
款 教育費	【9次総の施策体系】 1102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P263 (教044)			
目 社会教育活動費	【事業の概要】 放課後や週末等における地域の子どもの安全・安心な活動拠点（居場所）を確保する。地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て、子どもたちに、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供する。事業の円滑な実施や、より充実した魅力のある事業にするため、放課後子ども教室運営委員会を開催する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 東郷小・明治小・神戸小で開催。			
当初予算額	8,906	【今後の課題・方向性】 放課後児童対策事業としては、同種の放課後児童クラブより財政的に有利な事業であるが、今後拡充していくことは難しいと考える。ただし、事業実施地域の評価・ニーズとも高く、今後とも放課後児童クラブの開設が難しい小学校区において実施していく方針である。		
補正予算額	△1,820	【評価結果】 本市では、全小学校区で放課後や長期休暇時において、安心・安全な居場所を確保することが望ましいと考えており、「放課後児童クラブ」を開設できない校区においては「子ども教室」を実施している。いまだ3校区/44校区中においては開設できていないが、必要性や地域性を考慮しながら増設する予定としている。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	7,086	【参考】		
本年度決算額	6,815	前年度決算額 9,408		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 4,543	本市では、全小学校区で放課後や長期休暇時において、安心・安全な居場所を確保することが望ましいと考えており、「放課後児童クラブ」を開設できない校区においては「子ども教室」を実施している。いまだ3校区/44校区中においては開設できていないが、必要性や地域性を考慮しながら増設する予定としている。		
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 2,272			
	計 6,815			

教058	項目名	人権教育研究推進事業費		
主要な施策	人権教育推進費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 指導係 0857-20-3357			
款 教育費	【9次総の施策体系】 1102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P266 (教049)、6月補正予算・P30 (教007)			
目 人権教育費	【事業の概要】 人権意識を培うための学校教育の在り方について、指定校による実践的な研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度は、津ノ井小・河原第一小・佐治中を指定校とし、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実を図る。			
当初予算額	584	平成22年度は、4校（浜坂小学校、西郷小学校、末恒小学校、富桑小学校） 平成23年度は、富桑小学校と津ノ井小学校		
補正予算額	131	【今後の課題と方向性】 単年度の事業ではあるが、県外講師を積極的に招聘し、各校の実態に合わせて研究が進んでおり、その実践成果を広く市内小中学校へも公開している。今後も授業改善を中心に実践的な取り組みを進めていく。		
予算流・充用額	0	【評価結果】 文部科学省指定のため、毎年度指定があるとは限らないが、人権教育に関する指導法改善に有効な事業であると考えている。		
最終予算額	715			
本年度決算額	646	前年度決算額 584		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 646	文部科学省指定のため、毎年度指定があるとは限らないが、人権教育に関する指導法改善に有効な事業であると考えている。		
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 0			
	計 646			

教059	項目名	学校人権教育実践協力校事業費		
主要な施策	人権教育推進費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357			
款 教育費	【9次総の施策体系】2201			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P264(教045)			
目 人権教育費	【事業の概要】 学校人権教育の推進に資する授業研究会・教職員研修等の実施 ・市内小学校2校、中学校1校を実践校に指定し、人権教育に関する取組の改善・充実を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 指定校では学校課題や研究主題に沿った県外講師を招聘し、授業公開などにより鳥取市全体の学校人権教育の推進に効果を上げている。 平成24年度 稲葉山小・散岐小・高草中を指定校として実施。			
当初予算額	668	【今後の課題・方向性】 学校人権教育の推進のために有効な事業であるが、指定校の成果をさらに波及させるためにも、中学校区での指定や小中一貫教育との関連など新たな枠組みも検討していきたい。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	668	評価結果		
本年度決算額	662	鳥取市の学校人権教育推進に効果を上げている事業だが、その成果のさらなる波及を図るためにも、研究成果の発表の場を提供することや、ホームページ等を活用した情報発信、中学校区での指定など新たな枠組みを検討していきたい。		
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	662	財産収入	0	
計	662	寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額	566			

教060	項目名	いじめ防止教育推進事業費		
主要な施策	人権教育推進費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366			
款 教育費	【第9次総の施策体系】1102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P264(教046)			
目 人権教育費	【事業の概要】 学校現場で起こるいじめ問題について、すべての学校教育関係者が適切に対応できるよう、いじめ防止教育の効果的な取り組みについて検討し、資料や研修を提供することによって学校現場を支援する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 ・いじめ防止教育プログラムを基にしたいじめ防止研修会の開催。(1回) ・1年生の保護者に啓発リーフレットを配布			
当初予算額	113	H22~H23:いじめ防止教育研修会1回開催、啓発リーフレット		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 今後も継続して取り組む。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	113	評価結果		
本年度決算額	112	全国的に問題となっているいじめの問題に関しては、「いじめを生み出さない学級、学校づくり」の取り組みを継続して実施することが重要であり、継続を希望する。		
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	112	財産収入	0	
計	112	寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額	42			

教061	項目名	史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金		
主要な施策	指定文化財等管理費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 文化財課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359			
款 教育費	【9次総の施策体系】1202			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P266(教050)			
目 文化財保護費	【事業の概要】 鳥取藩主池田家墓所は、大名・鳥取池田家の歴代藩主と妻子らの墓所で、昭和56年国の史跡に指定されている。 平成15年度に策定した保存整備計画に基づき、平成16年度から平成31年度まで、復元や保存修理、環境整備を行う。また、墓所の歴史的で貴重な文化財を活用した普及啓発・情報発信を行う。(公財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体。「公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助金等交付要綱」により補助。			
(単位:千円)	【事業の成果】 事業主体である(公財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会に対する補助金の交付。 ○藩主墓の保存整備工事等の実施 ○墓所の監視清掃、燈籠会の開催等の実施			
当初予算額	13,123	【今後の課題・方向性】 復元や保存修理・環境整備は、平成31年度まで予定されており、今後も着実に事業を進める必要がある。		
補正予算額	△2,712	【事業の成果】 事業主体である(公財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会に対する補助金の交付。 ○藩主墓の保存整備工事等の実施 ○墓所の監視清掃、燈籠会の開催等の実施		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 復元や保存修理・環境整備は、平成31年度まで予定されており、今後も着実に事業を進める必要がある。		
最終予算額	10,411	【事業の成果】 事業主体である(公財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会に対する補助金の交付。 ○藩主墓の保存整備工事等の実施 ○墓所の監視清掃、燈籠会の開催等の実施		
本年度決算額	9,812	【今後の課題・方向性】 復元や保存修理・環境整備は、平成31年度まで予定されており、今後も着実に事業を進める必要がある。		
区分	決算額	【事業の成果】 事業主体である(公財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会に対する補助金の交付。 ○藩主墓の保存整備工事等の実施 ○墓所の監視清掃、燈籠会の開催等の実施		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 復元や保存修理・環境整備は、平成31年度まで予定されており、今後も着実に事業を進める必要がある。	
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	9,812		
	計	9,812		
(参考)	前年度決算額	5,701	評価結果 破損個所の修復も進み、各種行事に多数の来場者があり、地域資源としての価値が確実に高まってきた。引き続き県と協調した支援を実施する。	

教062	項目名	鳥取県指定保護文化財聖神社保存修理事業補助金		
主要な施策	指定文化財等管理費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 文化財課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359			
款 教育費	【9次総の施策体系】1202			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P267(教051)			
目 文化財保護費	【事業の概要】 1. 経年劣化等により保存修復の必要な鳥取県指定保護文化財聖神社の保存修理について事業費を補助する(県指定であるため、対象事業費の1/2を鳥取県、1/4を鳥取市が補助)			
(単位:千円)	【事業の成果】 ・平成24年度は幣殿・拝殿の修理工事を実施した。 ・幣殿・拝殿の屋根修理が完了した。			
当初予算額	10,573	【今後の課題・方向性】 平成26年度完了を目指して、引き続き事業を支援する。 25年度は工事中の説明会等を実施し、市民の文化財保護意識の醸成を図る。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	10,573	【今後の課題・方向性】 平成26年度完了を目指して、引き続き事業を支援する。 25年度は工事中の説明会等を実施し、市民の文化財保護意識の醸成を図る。		
本年度決算額	10,571			
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 平成26年度完了を目指して、引き続き事業を支援する。 25年度は工事中の説明会等を実施し、市民の文化財保護意識の醸成を図る。		
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	10,571		
	計	10,571		
(参考)	前年度決算額	1,210	評価結果 平成26年度の修理工事完成に向けて着実な事業進捗を図る。	

教063	項目名	登録有形文化財等申請費補助金	
主要な施策	指定文化財等管理費	ページ	43
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 文化財課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359		
款 教育費	【9次総の施策体系】1202		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P267(教052)		
目 文化財保護費	【事業の概要】 1. 国の登録有形文化財制度(建造物)等の活用を図るため、所有者による申請に必要な調査等の費用を補助する。 2. 補助率は対象事業費の1/2、5万円を上限とする。		
(単位:千円)	【事業の成果】 興禅寺・岩田家住宅の2件について、申請のための調査等に補助金を交付した。興禅寺は国に申請済、岩田家住宅は25年5月申請予定。		
当初予算額	100	【今後の課題・方向性】 登録有形文化財制度を活用することにより、所有者による主体的な歴史的建造物の保存・活用の推進を図る。 文化財愛護の意識と、歴史的まちなみの保存・活用を推進する。 登録希望物件の増加への対応と、登録後の保存・活用の取り組みが今後の課題。	
修正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	100	【今後の課題・方向性】 登録有形文化財制度を活用することにより、所有者による主体的な歴史的建造物の保存・活用の推進を図る。 文化財愛護の意識と、歴史的まちなみの保存・活用を推進する。 登録希望物件の増加への対応と、登録後の保存・活用の取り組みが今後の課題。	
本年度決算額	100	【今後の課題・方向性】 登録有形文化財制度を活用することにより、所有者による主体的な歴史的建造物の保存・活用の推進を図る。 文化財愛護の意識と、歴史的まちなみの保存・活用を推進する。 登録希望物件の増加への対応と、登録後の保存・活用の取り組みが今後の課題。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 登録有形文化財制度を活用することにより、所有者による主体的な歴史的建造物の保存・活用の推進を図る。 文化財愛護の意識と、歴史的まちなみの保存・活用を推進する。 登録希望物件の増加への対応と、登録後の保存・活用の取り組みが今後の課題。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 登録有形文化財制度を活用することにより、所有者による主体的な歴史的建造物の保存・活用の推進を図る。 文化財愛護の意識と、歴史的まちなみの保存・活用を推進する。 登録希望物件の増加への対応と、登録後の保存・活用の取り組みが今後の課題。	
国・県支出金	31	【今後の課題・方向性】 登録有形文化財制度を活用することにより、所有者による主体的な歴史的建造物の保存・活用の推進を図る。 文化財愛護の意識と、歴史的まちなみの保存・活用を推進する。 登録希望物件の増加への対応と、登録後の保存・活用の取り組みが今後の課題。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 登録有形文化財制度を活用することにより、所有者による主体的な歴史的建造物の保存・活用の推進を図る。 文化財愛護の意識と、歴史的まちなみの保存・活用を推進する。 登録希望物件の増加への対応と、登録後の保存・活用の取り組みが今後の課題。	
その他	0	【今後の課題・方向性】 登録有形文化財制度を活用することにより、所有者による主体的な歴史的建造物の保存・活用の推進を図る。 文化財愛護の意識と、歴史的まちなみの保存・活用を推進する。 登録希望物件の増加への対応と、登録後の保存・活用の取り組みが今後の課題。	
一般財源	69	【今後の課題・方向性】 登録有形文化財制度を活用することにより、所有者による主体的な歴史的建造物の保存・活用の推進を図る。 文化財愛護の意識と、歴史的まちなみの保存・活用を推進する。 登録希望物件の増加への対応と、登録後の保存・活用の取り組みが今後の課題。	
計	100	【今後の課題・方向性】 登録有形文化財制度を活用することにより、所有者による主体的な歴史的建造物の保存・活用の推進を図る。 文化財愛護の意識と、歴史的まちなみの保存・活用を推進する。 登録希望物件の増加への対応と、登録後の保存・活用の取り組みが今後の課題。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	100	登録を希望する所有者は増加する傾向があり、補助件数については今後再検討する必要がある。また、登録後の活用についても、金銭面以外の支援を図っている。今後より一層登録制度の活用を進めていきたい。	

教064	項目名	鳥取城跡保存修理事業費	
主要な施策	鳥取城跡保存修理事業費	ページ	43
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 文化財課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥取城整備推進係 0587-20-3359		
款 教育費	【9次総の施策体系】1202		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P268(教053)		
目 文化財保護費	【事業の概要】 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で保存修理を実施してきた。保存修理事業は、昭和18年の鳥取大震災等による城郭遺構の損傷部を中心に実施している。また、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」(平成18年度策定)に基づき、平成30年度を目標に大手登城路復元整備に取り組んでおり、復元の資料を得るための発掘調査を、20年度より補助事業として実施している。		
(単位:千円)	【事業の成果】 計画的に文化財としての整備を実施することにより、学術面における特異性のある鳥取城の価値が明らかに becoming つつあり、さらに地域の核としても、鳥取城跡の価値を高めることができた。 ○大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成 ○天球丸跡巻石垣前広場整備工事、記録作成 ○次年度以降工事にかかる発掘調査、記録作成、設計		
当初予算額	59,649	【今後の課題・方向性】 鳥取市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。計画的に文化財としての整備を実施することにより、地域の核としての鳥取城跡の価値を様々な面で高めることができた。	
修正予算額	△5,160		
予算流・充用額	219		
最終予算額	54,708	【今後の課題・方向性】 鳥取市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。計画的に文化財としての整備を実施することにより、地域の核としての鳥取城跡の価値を様々な面で高めることができた。	
本年度決算額	52,077	【今後の課題・方向性】 鳥取市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。計画的に文化財としての整備を実施することにより、地域の核としての鳥取城跡の価値を様々な面で高めることができた。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 鳥取市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。計画的に文化財としての整備を実施することにより、地域の核としての鳥取城跡の価値を様々な面で高めることができた。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 鳥取市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。計画的に文化財としての整備を実施することにより、地域の核としての鳥取城跡の価値を様々な面で高めることができた。	
国・県支出金	34,605	【今後の課題・方向性】 鳥取市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。計画的に文化財としての整備を実施することにより、地域の核としての鳥取城跡の価値を様々な面で高めることができた。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 鳥取市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。計画的に文化財としての整備を実施することにより、地域の核としての鳥取城跡の価値を様々な面で高めることができた。	
その他	0	【今後の課題・方向性】 鳥取市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。計画的に文化財としての整備を実施することにより、地域の核としての鳥取城跡の価値を様々な面で高めることができた。	
一般財源	17,472	【今後の課題・方向性】 鳥取市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。計画的に文化財としての整備を実施することにより、地域の核としての鳥取城跡の価値を様々な面で高めることができた。	
計	52,077	【今後の課題・方向性】 鳥取市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。計画的に文化財としての整備を実施することにより、地域の核としての鳥取城跡の価値を様々な面で高めることができた。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	92,989	関係機関との調整を進め、保存整備基本計画に沿った事業を着実に進める。平成30年度を目標に大手登城路の復元整備を進める。	

教065	項目名	史跡鳥取城跡保存整備事業費		
主要な施策	鳥取城跡保存修理事業費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 文化財課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359			
款 教育費	【9次総の施策体系】1202			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P268(教054)			
目 文化財保護費	【事業の概要】 市民の強い要望を受け、平成17年度に「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」、18年度に「鳥取城跡保存整備実施計画」を策定し、長期計画に基づく史跡鳥取城跡の保存整備の促進と史跡の活用を図っている。 鳥取城跡の史跡としての保存と活用を推進し、地域の核となる文化財としての価値を高め、地域文化の振興や周辺地域の活性化、文化財愛護意識の醸成を図ることを目的とする。			
(単位:千円)	【事業の成果】 (平成24年度事業) ○検討委員会の開催 ○鳥取城フォーラムの開催 ○発掘現場の現地説明会の開催 ○鳥取32万石お城祭りでの展示の開催			
当初予算額	2,542	【今後の課題・方向性】 鳥取城跡の修理・整備工事の進捗にあわせ、内容・手法等を見直しつつ継続的に取り組んでいく。平成30年度を目途に、保存整備基本計画の見直しを行い、事業を精査する。		
補正予算額	△440			
予算流・充用額	△134			
最終予算額	1,968	【事業の成果】 (平成24年度事業) ○検討委員会の開催 ○鳥取城フォーラムの開催 ○発掘現場の現地説明会の開催 ○鳥取32万石お城祭りでの展示の開催		
本年度決算額	1,868	【今後の課題・方向性】 鳥取城跡の修理・整備工事の進捗にあわせ、内容・手法等を見直しつつ継続的に取り組んでいく。平成30年度を目途に、保存整備基本計画の見直しを行い、事業を精査する。		
区分	決算額	【事業の成果】 (平成24年度事業) ○検討委員会の開催 ○鳥取城フォーラムの開催 ○発掘現場の現地説明会の開催 ○鳥取32万石お城祭りでの展示の開催		
財源内訳		【今後の課題・方向性】 鳥取城跡の修理・整備工事の進捗にあわせ、内容・手法等を見直しつつ継続的に取り組んでいく。平成30年度を目途に、保存整備基本計画の見直しを行い、事業を精査する。		
国・県支出金	531			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	1,337			
計	1,868			
(参考)		評価結果		
前年度決算額	1,749	復元整備事業の進捗にあわせ、内容・手法等を見直しつつ継続的に取り組んでいく。		

教066	項目名	仁風閣・宝扇庵管理費		
主要な施策	仁風閣・宝扇庵管理費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 文化財課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367			
款 教育費	【9次総の施策体系】1202			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P269(教055)			
目 文化財保護費	【事業の概要】 重要文化財仁風閣及び宝扇庵の適正かつ、円滑な管理運営を図るとともに、仁風閣を通じて文化財愛護思想の啓発を図るため、公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定している。(平成23年度～27年度)			
(単位:千円)	【事業の成果】 適正かつ円滑な管理運営を実施できた。 (主な事業) ・毛利みきイラストレーション展 ・映画「るろうに剣心」実写パネル展 ・仁風閣朗読会 ・仁風閣フォトコンテスト			
当初予算額	27,156	(仁風閣入館者) (宝扇庵)		
補正予算額	0	平成22年度 33,303人 2,776人		
予算流・充用額	16	平成23年度 34,143人 2,847人		
最終予算額	27,172	平成24年度 34,755人 2,583人		
本年度決算額	27,147	【今後の課題・方向性】 本事業を継続して実施し、重要文化財の保護及び活用に努める。		
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	27,147			
計	27,147			
(参考)		評価結果		
前年度決算額	24,444	指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、重要文化財の適正な管理に努める。また、各種展示・体験活動等を実施し、利用者の増加に努める必要がある。		

教067	項目名	埋蔵文化財調査センター管理費		
主要な施策	埋蔵文化財調査センター管理費	ページ	44	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 文化財課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367			
款 教育費	【9次総の施策体系】1202			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P269(教056)			
目 文化財保護費	【事業の概要】 埋蔵文化財センターは発掘調査で発見された出土品や発掘調査の記録を保存・管理するための施設であり、出土品や記録が滅失しないようにするために適切な維持管理を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 出土遺物の適切な保管を行った。			
当初予算額	288	【今後の課題・方向性】 出土遺物は今後も増え続けていくので、新たな保管施設を検討しなければならない。		
補正予算額	119			
予算流・充用額	0			
最終予算額	407	【参考】		
本年度決算額	402	評価結果		
区分	決算額	出土遺物は年々増加しており、将来的には新たな保管施設を整備する必要がある。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	75			
一般財源	327			
計	402			
前年度決算額	285			

教068	項目名	文化財調査費		
主要な施策	文化財調査費	ページ	44	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 文化財課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367			
款 教育費	【9次総の施策体系】1202			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P270(教057)、6月補正予算(追加提案)・P2(教001)、 12月補正予算・P35(教008)			
目 文化財保護費	【事業の概要】 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。			
(単位:千円)	【事業の成果】 各種開発事業との調整のために試掘調査を18件実施した。			
当初予算額	26,350	(調査箇所) (調査面積)		
補正予算額	4,041	青谷横木遺跡 412.46㎡		
予算流・充用額	132	鳥取城下町遺跡 179.3㎡		
最終予算額	30,523	岩吉遺跡 27.0㎡		
本年度決算額	30,359	重山古墳群 109.5㎡		
区分	決算額	ほか		
財源内訳		計 18件 1367.05㎡		
国・県支出金	11,962	【今後の課題・方向性】 近年、高速道路などの大型公共事業が計画されているので、計画的に試掘調査を実施する必要がある。		
地方債	0			
その他	0			
一般財源	18,397			
計	30,359			
前年度決算額	24,881	【参考】		
		評価結果		
		周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる開発事業については今後も試掘調査等を実施しながら調整を図る必要がある。		

教069	項目名	上寺地遺跡管理事業費	
主要な施策	青谷上寺地遺跡管理費	ページ	43
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 文化財課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367		
款 教育費	【9次総の施策体系】1202		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P270(教058)		
目 文化財保護費	【事業の概要】 青谷上寺地遺跡は「地下の弥生の博物館」と称される、弥生時代の多種多様な遺物が大量に出土した貴重な遺跡であり、平成20年に国史跡に指定された。遺跡範囲内の公有化により青谷上寺地遺跡公園とし、遺跡保護と景観の保全管理を行う。 また、鳥取県・鳥取市・関係団体等で組織する青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会により、地域及び青谷上寺地遺跡展示館と連携して遺跡を活用した取り組みを行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 青谷上寺地遺跡公園及び道路、水路周辺などの除草作業を実施し、周辺の水田・住宅等に影響を及ぼさないよう、遺跡の保護と景観の保全管理を行った。 また、青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で、田んぼアート・古代米栽培体験事業、イラスト和紙灯ろう事業などを行った。		
当初予算額	1,634	【今後の課題・方向性】 当面は現状の環境整備・維持管理に努め、史跡の整備・保存・活用の実施設計に向けて検討する。	
補正予算額	△424		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,210	【参考】	
本年度決算額	1,210	評価結果 鳥取県と協調して、国史跡青谷上寺地遺跡の保護及び有効活用する史跡整備を目指す。当面は現状の環境整備・維持管理に努める。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	0		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,210		
計	1,210		
前年度決算額	1,294		

教070	項目名	史跡栃本廃寺整備事業費	
主要な施策	史跡栃本廃寺整備事業費	ページ	43
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 文化財課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367		
款 教育費	【9次総の施策体系】1202		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P271(教059)		
目 文化財保護費	【事業の概要】 史跡の保存を図ると共に歴史学習の場・憩いの場となるような史跡整備を行い、整備後は周辺の観光施設と連携を図りながら活用していくことをめざしている。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・調査整備委員会を1回開催し、整備及び報告書作成の指導を受けた。 ・史跡内除草を2回行い、史跡の維持管理に努めた。 ・環境整備工事を行い、整備報告書を作成した。 (整備内容)解説板1基 案内板1基 名称板6基 木橋1基 ・常時公開を行い、現地説明会を1回行った。		
当初予算額	7,986	【今後の課題・方向性】 今後は施設の維持管理及び活用方法を検討していく必要がある。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	15		
最終予算額	8,001	【参考】	
本年度決算額	7,503	評価結果 引き続き地域との連携を深めながら適切な保護・公開を進めていく。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	4,509		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,994		
計	7,503		
前年度決算額	14,632		

教071	項目名	美歎水源地保存整備事業費	
主要な施策	美歎水源地保存整備事業費	ページ	43
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 文化財課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359		
款 教育費	【9次総の施策体系】1202		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P271(教060)		
目 文化財保護費	【事業の概要】 旧美歎水源地水道施設は、鳥取市の水がめとして大正から昭和にかけて60年にわたって使用された水道施設で、かつての上水道施設のありようを伝える貴重な近代化遺産として、平成19年6月に国の重要文化財に指定された。これを受け「旧美歎水源地水道施設保存整備基本計画」を策定、この計画に基づき、平成20年度から長期的視点に立った保存整備を行っている。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成25年度から始まる保存整備工事を計画的かつ確実に進めるため、建物及び地盤等の調査工事を実施した(平成23年度・24年度実施)。 ・保存整備検討委員会の開催(年2回) ・調査工事(ボーリング調査、建物の劣化調査) ・建造物を風雨から守るための覆屋の設置 ・年1回の特別公開事業の実施(参加者200人)		
当初予算額	20,406	【今後の課題・方向性】 この事業の実施により、旧美歎水源地水道施設を市民の誇りとなる遺産として、将来にわたって伝えていく。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	111		
最終予算額	20,517	【事業の成果】 平成25年度から始まる保存整備工事を計画的かつ確実に進めるため、建物及び地盤等の調査工事を実施した(平成23年度・24年度実施)。 ・保存整備検討委員会の開催(年2回) ・調査工事(ボーリング調査、建物の劣化調査) ・建造物を風雨から守るための覆屋の設置 ・年1回の特別公開事業の実施(参加者200人)	
本年度決算額	20,435	【今後の課題・方向性】 この事業の実施により、旧美歎水源地水道施設を市民の誇りとなる遺産として、将来にわたって伝えていく。	
区分	決算額	【事業の成果】 平成25年度から始まる保存整備工事を計画的かつ確実に進めるため、建物及び地盤等の調査工事を実施した(平成23年度・24年度実施)。 ・保存整備検討委員会の開催(年2回) ・調査工事(ボーリング調査、建物の劣化調査) ・建造物を風雨から守るための覆屋の設置 ・年1回の特別公開事業の実施(参加者200人)	
財源内訳	国・県支出金 12,556	【今後の課題・方向性】 この事業の実施により、旧美歎水源地水道施設を市民の誇りとなる遺産として、将来にわたって伝えていく。	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 7,879		
	計 20,435		
(参考)	前年度決算額 11,939	評価結果 保存整備基本計画(平成21年度策定)に基づき、着実に事業を推進する。平成22年度から平成24年度に調査工事、平成25年度以降に修理工事を実施し、平成30年度の公開を目指す。併せて、平成25年度に、管理・利活用を推進していくための「保存活用計画」を策定し、修理工事に反映させた整備を行っている。	

教072	項目名	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館運営管理費等	
主要な施策	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館管理費	ページ	43
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 文化財課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367		
款 教育費	【9次総の施策体系】1202		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P272(教061)		
目 文化財保護費	【事業の概要】 青谷上寺地遺跡の貴重な出土遺物等を展示する鳥取市青谷上寺地遺跡展示館と、郷土の歴史・民俗・美術などに関する資料等を収蔵展示するあおや郷土館は、公益財団法人鳥取市文化財団が指定管理者であり(指定期間 23年度~27年度)、常設展示や特別展示、体験学習等を通じて、文化財の愛護思想の啓発育成を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 施設の円滑な管理運営に努め、貴重な文化財の保護意識の高揚及び市民文化の向上を図った。 (入館者数) 22年度 23年度 24年度 青谷上寺地遺跡展示館 7,465人 7,886人 7,698人 あおや郷土館 6,878人 6,825人 9,631人		
当初予算額	37,512	【今後の課題・方向性】 指定管理者による管理運営を継続し、より魅力のある企画展示や体験学習等の機会を提供して入館者数の増加に努める。	
補正予算額	△538		
予算流・充用額	0		
最終予算額	36,974	【今後の課題・方向性】 指定管理者による管理運営を継続し、より魅力のある企画展示や体験学習等の機会を提供して入館者数の増加に努める。	
本年度決算額	36,909	【今後の課題・方向性】 指定管理者による管理運営を継続し、より魅力のある企画展示や体験学習等の機会を提供して入館者数の増加に努める。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 指定管理者による管理運営を継続し、より魅力のある企画展示や体験学習等の機会を提供して入館者数の増加に努める。	
財源内訳	国・県支出金 5,960	【今後の課題・方向性】 指定管理者による管理運営を継続し、より魅力のある企画展示や体験学習等の機会を提供して入館者数の増加に努める。	
	地方債 0		
	その他 19		
	一般財源 30,930		
	計 36,909		
(参考)	前年度決算額 35,832	評価結果 指定管理者のノウハウを活用した管理を継続して入館者数の増加を図り、各種展示・イベント等を通して、史跡の保護意識醸成や市民文化の向上等に努める。	

教073	項目名	歴史博物館管理費	
主要な施策	歴史博物館管理費	ページ	44
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 文化財課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367		
款 教育費	【9次総の施策体系】1202		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P272(教062)、9月補正予算・P52(教004)		
目 文化財保護費	【事業の概要】 鳥取市歴史博物館の適正かつ円滑な管理運営を行うとともに、各種展示・体験活動はもとより、調査研究活動を実施するため、公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定している。(平成23年度～27年度)		
(単位:千円)	【事業の成果】 (主な事業) ・館藏品展Ⅱ ・The山名～山陰守護大名一族の栄枯盛衰～展 ・鳥取大災害史～水害・震災・大火からの復興～展 ・企画展「あの頃の子どもたちは。」 ・鳥取を掘る「発掘調査最前線速報展」		
当初予算額	146,835	(入館者) 平成22年度 26,193人 平成23年度 38,042人 平成24年度 22,614人	
補正予算額	13,670	【今後の課題・方向性】 本事業を継続して実施し、鳥取市の歴史の調査研究及び市民への郷土愛護精神の高揚に努める。	
予算流・充用額	△15	評価結果 指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、文化財保護意識の高揚、市民の文化向上及び福祉の増進に努める。また常設展示の内容等について検討協議し、展示内容の整備を図るとともに入館者の増加に努める。	
最終予算額	160,490	【参考】	
本年度決算額	160,187	前年度決算額 147,606	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	0	指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、文化財保護意識の高揚、市民の文化向上及び福祉の増進に努める。また常設展示の内容等について検討協議し、展示内容の整備を図るとともに入館者の増加に努める。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	49		
一般財源	160,138		
計	160,187		

教074	項目名	因幡万葉歴史館管理費	
主要な施策	因幡万葉歴史館管理費	ページ	44
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 文化財課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367		
款 教育費	【9次総の施策体系】1202		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P273(教063)		
目 文化財保護費	【事業の概要】 万葉文化をコンセプトに、地域文化と観光振興を図ることを目的とし、公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定している。(平成23年度～27年度)		
(単位:千円)	【事業の成果】 (主な事業) ・宇倍神社所蔵歴代天皇肖像画と宝物展 ・安彦良和原画展 ・里中満智子作品展 ・因幡の傘踊りの祭典 ・万葉集朗唱の会		
当初予算額	55,118	(入館者) 平成22年度 16,522人 平成23年度 21,156人 平成24年度 28,668人	
補正予算額	△460	【今後の課題・方向性】 本事業を継続して実施し、市民の文化意識の醸成と利用者の増加に努める。	
予算流・充用額	0	評価結果 指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、市民の文化意識の高揚、福祉の増進に努める。また、常設展示等のあり方を検討協議し、内容の整備及び入館者の増加に努める必要がある。	
最終予算額	54,658	【参考】	
本年度決算額	53,810	前年度決算額 49,657	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	329	指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、市民の文化意識の高揚、福祉の増進に努める。また、常設展示等のあり方を検討協議し、内容の整備及び入館者の増加に努める必要がある。	
国・県支出金	329		
地方債	0		
その他	24		
一般財源	53,457		
計	53,810		

教075	項目名	高齢者生きがい促進総合事業費		
主要な施策	高齢者生きがい促進総合事業費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 生涯学習課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】			
目 社会教育総務費	予算事業別概要目次			
(単位:千円)	当初予算・P273(教064)			
当初予算額	1,718	【事業の概要】		
補正予算額	0	1. 尚徳大学		
予算流・充用額	△6	昭和48年度から高齢者教室として健康、家庭、社会、余暇を考えるを4本の柱に定め事業をスタートした。その後、事業の内容を見直し定員規模の拡大を図り、名称も尚徳大学と改め、高齢者の総合的な学習活動の機会の場として開設している。		
最終予算額	1,712	現在は、合同学習(共通)及び7つの専門コース(社会・書道・絵画・民芸・健康・郷土・彫刻)で学習を行っている。		
本年度決算額	1,558	2. 高齢者人材活用事業		
区分	決算額	優れた知識、技能を有する高齢者を募り、講師あるいは助言者として、各地域で開催される講演会等に参加・派遣を行う。		
財源内訳		【事業の成果】		
国・県支出金	0	1. 尚徳大学		
地方債	0	・講座開催回数 102回		
その他	532	・延べ出席者数		
一般財源	1,026	平成22年度 平成23年度 平成24年度		
計	1,558	5,839人 6,294人 6,186人		
(参考)		2. 高齢者人材活用事業		
前年度決算額	1,422	・登録者数:54人		
		・講演会等延べ参加者数		
		平成22年度 平成23年度 平成24年度		
		129人 80人 165人		
		【今後の課題・方向性】		
		「団塊の世代」が大量に高齢者層に組み入れられ、本事業の果たすべき役割はますます増大していくと思われる。それに伴って、尚徳大学の役割や機能も注目されることにより、多種多様な学習ニーズや社会情勢に対応した学習機会づくりを今後検討していく。		
		評価結果 「団塊の世代」が大量に高齢者層に組み入れられ、本事業の果たすべき役割はますます増大していくと思われる。多種多様な学習ニーズに効果的に応えるため、事業実施手法等を改善していく。		

教076	項目名	市民大学開設費		
主要な施策	市民大学開設費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 生涯学習課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】			
目 社会教育総務費	予算事業別概要目次			
(単位:千円)	当初予算・P274(教065)			
当初予算額	421	【事業の概要】		
補正予算額	0	昭和26年に一般市民を対象に成人学級を夜間に開設する。昭和47年度には鳥取市民教養講座として1科目50人定員で学級を開設、昭和48年度には明るい家庭、住みよい街づくりの推進を図り、その内容も更に拡大し、1科目30人、学習時間10時間の講座となった。		
予算流・充用額	3	昭和57年から市民大学講座と改称し、郷土の歴史などを中心に昼と夜に分けて学習することになった。現在は鳥取市内に在住、または勤務する成人を対象とし、一般的な教養、地域に伝わる歴史、専門的な知識の学習を行っている。		
最終予算額	424	【事業の成果】		
本年度決算額	227	・国際理解講座 年6回(前期)		
区分	決算額	・市民健康講座 年5回(前期)		
財源内訳		・郷土の歴史講座 年5回(前期)		
国・県支出金	0	・山陰海岸ジオパーク講座 年5回(後期)		
地方債	0	・社会講座 年6回(後期)		
その他	0	・とっとり国際マンガサミット学習講座 年3回(後期)		
一般財源	227	参加者数(延)		
計	227	平成22年度 平成23年度 平成24年度		
(参考)		758人 558人 752人		
前年度決算額	309	【今後の課題・方向性】		
		生涯学習センターを学習の拠点として、今までの学習形態をもとに勤労成人層を対象にした。今後はさらに学習ニーズの把握に努め、学習内容について検討していく。		
		評価結果 生涯学習センターを学習の拠点として、今までの学習形態をもとに勤労成人層を対象にした。今後はさらに学習ニーズの把握に努め、学習内容について検討していく。		

教077	項目名	ろうあ成人学級開設費		
主要な施策	ろうあ成人学級開設費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 生涯学習課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P274(教066)			
目 社会教育総務費	【事業の概要】 障がいのある勤労者、家事従事者にとって現代社会生活に必要な知識技能の習得並びに一般教養を学習することによって、生活の向上を図る。 経緯として、昭和35年に6~7名のろうあ者が各職場の情報交換の場を結成、年4回会員宅で勉強会を開いたのが始まりである。その後、昭和38年に鳥取市教育委員会に申請し、鳥取市ろうあ成人学級が開設され今日に至っている。 (1) 開設期間 原則、毎月第1日曜日で5月~翌年の3月までの12回 (2) 会 場 公的機関の各施設 (3) 学習対象者 鳥取市に在住するろうあ者および協会員 (4) 事業委託先 鳥取市ろうあ協会			
(単位:千円)	【事業の成果】 (参加者実績)			
当初予算額	448	平成22年度	平成23年度	平成24年度
補正予算額	0	開催回数	12回	12回
予算流・充用額	0	延べ参加者数	433人	426人
最終予算額	448	【今後の課題・方向性】 聴覚障がいのある方の積極的な社会参加という観点から、受講生が主体となって今後も様々な事業を企画して学習の機会の充実を図っていく。		
本年度決算額	448	【参考】		
区分	決算額	評価結果	聴覚障がいのある方の積極的な社会参加という観点から、受講生が主体となって今後も様々な事業を企画して学習の機会の充実を図っていく。	
財源内訳	0	前年度決算額	448	
国・県支出金	0	評価結果	聴覚障がいのある方の積極的な社会参加という観点から、受講生が主体となって今後も様々な事業を企画して学習の機会の充実を図っていく。	
地方債	0			
その他	0			
一般財源	448			
計	448			

教078	項目名	福祉文化会館利用者駐車場使用料		
主要な施策	福祉文化会館利用者駐車場使用料	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 生涯学習課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P275(教067)			
目 社会教育総務費	【事業の概要】 鳥取市福祉文化会館の利用者が、片原駐車場を利用した場合、2時間30分未満を無料とし、無料化した料金を市から片原駐車場指定管理者に支払う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取市福祉文化会館利用者に対し駐車料金の一部を減免することにより、鳥取市の生涯学習の拠点施設である福祉文化会館の利便性を高めた。 市営片原駐車場サービス券(無料券)交付枚数 平成23年度 7,885枚 平成24年度 7,474枚			
当初予算額	1,028	【今後の課題・方向性】 市民サービス向上のため今後も継続して実施する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,028			
本年度決算額	747			
区分	決算額			
財源内訳	0			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	747			
計	747			
(参考)	【参考】			
前年度決算額	788	評価結果	鳥取市福祉文化会館は駐車スペースが少なく、この制度により福祉文化会館の利便性を高めた。今後も市民サービス向上のため継続して実施する。	

教079	項目名	青年団体育成費補助金		
主要な施策	青少年育成費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 生涯学習課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】青少年係 0857-20-3363			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P275(教068)			
目 社会教育活動費	【事業の概要】 1 青少年育成鳥取県民会議と連携をしながら運動を展開している青少年育成鳥取市民会議に補助金を交付。 2 青年大会派遣補助 (1) 全国大会に参加する青年団員に対し、その所要経費を助成。 (2) 鳥取県青年大会に参加する者に対し、その参加費の一部を助成。 3 地区青年団活動補助 地区の青年団へ運営費を助成。 4 青少年伝統芸能等継承活動支援事業補助 子どもたちが地域のイベントや鳥取市しゃんしゃん祭り等に参加する事業を行う市子ども会連合会に補助金を交付。			
(単位:千円)	【事業の成果】 H24年度実績 1 青少年育成鳥取市民会議 地区協議会38地区に助成を行い各地区で事業を行った。 2 青年大会派遣補助 なし 3 地区青年団補助 国府町青年団に補助金交付 4 青少年伝統芸能等継承活動支援事業補助 子ども会連合会連として鳥取市しゃんしゃん祭りに踊り子302名参加し事業を行った。			
当初予算額	1,782	【今後の課題・方向性】 見直しを行いながら継続して実施する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,782	【参考】		
本年度決算額	1,535	評価結果		
区分	決算額	見直しを行いながら、継続して実施。(地区青年団活動補助は廃止し、青年団体への運営補助とイベント助成を統合した「青年団体育成費補助金」を制定した。)		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	1,535			
計	1,535			
前年度決算額	1,382			

教080	項目名	成人式開催費		
主要な施策	成人式開催費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 生涯学習課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】青少年係 0857-20-3363			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P276(教069)			
目 社会教育活動費	【事業の概要】 新成人の二十歳の門出を祝うとともに、新成人に大人としての自覚と責任を促すことを目的に実施する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 H22 H23 H24 該当者人数 2,310人 2,068人 2,150人 参加者人数 約1,800人 約1,750人 約1,800人			
当初予算額	2,000	【今後の課題・方向性】 継続して実施する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,000	【参考】		
本年度決算額	1,834	評価結果		
区分	決算額	新成人自ら実行委員会を組織し、企画・運営を行い、1,800人程度の参加者を得ている。今後も成人式実行委員会で企画・運営を行い、継続して実施する。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	1,834			
計	1,834			
前年度決算額	1,769			

教081	項目名	子育て講座開設費	
主要な施策	家庭教育支援基盤形成事業費	ページ	43
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 生涯学習課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青少年係 0857-20-3363		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P276(教070)		
目 社会教育活動費	【事業の概要】 国の補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」を受けて実施する。 (補助率: 国1/3 県1/3 市1/3) 市内の小学校・幼稚園等での「子育て講座」を家庭教育支援チームが企画・調整し開設する。 ・新小学1年生の保護者ための子育て講座(就学時検診等を活用した子育て講座) ・幼児期子育て講座 (講座内容) 基本的な生活習慣、生活能力、豊かな情操、他人への思いやり、善悪の判断など基本的な倫理観、社会的マナー、自制心や自立心など「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する上で必要な事項を取り上げて、保護者の家庭での教育力向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 家庭教育に関する学習機会を提供することにより、家庭の教育力の向上を図る。		
当初予算額	2,661	【今後の課題・方向性】 今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力向上を図る。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	2,661	【参考】	
本年度決算額	2,327	評価結果 この事業は、参加者アンケートにおいて高い評価を得ている。今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力向上を図る。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金 1,535	前年度決算額 2,608	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 792		
	計 2,327		
		評価結果 この事業は、参加者アンケートにおいて高い評価を得ている。今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力向上を図る。	

教082	項目名	ものづくり道場推進事業費	
主要な施策	ものづくり道場推進事業費	ページ	43
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 生涯学習課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P277(教071)		
目 社会教育活動費	【事業の概要】 鳥取大学及び鳥取県と連携した、子どもたちにもものづくりを教えるための指導者を養成するための事業。 少ない生活経験やコミュニケーションの取りにくさなどから、ナイフで鉛筆が削れない、リンゴの皮がむけない子どもが増えている。この現代の子どもたちにもものづくりの楽しさを指導する指導者養成を鳥取大学が科学技術振興機構の補助を受けて平成20年度から3年間実施した。その事業を継続して実施する。 (事業の内容) (1)ものづくり道場事務局 担当:鳥取大学 (2)ものづくり指導者養成講座の実施 担当:鳥取県 (3)ものづくりイベントの実施 鳥取、中部、米子ものづくり道場でもものづくりイベントを行う。実施主体は、鳥取大学で、参加市町村は、鳥取大学に負担金を支払う。 (4)ものづくり教室の実施 公民館などにおいてもものづくり教室を行う。指導者派遣料は、各市町村が負担。このうち(3)について本事業で予算措置を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ものづくりイベントの実施 ・H24.5.27 因幡の手づくりまつり 1,300参加 ・H25.1.26 因幡・冬の手づくりまつり 300人参加		
当初予算額	401	【今後の課題・方向性】 鳥取大学及び鳥取県と連携してものづくりイベントを継続していく。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	401	【参考】	
本年度決算額	401	評価結果 ものづくり教育を推進していくことは、次代を担うたくましい子どもを育むのに重要なことである。鳥取大学、鳥取県と連携してものづくりイベントを継続していく。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金 0	前年度決算額 401	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 401		
	計 401		

教083	項目名	地区公民館事業費													
主要な施策	公民館活動事業費	ページ	44												
年度	H24	所 属 名													
		教育委員会事務局 生涯学習課													
会計名	事業の概要														
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362														
款 教育費	【9次総の施策体系】2102														
項 社会教育費	【予算計上の経過】														
目 公民館費	予算事業別概要目次 当初予算・P277(教072)														
(単位:千円)	【事業の概要】														
当初予算額	21,153	委託先:鳥取市公民館連合会													
補正予算額	0	地区公民館事業 62館(内分館1館)の事業費													
予算流・充用額	0	平成18年度まで5事業としていたが、平成19年度より3事業に統括し実施している。事業費の配分は、基本的に各地区公民館の裁量により設定できることとする。													
最終予算額	21,153	【事業の成果】													
本年度決算額	21,136	(1)子どもと大人のふれあい事業													
区分	決算額	地域で子どもたちを育てる環境整備を図ることにより、子どもたちのボランティア活動・体験活動の機会を充実・支援する。旧ひとつくり事業を含む。													
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,070件</td> <td>968件</td> <td>937件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td>52,500人</td> <td>45,540人</td> <td>40,404人</td> </tr> </table>		事業開催数(延)	平成22年度	平成23年度	平成24年度		1,070件	968件	937件	参加人数(延)	52,500人	45,540人	40,404人
事業開催数(延)	平成22年度	平成23年度	平成24年度												
	1,070件	968件	937件												
参加人数(延)	52,500人	45,540人	40,404人												
国・県支出金	0	(2)特色ある公民館活動事業													
地方債	0	地域の特性を踏まえて特性を活かしながら、公民館独自の発想で事業を企画実施する。													
その他	0	<table border="1"> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>695件</td> <td>951件</td> <td>750件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td>25,183人</td> <td>28,057人</td> <td>29,390人</td> </tr> </table>		事業開催数(延)	平成22年度	平成23年度	平成24年度		695件	951件	750件	参加人数(延)	25,183人	28,057人	29,390人
事業開催数(延)	平成22年度	平成23年度	平成24年度												
	695件	951件	750件												
参加人数(延)	25,183人	28,057人	29,390人												
一般財源	21,136	(3)人権啓発推進事業													
計	21,136	各地区公民館で、人権問題について正しい認識を深める研修会等を開催する。旧女性教室を含む。													
		<table border="1"> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>500件</td> <td>538件</td> <td>511件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td>15,540人</td> <td>13,961人</td> <td>13,849人</td> </tr> </table>		事業開催数(延)	平成22年度	平成23年度	平成24年度		500件	538件	511件	参加人数(延)	15,540人	13,961人	13,849人
事業開催数(延)	平成22年度	平成23年度	平成24年度												
	500件	538件	511件												
参加人数(延)	15,540人	13,961人	13,849人												
		【今後の課題・方向性】													
		各地区公民館がそれぞれの事業の目的に合わせて、地域の人が集い、学び合い、交流し合う機会を充実させる。													
(参考)		評価結果													
前年度決算額	21,131	地区公民館は、地域住民が集い、学び、交流し、むすぶ拠点施設であり、本事業は公民館活動に大きく寄与している。今後も、各地区公民館で積極的に生涯学習事業を計画し取り組んでもらい、地域の生涯学習の拠点として充実を図りたい。													

教084	項目名	基幹公民館事業費	
主要な施策	公民館活動事業費	ページ	44
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【予算計上の経過】		
目 公民館費	予算事業別概要目次 当初予算・P278(教073)		
(単位:千円)	【事業の概要】		
当初予算額	3,199	基幹公民館主催の生涯学習事業開催費等	
補正予算額	0	【国府】高齢者講座(万葉学校)、青少年・子ども事業、星空観察会、アフターファイブ事業	
予算流・充用額	△15	【福部】図書推進事業、レディースセミナー、耕心大学、こども交流事業	
最終予算額	3,184	【河原】みたき大学、女性セミナー、民俗行事、読書推進、郷土見聞、盆栽講習会	
本年度決算額	2,931	パソコン教室、子ども教室、青年学級、キックベースボール大会、卓球大会	
区分	決算額	【用瀬】みすみ大学、成人学級、ひいな学級、郷土史講座、おり紙教室、古文書を読み会、陶芸体験教室、青少年育成研修会	
財源内訳		【佐治】ふるさとの歴史講座講師謝金、昔の手仕事講師謝金、地域講座	
国・県支出金	0	【気高】歴史講座、指導者養成講座	
地方債	0	【鹿野】鹿野学講座、図書イベント	
その他	0	【青谷】図書室おはなし会、高齢者教室、高齢者教室推進員事業、各種講座	
一般財源	2,931	【事業の成果】	
計	2,931	生涯学習の拠点である基幹公民館において、地域性を生かした各種事業を開催し、地域に根付いた生涯学習活動を推進した。	
		【今後の課題・方向性】	
		地域の生涯学習機会の充実のため、今後も継続して実施する。社会情勢や住民のニーズをとらえて事業内容の改善・向上に努め、地域住民の生涯学習活動の増進に取り組む。	
(参考)		評価結果	
前年度決算額	3,067	地域の生涯学習機会の充実のため、今後も継続して実施する。社会情勢や住民のニーズをとらえて事業内容の改善・向上に努め、地域住民の生涯学習活動の増進に取り組む。	

教085	項目名	基幹公民館施設管理費		
主要な施策	基幹公民館施設管理費	ページ	44	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 生涯学習課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P278(教074) 9月補正予算P53(教005)			
目 公民館費	【事業の概要】 基幹公民館(国府町、福部町、河原町、用瀬町、佐治町、気高町、青谷町)の施設維持及び管理経費。			
(単位:千円)	【事業の成果】 施設を適切に維持管理し、利用者の安全確保と利用環境の向上を図る。			
当初予算額	41,079	【今後の課題・方向性】 施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。		
補正予算額	664			
予算流・充用額	21			
最終予算額	41,764	【今後の課題・方向性】 施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。		
本年度決算額	40,627	【今後の課題・方向性】 施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。	
	地方債	0	【今後の課題・方向性】 施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。	
	その他	1,356	【今後の課題・方向性】 施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。	
	一般財源	39,271	【今後の課題・方向性】 施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。	
	計	40,627	【今後の課題・方向性】 施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。	
(参考)	前年度決算額	61,196	【今後の課題・方向性】 施設利用者の安全確保と利用環境の向上を図りながら適切に維持管理を行う。	
	評価結果	各施設において老朽化が進んできており、今後維持管理費の増加が予想される。そのため、住民サービスを維持しながら緊急性、安全性に配慮し、優先順位をつけて対応したい。		

教086	項目名	文化センター施設管理委託費		
主要な施策	施設管理費	ページ	44	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 生涯学習課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P279(教075)			
目 文化センター管理費	【事業の概要】 鳥取市文化センターは、文化ホール、こども科学館、視聴覚ライブラリー、生涯学習センターをもつ複合多機能型社会教育施設であり、本市における文化活動拠点施設である。平成18年9月に指定管理者制度を導入し、(財)鳥取市教育福祉振興会に指定管理委託を行っている。			
(単位:千円)	・文化ホール 客席508席 練習室 ・こども科学館 工作室、パソコン室、陶芸室 ・視聴覚ライブラリー 教材保管室、試写室 ・生涯学習センター 会議室(3)、大会議室(1)他			
当初予算額	102,113	○指定管理委託料(鳥取市文化センターの管理及び業務委託) 指定管理期間 平成22年4月1日から平成26年3月31日まで 指定管理料(債務負担行為) 407,053千円 指定管理者 (財)鳥取市教育福祉振興会		
補正予算額	9	【事業の成果】 施設を指定管理委託することにより、効率的かつ効果的な管理運営を行った。		
予算流・充用額	1	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。		
最終予算額	102,123	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。		
本年度決算額	102,122	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。	
	地方債	0	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。	
	その他	12,861	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。	
	一般財源	89,261	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。	
	計	102,122	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。	
(参考)	前年度決算額	101,535	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。	
	評価結果	本施設は指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上及び経営の効率化に努めている。モニタリング制度を活用して施設の管理運営状況を把握し、引き続き指定管理者と協議しながら適切な管理運営に努めていく。		

教087	項目名	文化センター施設整備費	
主要な施策	施設整備費	ページ	44
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P279(教076)		
目 文化センター管理費	【事業の概要】 昭和57年に開館した鳥取市文化センターは、文化ホール、こども科学館、視聴覚ライブラリー、生涯学習センターをもつ複合多機能型社会教育施設であり、本市における文化活動拠点施設である。鳥取市文化ホールは、昭和55年に建築された鉄筋コンクリート造りの建築物であり、文化活動の発表の場として広く市民に利用されている。施設の老朽化が進んでおり、施設を適切に管理し利用者の安全を確保するため、計画的な修繕等が必要である。		
(単位:千円)	【事業の成果】 施設を適切に維持管理し、利用者の安全確保と利用環境の向上を図った。 ・文化ホール排水管修繕 ・文化ホール事務所系統空冷ヒートポンプチラー塗装修繕 ・文化センター屋外排水設備修繕		
当初予算額	3,535	【今後の課題・方向性】 鳥取市文化センター及び文化ホールの利用者の安全確保と利用環境の向上のため、修繕等が必要な場合は計画的に進める。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	3,535	【事業の成果】 施設を適切に維持管理し、利用者の安全確保と利用環境の向上を図った。 ・文化ホール排水管修繕 ・文化ホール事務所系統空冷ヒートポンプチラー塗装修繕 ・文化センター屋外排水設備修繕	
本年度決算額	3,191	【今後の課題・方向性】 鳥取市文化センター及び文化ホールの利用者の安全確保と利用環境の向上のため、修繕等が必要な場合は計画的に進める。	
区分	決算額	【事業の成果】 施設を適切に維持管理し、利用者の安全確保と利用環境の向上を図った。 ・文化ホール排水管修繕 ・文化ホール事務所系統空冷ヒートポンプチラー塗装修繕 ・文化センター屋外排水設備修繕	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 鳥取市文化センター及び文化ホールの利用者の安全確保と利用環境の向上のため、修繕等が必要な場合は計画的に進める。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,191		
計	3,191		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	2,244	鳥取市文化センター及び文化ホールの利用者の安全確保と利用環境の向上のため、修繕等が必要な場合は計画的に進める。	

教088	項目名	勤労青少年ホーム施設管理費	
主要な施策	施設管理費	ページ	44
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青少年係 0857-20-3363		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P280(教077)		
目 勤労青少年ホーム管理費	【事業の概要】 ・施設管理費(建物火災保険料・委託料) ・指定管理委託料(勤労青少年ホーム及び体育館の管理並びに業務委託) 指定管理期間 平成22年4月1日から平成26年3月31日まで 指定管理料(債務負担行為)75,293千円 指定管理者 (財)鳥取市教育福祉振興会		
(単位:千円)	【事業の成果】 (財)鳥取市教育福祉振興会に指定管理委託することにより、円滑な管理運営を図る。		
当初予算額	18,666	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用し引き続き指定管理者に勤労青少年ホームの業務委託を行う。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	18,666	【事業の成果】 (財)鳥取市教育福祉振興会に指定管理委託することにより、円滑な管理運営を図る。	
本年度決算額	18,665	【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用し引き続き指定管理者に勤労青少年ホームの業務委託を行う。	
区分	決算額	【事業の成果】 (財)鳥取市教育福祉振興会に指定管理委託することにより、円滑な管理運営を図る。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 モニタリング制度を活用し引き続き指定管理者に勤労青少年ホームの業務委託を行う。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	71		
一般財源	18,594		
計	18,665		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	18,487	本施設は指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上及び経営の効率化に努めている。モニタリング制度を活用し今後も引き続き指定管理者と協議しながら勤労青少年ホームの適切な運営管理に努めていく。	

教089	項目名	サイクリングターミナル運営管理費等		
主要な施策	運営管理費等	ページ	44	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 生涯学習課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P280(教078)			
目 サイクリングターミナル管理費	【事業の概要】 青少年の宿泊研修施設であるサイクリングターミナル「砂丘の家」の施設運営管理（一般客の受入可）を行う。			
(単位:千円)	・施設概要 (設置目的) 青少年の健全な育成と福祉の増進に寄与することを目的とする。 (所在地) 鳥取市浜坂1157-115 (開設年月日) 昭和53年4月1日 (設備) 管理宿泊棟 鉄筋コンクリート造2階建 992㎡ 自転車格納庫 鉄骨造平屋建 100㎡ 1F 研修室・食堂・配膳室・大小浴室 2F 和室 8室・和洋室 2室・洋室 3室 宿泊定員 80名			
当初予算額	13,538	【事業の成果】 (宿泊者数)		
補正予算額	0	年度 一般利用 学校利用 団体利用 計		
予算流・充用額	0	22年度 1,662人 629人 2,821人 5,112人		
最終予算額	13,538	23年度 1,121人 643人 3,087人 4,851人		
本年度決算額	11,633	24年度 1,415人 774人 2,350人 4,539人		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 鳥取砂丘に隣接するという施設の特徴を活かして有効活用法を検討し、利用者増加に努める。		
財源内訳	決算額	【参考】		
国・県支出金	0	前年度決算額		
地方債	0	10,360		
その他	11,633	評価結果		
一般財源	0	鳥取砂丘や砂の美術館、こどもの国などを近隣にもつ立地を活かした施設の有効活用を検討し、一層の利用促進を図る。		
計	11,633			

教090	項目名	視聴覚ライブラリー運営管理費等		
主要な施策	運営管理費等	ページ	44	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 生涯学習課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P281(教079)			
目 視聴覚ライブラリー管理費	【事業の概要】 昭和30年から視聴覚教育費を予算化し、機器の整備に努めた。その後、昭和41年に視聴覚ライブラリーとして発足させた。運営管理が平成18年から指定管理者制度に移行し、管理主体は、鳥取市から(財)鳥取市教育福祉振興会になった。			
(単位:千円)	【事業の成果】 視聴覚資料を提供することにより、学校教育及び生涯学習の振興を図ることを目的とする。			
当初予算額	679	(1) 視聴覚ライブラリーの業務		
補正予算額	0	① 視聴覚学習の調査、研究及び指導を行う。		
予算流・充用額	0	② 視聴覚教材及び材料の整備を図る。		
最終予算額	679	③ 視聴覚教材及び教材の保管及び貸出並びに利用の促進を図る。		
本年度決算額	571	(2) 事業の実績(利用者数)		
区分	決算額	H22 H23 H24		
財源内訳	決算額	貸出本数(本) 205 220 199		
国・県支出金	0	全視聴者数(人) 5,871 5,130 6,325		
地方債	0	【今後の課題・方向性】 情報通信技術の発達に伴い、視聴覚機器の新しいメディアへの対応など、技術動向を見極めながら、年次的に備品購入を進めていく。		
その他	0			
一般財源	571			
計	571			
(参考)	評価結果			
前年度決算額	573	現在の映像メディアに対応した備品購入を進めるとともに、現有の教材が広く活用されるよう活性化を図る。		

教091	項目名	農業者トレーニングセンター管理費	
主要な施策	社会教育施設管理費	ページ	44
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P53(教006)		
目 社会教育施設管理費	【事業の概要】 施設維持管理経費 併設施設(鹿野町中央公民館、鹿野町農業者トレーニングセンター、鹿野地区公民館)		
(単位:千円)	【事業の成果】 「鳥取市公民館条例」及び「鳥取市農業者トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例」に基づき、当該施設の維持管理を行う。		
当初予算額	6,011	【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
補正予算額	357		
予算流・充用額	3		
最終予算額	6,371	【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
本年度決算額	5,822	【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
その他	510	【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
一般財源	5,312	【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
計	5,822	【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
(参考)		【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
前年度決算額	5,981	【今後の課題・方向性】 鹿野町農業者トレーニングセンターを今後も適切に維持管理していく。	
評価結果	教育委員会鹿野町分室において住民が安全に利用できるよう管理している。今後も鹿野町農業者トレーニングセンターを適切に維持管理していく。		

教092	項目名	集会所管理費	
主要な施策	社会教育施設管理費	ページ	44
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P281(教080) 9月補正予算・P54(教007)		
目 社会教育施設管理費	【事業の概要】 公民館以外に生涯学習課所管施設として、地域における生涯学習の推進及び地域の活性化を目的として集会所が設置されている。		
(単位:千円)	【事業の成果】 施設の環境を良好に保つことにより、利用者の安全を図ることが可能となる。		
当初予算額	4,261	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
補正予算額	284	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
予算流・充用額	4	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
最終予算額	4,549	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
本年度決算額	4,039	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
その他	376	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
一般財源	3,663	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
計	4,039	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
(参考)		【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
前年度決算額	20,585	【今後の課題・方向性】 施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。	
評価結果	各教育委員会分室において、地域の住民が安全に利用できるように管理している。今後も施設を適切に維持管理し、利用環境の向上を図る。		

教093	項目名	勝谷地区コミュニティ施設教室棟解体撤去事業費	
主要な施策	社会教育施設管理費	ページ	44
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P54(教008)		
目 社会教育施設管理費	【事業の概要】 勝谷地区コミュニティ施設は、地域づくり懇談会、地域審議会を以前より解体撤去の要望が出ていたところ、平成24年4月22日の強風により建材や錆びた鉄骨の破片飛散した。そのため、平成24年7月に開催された勝谷地区集落座談会において、危険回避のため早急に対応するよう要望があり、施設の解体撤去を行うもの。		
(単位:千円)	【事業の成果】 勝谷地区コミュニティ施設を早急に解体撤去したことにより、地域住民の安全・安心の確保が図れた。		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 事業の完了により、地域住民の安心・安全を確保した。今後は跡地を地域住民と協働しながら有効活用していく。	
補正予算額	30,462		
予算流・充用額	△1		
最終予算額	30,461	【事業の成果】 勝谷地区コミュニティ施設を早急に解体撤去したことにより、地域住民の安全・安心の確保が図れた。	
本年度決算額	19,465	【今後の課題・方向性】 事業の完了により、地域住民の安心・安全を確保した。今後は跡地を地域住民と協働しながら有効活用していく。	
区分	決算額	【事業の成果】 勝谷地区コミュニティ施設を早急に解体撤去したことにより、地域住民の安全・安心の確保が図れた。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 事業の完了により、地域住民の安心・安全を確保した。今後は跡地を地域住民と協働しながら有効活用していく。	
国・県支出金	0	【事業の成果】 勝谷地区コミュニティ施設を早急に解体撤去したことにより、地域住民の安全・安心の確保が図れた。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 事業の完了により、地域住民の安心・安全を確保した。今後は跡地を地域住民と協働しながら有効活用していく。	
その他	1	【事業の成果】 勝谷地区コミュニティ施設を早急に解体撤去したことにより、地域住民の安全・安心の確保が図れた。	
一般財源	19,464	【今後の課題・方向性】 事業の完了により、地域住民の安心・安全を確保した。今後は跡地を地域住民と協働しながら有効活用していく。	
計	19,465	【事業の成果】 勝谷地区コミュニティ施設を早急に解体撤去したことにより、地域住民の安全・安心の確保が図れた。	
(参考)		【今後の課題・方向性】 事業の完了により、地域住民の安心・安全を確保した。今後は跡地を地域住民と協働しながら有効活用していく。	
前年度決算額	0	【事業の成果】 勝谷地区コミュニティ施設を早急に解体撤去したことにより、地域住民の安全・安心の確保が図れた。	
評価結果	事業の完了により、地域住民および道路利用者の安心・安全を確保した。今後は跡地を地域住民と協働しながら有効活用していく。		

教094	項目名	さじアストロパーク運営管理費	
主要な施策	さじアストロパーク運営管理費	ページ	44
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P282(教081)		
目 さじアストロパーク管理費	【事業の概要】 1. 事業の経過及び背景 さじアストロパークは、103cm反射望遠鏡やプラネタリウム、様々な展示物、宿泊施設等を備えた国内有数の公開天文台である。生涯学習施設として天文教育や理科教育などを担い、地元鳥取市はもちろん、美しい星空を求めて岡山県や京阪神方面等の広い地域から年間およそ二十万人の来館者がある。 2. 事業の実績 入館者数実績 平成22年度 23,212人 平成23年度 23,683人 平成24年度 26,664人 プラネタリウム観覧者数 平成22年度 6,952人 平成23年度 6,975人 平成24年度 7,438人		
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取市の生涯学習の拠点であり、天文教育や理科教育を担うとともに、県外からの多数の来館者により地域の振興に寄与した。		
当初予算額	35,117	【今後の課題・方向性】 更なる利用者の増加に向けて、事業や施設管理の改善・向上に努める。	
補正予算額	1,663		
予算流・充用額	△18		
最終予算額	36,762	【事業の成果】 鳥取市の生涯学習の拠点であり、天文教育や理科教育を担うとともに、県外からの多数の来館者により地域の振興に寄与した。	
本年度決算額	30,140	【今後の課題・方向性】 更なる利用者の増加に向けて、事業や施設管理の改善・向上に努める。	
区分	決算額	【事業の成果】 鳥取市の生涯学習の拠点であり、天文教育や理科教育を担うとともに、県外からの多数の来館者により地域の振興に寄与した。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 更なる利用者の増加に向けて、事業や施設管理の改善・向上に努める。	
国・県支出金	0	【事業の成果】 鳥取市の生涯学習の拠点であり、天文教育や理科教育を担うとともに、県外からの多数の来館者により地域の振興に寄与した。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 更なる利用者の増加に向けて、事業や施設管理の改善・向上に努める。	
その他	10,736	【事業の成果】 鳥取市の生涯学習の拠点であり、天文教育や理科教育を担うとともに、県外からの多数の来館者により地域の振興に寄与した。	
一般財源	19,404	【今後の課題・方向性】 更なる利用者の増加に向けて、事業や施設管理の改善・向上に努める。	
計	30,140	【事業の成果】 鳥取市の生涯学習の拠点であり、天文教育や理科教育を担うとともに、県外からの多数の来館者により地域の振興に寄与した。	
(参考)		【今後の課題・方向性】 更なる利用者の増加に向けて、事業や施設管理の改善・向上に努める。	
前年度決算額	23,176	【事業の成果】 鳥取市の生涯学習の拠点であり、天文教育や理科教育を担うとともに、県外からの多数の来館者により地域の振興に寄与した。	
評価結果	鳥取市唯一の天文台として市内外から多くの方に利用していただいている。今後も更なる利用者の増加に向けて、事業や施設管理の改善・向上に努める。		

教095	項目名	給食配送委託費	
主要な施策	給食配送委託費	ページ	45
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 体育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P282(教082)		
目 学校給食費	【事業の概要】 学校給食センターから受配校である小・中学校までの給食の配送・回収を、継続的かつ定期的に実施する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 学校給食センターと学校(給食室)との間を給食用コンテナにより配送・回収する必要があるため、専用車を有する業者に委託して実施した。 (1) 第一・第二・湖東・国府学校給食センター 因伯通運(株) 【債務負担行為: H24~26】 (2) 佐治学校給食センター (株)さじ式拾壹 【随意契約】		
当初予算額	65,994	【今後の課題・方向性】 地域特性による受配校の児童・生徒数やクラス数の増加、燃料費等の高騰などにより、配送行程、人員配置、配送経費において、業務量の増加や経費増の変動要因が生じれば、委託費を増額しなければならない可能性がある。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	65,994	評価結果 給食実施に不可欠な業務であり、効率的な配送行程の検討による経費の縮減と安全・安心な配送に努めながら事業を継続する。	
本年度決算額	65,196		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	65,196	
	計	65,196	
(参考)	前年度決算額	64,673	

教096	項目名	給食調理委託費	
主要な施策	給食調理委託費	ページ	45
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 体育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372		
款 教育費	【9次総の施策体系】1102		
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P283(教83)、9月補正予算・P55(教009)		
目 学校給食費	【事業の概要】 学校給食センターの調理業務を、業務委託により、継続的かつ定期的に実施する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ①物資調達業務 (公財)鳥取市学校給食会 (随意契約) ②湖東学校給食センター ｼﾞｯｸｽ大新東ヒューマンサービス(株) (債務負担行為: H21~25) ③国府学校給食センター ｼﾞｯｸｽ大新東ヒューマンサービス(株) (債務負担行為: H21~25) ④第二学校給食センター (株)東洋食品 (債務負担行為: H22~26) ⑤気高・鹿野・青谷学校給食センター (公財)鳥取市学校給食会 (債務負担行為: H22~26) ⑥第一学校給食センター (公財)鳥取市学校給食会 (債務負担行為: H23~27) ⑦河原・佐治学校給食センター (公財)鳥取市学校給食会 (債務負担行為: H23~27) ⑧青谷学校給食センター炊飯業務 (公財)鳥取市学校給食会 (随意契約)		
当初予算額	404,731	全ての学校給食センター調理業務において、民間業者への外部委託としており、継続して業務委託を行った。また、青谷学校給食センターにおいて、夏休み明けの炊飯業務開始に伴い、炊飯業務委託も行った。	
補正予算額	570	【今後の課題・方向性】 現在の外部委託において、委託期間が平成25年度までのところもあり、業務実施状況等を検証しつつ、平成26年度からの業務委託に備える。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	405,301	評価結果 常に安全・安心な学校給食を心がけたうえで、柔軟な勤務体制等を通して経費縮減を図りながら、質の高い学校給食の提供を継続的に実施する。	
本年度決算額	403,404		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	403,404	
	計	403,404	
(参考)	前年度決算額	400,087	

教097	項目名	小学校扶助費		
主要な施策	標準保護児童・生徒給食扶助費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P284(教085)			
目 学校給食費	【事業の概要】 経済的な生活困窮家庭の児童の学校給食費の一部を援助することにより、家庭の負担を軽減するもの。			
(単位:千円)	【事業の成果】 児童の学校給食費の一部を援助することにより、家庭の負担軽減に一定の成果を得た。 援助単価：学校給食単価の70%(182円~193円/食) 認定者数：1,108人(うち被災者5人)			
当初予算額	37,577	【今後の課題・方向性】 母子父子家庭の増加又は地域経済の低迷等により、対象者が年々増加傾向にある。		
補正予算額	2,485			
予算流・充用額	0			
最終予算額	40,062	【参考】		
本年度決算額	39,369	評価結果	ひとり親家庭の増加又は地域経済の低迷等により対象者が年々増加傾向にあるが、児童の健全育成のためにも継続実施する。	
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金	167		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	39,202		
	計	39,369		
前年度決算額	36,872			

教098	項目名	中学校扶助費		
主要な施策	標準保護児童・生徒給食扶助費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P284(教086)			
目 学校給食費	【事業の概要】 経済的な生活困窮家庭の生徒の学校給食費の一部を援助することにより、家庭の負担を軽減するもの。			
(単位:千円)	【事業の成果】 生徒の学校給食費の一部を援助することにより、家庭の負担軽減に一定の成果を得た。 援助単価：学校給食単価の70%(210円~220円/食) 認定者数：623人(うち被災者1人)			
当初予算額	22,992	【今後の課題・方向性】 母子父子家庭の増加又は地域経済の低迷等により、対象者が年々増加傾向にある。		
補正予算額	2,684			
予算流・充用額	0			
最終予算額	25,676	【参考】		
本年度決算額	24,531	評価結果	ひとり親家庭の増加又は地域経済の低迷等により対象者が年々増加傾向にあるが、生徒の健全育成のためにも継続実施する。	
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金	41		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	24,490		
	計	24,531		
前年度決算額	22,785			

教099	項目名	備品整備(学校給食センター)		
主要な施策	給食センター整備費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P283(教084)			
目 学校給食費	【事業の概要】 安全・安心な学校給食、おいしい学校給食を継続的かつ安定的に供給するため、学校給食センター及び学校備品を更新する。 また、佐治中学校と用瀬中学校の統合を控え、河原学校給食センターに大型備品を購入する。 さらに、青谷学校給食センターに炊飯ライン設置に伴い、附随する備品を購入する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 次の備品を更新・購入した。 ①学校給食センター調理機器の更新 各学校給食センター ②学校牛乳保冷庫の更新 ③河原学校給食センター大型備品購入 ④青谷学校給食センター炊飯器導入に伴う備品購入			
当初予算額	12,821	【今後の課題・方向性】 学校給食センターの主要調理機器は、学校給食センター建築時に導入したものが多く、経過年数的に耐用年数を超過しているものも多く、年次計画的に整備を行っていく必要性がある。		
補正予算額	△ 2,016			
予算流・充用額	0			
最終予算額	10,805	【参考】		
本年度決算額	10,406	評価結果		
区分	決算額	施設整備の経年劣化や衛生管理基準の厳正化に伴い、更新が必要な施設整備が増加しつつある。将来的な学校給食センターの統合も考慮しながら、年次的な設備の更新を継続する。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	4,300			
その他	0			
一般財源	6,106			
計	10,406			
前年度決算額	3,015			

教100	項目名	学校給食未納対策費		
主要な施策	学校給食未納対策費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P285(教087)			
目 学校給食費	【事業の概要】 教育委員会及び学校による段階的な未納対策を行っても徴収できない学校給食費未納金の生じた学校給食センター運営委員会に未納補てん補助金を補助することにより、本市及び各学校における学校給食会計の円滑な運営を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 未納額縮減のため、段階的対策を実施。 ・未納者への文書督促: 82件 ・未納者への家庭訪問: 177件			
当初予算額	948	平成23年度分に学校給食費未納金の生じた学校給食センター運営委員会に対して、未納補てん補助金を交付した。前年度交付した補助金と比較して減額となっている。 ・未納補てん補助金 1,934千円(補助率10/10) ・6学校給食センター(小学校18校、中学校9校 計27校)		
補正予算額	2,267	新たに3件の法的措置を行い、うち2件は年度内に全額回収した。 児童手当からの学校給食費引去りは、件数・金額とも前年度より増加している。		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 引き続き法的措置を視野に入れつつ、学校及び他の徴収担当課とも連携を図りながら、効果的な実施方法を検証する。		
最終予算額	3,215	【参考】		
本年度決算額	2,399	評価結果		
区分	決算額	公平な負担と安定した食材の確保のため、法的措置を含めた段階的な未納対策を行う。他の債権管理業務を参考としつつ、効果的な対策を検証しながら継続実施する。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	1,370			
一般財源	1,029			
計	2,399			
前年度決算額	2,581			

教101	項目名	給食地産地消推進事業費		
主要な施策	給食地産地消推進事業費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P285(教088)			
目 学校給食費	【事業の概要】 食材コーディネーター1名を配置し、鳥取地域の学校給食における地元食材の使用を推進する。平成23年度はふるさと雇用特別交付金事業として実施した(単年度事業)。			
(単位:千円)	【事業の成果】 ・事業期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日 ・委託先 (公財)鳥取市学校給食会 平成24年度における県内産食材地産地消率が、鳥取市全体で65%、鳥取地域で61%と向上し、地元産食材の使用増加につながった。			
当初予算額	2,000	【今後の課題・方向性】 J A・食材供給グループと連携強化を図り、地産地消の推進に引き続き取り組む。地産地消率の向上にもある程度のところで限界がくる。		
補正予算額	0	【参考】		
予算流・充用額	0	評価結果		
最終予算額	2,000	地元食材の使用率の向上や販路拡大など、地産地消の推進に一定の効果を心得ており、継続して実施する。		
本年度決算額	2,000	評価結果		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金	0	評価結果	
	地方債	0	評価結果	
	その他	0	評価結果	
	一般財源	2,000	評価結果	
	計	2,000	評価結果	
前年度決算額	2,000	評価結果		

教102	項目名	市民体育祭開催費		
主要な施策	市民体育祭開催費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P286(教089)			
目 体育振興費	【事業の概要】 鳥取市民体育祭は、昭和33年に市制70周年記念事業として始まった。 毎年4月中旬の予選から、10月中旬まで約6ヶ月間に渡って44の小学校区ごとに19種目の競技を行い、得点を競い合うもので、選手・役員・応援などに延べ約25,000人の市民が参加する、全国でもあまり例を見ない本市最大のスポーツ行事である。			
(単位:千円)	経費内訳・・・大会運営委託料、競技用品、表彰関係品、その他事務費など (実績) 平成21年度 1,876千円 平成22年度 1,908千円 平成23年度 1,861千円			
当初予算額	2,205	【事業の成果】 鳥取市の掲げる市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、生涯スポーツの推進はもとより、小学校区対抗とすることで、地域の一体感の醸成、他地域との交流の場として寄与している。		
補正予算額	0	【今後の課題・方針等】 開催種目や運営方法および日程等に関しては、地域体育会等の意見を反映し、より多くの校区・市民が参加できるよう適時見直しを行なう。		
予算流・充用額	△6	【参考】		
最終予算額	2,199	評価結果		
本年度決算額	2,022	生涯スポーツや市民交流の推進の場として鳥取市が進める市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、時代の流れにあわせて種目や実施方法に改善を加えながら継続実施する。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金	0	評価結果	
	地方債	0	評価結果	
	その他	0	評価結果	
	一般財源	2,022	評価結果	
	計	2,022	評価結果	
前年度決算額	1,861	評価結果		

教103	項目名	姫路市スポーツ大会開催費		
主要な施策	体育大会費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P286(教090)			
目 体育振興費	【事業の概要】 鳥取市と姫路市は、昭和47年に姉妹都市提携を結んで以来、各分野に渡って交流を広げてきた。スポーツにおいても、昭和52年から毎年、4種目程度の種目の役員・選手が相互訪問し、交流を深めている。 平成24年度第35回大会は節目となる5年ごとの大会であり、8種目に増やして姫路市で開催した。			
(単位:千円)	経費内訳・・・大会運営委託料、参加記念品、競技用品、印刷等其他需用費			
当初予算額	833	平成24年5月27日(日) 会場:姫路市 8種目:バレーボール(小学生男子)、卓球(小・中・一般)、 バドミントン(小・中・高・一般)、サッカー(小学生男子) 水泳(小学生)、軟式野球(小学生男子)、テニス(高・一般) ゲートボール(一般)		
補正予算額	0	【事業の成果】 姉妹都市として一層の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツの振興を図る。		
予算流・充用額	△44	【今後の課題・方向性】 今後も継続を行う。節目となる5年ごとの大会(次回は第40回大会)は10種目前後と数を増やし、大規模な大会を開催する。		
最終予算額	789	【事業の成果】 姉妹都市として一層の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツの振興を図る。		
本年度決算額	569	【今後の課題・方向性】 今後も継続を行う。節目となる5年ごとの大会(次回は第40回大会)は10種目前後と数を増やし、大規模な大会を開催する。		
区分	決算額	【事業の成果】 姉妹都市として一層の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツの振興を図る。		
財源内訳	0	【今後の課題・方向性】 今後も継続を行う。節目となる5年ごとの大会(次回は第40回大会)は10種目前後と数を増やし、大規模な大会を開催する。		
国・県支出金	0	【事業の成果】 姉妹都市として一層の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツの振興を図る。		
地方債	0	【今後の課題・方向性】 今後も継続を行う。節目となる5年ごとの大会(次回は第40回大会)は10種目前後と数を増やし、大規模な大会を開催する。		
その他	0	【事業の成果】 姉妹都市として一層の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツの振興を図る。		
一般財源	569	【今後の課題・方向性】 今後も継続を行う。節目となる5年ごとの大会(次回は第40回大会)は10種目前後と数を増やし、大規模な大会を開催する。		
計	569	【事業の成果】 姉妹都市として一層の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツの振興を図る。		
(参考)	評価結果	両市民の交流を深め、スポーツ振興に寄与している。今後も継続して大会を開催する。		
前年度決算額	577			

教104	項目名	スポレク祭開催費		
主要な施策	体育大会費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P287(教091)			
目 体育振興費	【事業の概要】 鳥取市スポーツレクリエーション祭は、生涯スポーツの普及に伴い、それまで行っていた壮年テニス大会等を統合して平成2年度から開始した大会である。校区別に競技スポーツで勝敗を競う市民体育祭とは異なり、市民誰もが気軽に参加できるニュースポーツ等を中心として開催している。			
(単位:千円)	経費内訳・・・大会運営委託料、会場借上料、其他需用費			
当初予算額	695	平成24年9月23日(日) 10種目:グラウンド・ゴルフ、ペタンク、ドッジボール、バウンズボール ソフトバレー、ラージボール卓球、バウンドテニス 羽根っこゲーム、クロリティー、壮年サッカー、歩こう会 ※ゲートボール、壮年サッカーは開催中止		
補正予算額	0	(実績)参加者数 平成22年度 977人 平成23年度 1,036人 平成24年度 894人		
予算流・充用額	△29	【事業の成果】 多くの市民が、気軽に参加出来るスポーツイベントであり、生涯スポーツの普及や振興に寄与している。		
最終予算額	666	【今後の課題・方向性】 協会等と連携を図り、種目の変更や追加・運営方法等を見直しながら実施していく。		
本年度決算額	467	【今後の課題・方向性】 協会等と連携を図り、種目の変更や追加・運営方法等を見直しながら実施していく。		
区分	決算額	【事業の成果】 多くの市民が、気軽に参加出来るスポーツイベントであり、生涯スポーツの普及や振興に寄与している。		
財源内訳	0	【今後の課題・方向性】 協会等と連携を図り、種目の変更や追加・運営方法等を見直しながら実施していく。		
国・県支出金	0	【事業の成果】 多くの市民が、気軽に参加出来るスポーツイベントであり、生涯スポーツの普及や振興に寄与している。		
地方債	0	【今後の課題・方向性】 協会等と連携を図り、種目の変更や追加・運営方法等を見直しながら実施していく。		
その他	0	【事業の成果】 多くの市民が、気軽に参加出来るスポーツイベントであり、生涯スポーツの普及や振興に寄与している。		
一般財源	467	【今後の課題・方向性】 協会等と連携を図り、種目の変更や追加・運営方法等を見直しながら実施していく。		
計	467	【事業の成果】 多くの市民が、気軽に参加出来るスポーツイベントであり、生涯スポーツの普及や振興に寄与している。		
(参考)	評価結果	生涯スポーツ等の普及・振興に寄与している大会であり、種目や運営方法の見直しを行い、参加者のニーズに合った開催を行う。		
前年度決算額	590			

教105	項目名	新春健康マラソン大会開催費	
主要な施策	体育大会費	ページ	45
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 体育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】体育課スポーツ振興係 0857-20-3371		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P287(教092)		
目 体育振興費	【事業の概要】 平成21年度まで開催されていた山の手マラソンに代わり、安全かつ記録の出やすいコースへ変更した。5km、3km、1.5km、ファミリー1kmの部門に分け、参加料無料、当日受付とし、幅広く参加者を募り、年頭(1月3日)における鳥取市民の恒例行事として定着化させる。		
(単位:千円)	経費内訳・・・大会運営委託料、会場借上料、参加賞、その他需要費		
当初予算額	502	【事業の成果】 年頭(例年1月3日)に健康マラソンを実施し、市民の健康維持・増進を図っている。	
補正予算額	0	(実績)参加者数 平成23年度 442人 平成24年度 天候不順により大会中止	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施予定。	
最終予算額	502	【事業の成果】 年頭(例年1月3日)に健康マラソンを実施し、市民の健康維持・増進を図っている。	
本年度決算額	182	【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施予定。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施予定。	
財源内訳	0	【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施予定。	
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施予定。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施予定。	
その他	0	【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施予定。	
一般財源	182	【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施予定。	
計	182	【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施予定。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	337	市民の健康づくりのきっかけとするため、鳥取市年始の恒例行事として定着化させるべく継続実施する。	

教106	項目名	エクアドルキャンプ記念サッカー大会費	
主要な施策	エクアドルキャンプ記念サッカー大会費	ページ	45
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 体育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】体育課スポーツ振興係 0857-20-3371		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P288(教093)		
目 体育振興費	【事業の概要】 2002年に日韓共催で行われたFIFAワールドカップにおいて、本市はエクアドルの代表チームの公式キャンプ地となった。また、2003年に「日本・エクアドル友好協会」を鳥取市に設立し、記念のサッカー大会を開催した。このサッカー大会がエクアドルとの友好及び本市のスポーツ振興へと繋がっている。		
(単位:千円)	経費内訳・・・大会運営委託料、参加賞、会場借上料、その他需要費		
当初予算額	421	【事業の成果】 小・中学生による記念サッカー大会を、ワールドカップキャンプ地となったバードスタジアムとその他の市内のサッカー場を会場に開催する。バードスタジアムという舞台でプレーすることにより、小・中学生の夢や目標を育て上げ、スポーツ振興に寄与している。近年は参加者が増加傾向にある。	
補正予算額	0	(参加チーム数) 小学生 中学生 平成22年度 26チーム 17チーム 平成23年度 33チーム 16チーム 平成24年度 41チーム 20チーム	
予算流・充用額	△17	【今後の課題・方向性】 継続して実施予定。運営は鳥取市サッカー協会に委託し、運営等に係る費用を鳥取市が負担する。	
最終予算額	404	【今後の課題・方向性】 継続して実施予定。運営は鳥取市サッカー協会に委託し、運営等に係る費用を鳥取市が負担する。	
本年度決算額	380	【今後の課題・方向性】 継続して実施予定。運営は鳥取市サッカー協会に委託し、運営等に係る費用を鳥取市が負担する。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 継続して実施予定。運営は鳥取市サッカー協会に委託し、運営等に係る費用を鳥取市が負担する。	
財源内訳	0	【今後の課題・方向性】 継続して実施予定。運営は鳥取市サッカー協会に委託し、運営等に係る費用を鳥取市が負担する。	
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 継続して実施予定。運営は鳥取市サッカー協会に委託し、運営等に係る費用を鳥取市が負担する。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 継続して実施予定。運営は鳥取市サッカー協会に委託し、運営等に係る費用を鳥取市が負担する。	
その他	0	【今後の課題・方向性】 継続して実施予定。運営は鳥取市サッカー協会に委託し、運営等に係る費用を鳥取市が負担する。	
一般財源	380	【今後の課題・方向性】 継続して実施予定。運営は鳥取市サッカー協会に委託し、運営等に係る費用を鳥取市が負担する。	
計	380	【今後の課題・方向性】 継続して実施予定。運営は鳥取市サッカー協会に委託し、運営等に係る費用を鳥取市が負担する。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	369	決勝でバードスタジアムを使用するなど、小・中学生の夢や目標を育てる機会を提供しており、現状を維持継続する。	

教107	項目名	全国高校野球選手権大会出場補助金		
主要な施策	全国高校野球選手権大会出場補助金	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P55(教010)			
目 体育振興費	【事業の概要】 全国高等学校野球選手権大会に出場する選手への激励を目的とし、スポーツ振興及び有為な人材育成に寄与することで、鳥取市の更なるスポーツ活動の発展に繋げる。 ・補助金の交付 全国高等学校野球選手権大会等に出場する選手団(後援会)に激励金50万円を交付 ・鳥取市役所第2庁舎に激励懸垂幕を設置			
(単位:千円)	【事業の成果】 対象となる高等学校への補助金の交付、懸垂幕の設置により、選手団への激励を行った。			
当初予算額	0	平成23年度 (夏) 鳥取商業高校 (春) 鳥取城北高校		
補正予算額	603	平成24年度 (夏) 鳥取城北高校		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 対象となる高等学校へ随時交付するものとする。		
最終予算額	603	【参考】		
本年度決算額	603	評価結果		
区分	決算額	選手団の激励に有意義であり、鳥取を全国へ発信する貴重な機会となっているため、引き続き補助金を交付する。		
財源内訳	0	分担金 0		
国・県支出金	0	負担金 0		
地方債	0	使用料 0		
その他	0	手数料 0		
一般財源	603	財産収入 0		
計	603	寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		
前年度決算額	1,216			

教108	項目名	小中学校体育連盟補助金		
主要な施策	小中学校体育連盟補助金	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】体育課スポーツ振興係 0857-20-3371			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P288(教094)			
目 体育振興費	【事業の概要】 鳥取市小・中学校体育連盟の活動に要する経費に対して補助金を交付する。主な内訳は各種大会への派遣費となっている。			
(単位:千円)	【事業の成果】 各大会の開催や、派遣費等の補助をすることで児童・生徒の体育活動の健全な発展を図っている。			
当初予算額	9,605	小学校体育連盟補助金:1,128千円 県陸上・水泳大会派遣費、主催事業運営費		
補正予算額	1,401	中学校体育連盟補助金:9,876千円 県中学総体、全国・中国大会派遣費 等		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 小・中学校体育連盟の円滑な活動のため、今後も継続し交付していく。		
最終予算額	11,006	【参考】		
本年度決算額	11,004	評価結果		
区分	決算額	学校教育活動の一環である小中学校体育連盟の活動を支援し、小中学生の健全育成・競技力向上を図るため、引き続き補助金を交付する。		
財源内訳	0	分担金 0		
国・県支出金	0	負担金 0		
地方債	0	使用料 0		
その他	0	手数料 0		
一般財源	11,004	財産収入 0		
計	11,004	寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		
前年度決算額	10,960			

教109	項目名	鳥取マラソン開催費		
主要な施策	鳥取マラソン開催費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P289(教096)			
目 体育振興費	【事業の概要】 平成18年度まで開催されていた湖山池ハーフマラソンを廃止し、マラソンコースのリニューアルや制限時間の大幅延長により、全国各地のランニング愛好者に向けた魅力あるマラソン大会にグレードアップした。 主催 鳥取マラソン実行委員会 (鳥取市、日本海新聞社、鳥取陸上競技協会の三者で構成) 内容 フルマラソン(湖山池周遊コース、制限時間6時間)			
(単位:千円)	【事業の成果】 マラソンを核に「鳥取市」を全国にPRする。 実行委員会事務局を日本海新聞社に置き、民間の機動力とノウハウ、広告宣伝力を生かす運営形態とする。			
当初予算額	3,000	(実績) 参加人数 負担金(鳥取市より)		
補正予算額	0	平成22年度 2,377人 3,000千円		
予算流・充用額	0	平成23年度 2,622人 3,000千円		
最終予算額	3,000	平成24年度 2,882人 3,000千円		
本年度決算額	3,000	【今後の課題・方向性】 今後も継続を行う。		
区分	決算額	【参考】		
財源内訳	0	前年度決算額 3,000		
国・県支出金	0	評価結果		
地方債	0	年々参加者が増加傾向にあり、鳥取市が全国にアピールできる大会へと成長しつつある。今後も運営体制を充実させ、コースの変更も視野に入れながら、参加者の増加につなげるよう継続する。		
その他	0			
一般財源	3,000			
計	3,000			
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収金	0			
その他	0			

教110	項目名	子どものころづくり支援「夢の教室」事業費		
主要な施策	子どものころづくり支援「夢の教室」事業費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】体育課スポーツ振興係 0857-20-3371			
款 教育費	【9次総の施策体系】1102			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P290(教097)			
目 体育振興費	【事業の概要】 スポーツや文化、芸術の分野で日本のトップレベルを極めた著名人等を「夢先生」として迎え、小学5年生を対象に、夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さを実技と講義を通じて子どもたちに伝えている。			
(単位:千円)	【事業内容】 授業は正規の授業2コマ(45分授業の2時限)で実施。 「夢先生」1名、アシスタント1名、サポートスタッフ1名で実施。 前半の1コマは「ゲームの時間」 体育館で体を動かしながら、「目的のために協力すること」「相手を思いやること」「フェアプレーの精神」を実技の中で気づいてもらう時間。 後半の1コマは、「トークの時間」 教室で、トップアスリート「夢先生」の体験談などをもとに、夢について話し合う時間及び子どもたちに自分の夢を考えてもらう時間。			
当初予算額	1,204	【事業の成果】 仲間と協力することの大切さや目標を持って行動することの大切さを学ぶ貴重な事業で、希望校も年々増えている。 平成23年度 1,204千円 7校、14クラスで実施 平成24年度 1,204千円 7校、12クラスで実施		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 拡充も視野に継続して実施する。		
予算流・充用額	0	【参考】		
最終予算額	1,204	前年度決算額 1,204		
本年度決算額	1,204	評価結果		
区分	決算額	いじめ、体罰などへの対応が求められるなか、仲間と協力することの大切さや目標を持って行動することの大切さを学ぶ貴重な事業であり、中学校への拡充も視野に継続して実施する。		
財源内訳	0			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	1,204			
計	1,204			
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収金	0			
その他	0			

教111	項目名	因幡但馬ジオパーク都市交流陸上競技大会補助金		
主要な施策	因幡但馬ジオパーク都市交流陸上競技大会補助金	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】体育課スポーツ振興係 0857-20-3371			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P290(教098)			
目 体育振興費	【事業の概要】 兵庫県北部の但馬と鳥取県東部地区は距離的に近く、同じ経済圏にありながら、児童・生徒のスポーツ交流は殆ど行われていなかった。2010年に山陰海岸がジオパークに認定され、地域間交流の機運が高まるなか、両地域の中学生の陸上競技大会の開催に対して補助を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 大会の運営に要する経費を補助し、中学生の陸上競技の交流を通じた両地域のスポーツや文化、経済交流の活性化を図った。			
当初予算額	100	(実績)参加者数 平成23年度:181人(鳥取県92人・兵庫県89人) 平成24年度:198人(鳥取県104人・兵庫県94人)		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 地域間交流の発展に寄与する大会への補助を継続的に実施する。		
予算流・充用額	0	【参考】		
最終予算額	100	評価結果		
本年度決算額	100	地域間交流の発展に寄与する事業として、今後も継続的に補助金を交付する。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	0	地域間交流の発展に寄与する事業として、今後も継続的に補助金を交付する。		
国・県支出金	0	地域間交流の発展に寄与する事業として、今後も継続的に補助金を交付する。		
地方債	0	地域間交流の発展に寄与する事業として、今後も継続的に補助金を交付する。		
その他	0	地域間交流の発展に寄与する事業として、今後も継続的に補助金を交付する。		
一般財源	100	地域間交流の発展に寄与する事業として、今後も継続的に補助金を交付する。		
計	100	地域間交流の発展に寄与する事業として、今後も継続的に補助金を交付する。		
前年度決算額	100	地域間交流の発展に寄与する事業として、今後も継続的に補助金を交付する。		

教112	項目名	子どもの運動遊び推進事業費		
主要な施策	子どもの運動遊び推進事業費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】課スポーツ振興係 0857-20-3371			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P291(教099)			
目 体育振興費	【事業概要】 文科省の全国体カテストでは、運動する子とほとんどしない子に二極化する傾向が明らかとなっている。 子どもたちに遊びを通じた運動習慣を定着させるため、ガイナレ鳥取の選手・スタッフが学校、社会教育施設等に出かけ、子どもたちと一緒に身体を動かしたり、話をしたりして、大勢の仲間と過ごす楽しさ・大切さを子どもたちに経験させる。			
(単位:千円)	【事業の成果】 プロスポーツ選手のノウハウを生かしたサッカー教室やこどもの動きづくり教室を各小学校及び地区公民館などと連携して展開。子どもの体力増進と運動のきっかけづくりにつながっている。			
当初予算額	1,633	(実績) 平成24年度:80回開催 参加者2,559人		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 平成27年度以降事業の見直しを図る。		
予算流・充用額	0	【参考】		
最終予算額	1,633	評価結果		
本年度決算額	1,633	平成24年度から実施しており、保育園、地区公民館等から事業継続の要望があるなど、事業が浸透しつつある。今後も継続して実施が必要な事業である。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	0	平成24年度から実施しており、保育園、地区公民館等から事業継続の要望があるなど、事業が浸透しつつある。今後も継続して実施が必要な事業である。		
国・県支出金	0	平成24年度から実施しており、保育園、地区公民館等から事業継続の要望があるなど、事業が浸透しつつある。今後も継続して実施が必要な事業である。		
地方債	0	平成24年度から実施しており、保育園、地区公民館等から事業継続の要望があるなど、事業が浸透しつつある。今後も継続して実施が必要な事業である。		
その他	0	平成24年度から実施しており、保育園、地区公民館等から事業継続の要望があるなど、事業が浸透しつつある。今後も継続して実施が必要な事業である。		
一般財源	1,633	平成24年度から実施しており、保育園、地区公民館等から事業継続の要望があるなど、事業が浸透しつつある。今後も継続して実施が必要な事業である。		
計	1,633	平成24年度から実施しており、保育園、地区公民館等から事業継続の要望があるなど、事業が浸透しつつある。今後も継続して実施が必要な事業である。		
前年度決算額	0	平成24年度から実施しており、保育園、地区公民館等から事業継続の要望があるなど、事業が浸透しつつある。今後も継続して実施が必要な事業である。		

教113	項目名	地区体育館管理費	
主要な施策	地区体育館管理費	ページ	46
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 体育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】		
目 体育施設費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P291(教100)、9月補正予算・P56(教011)、 12月補正予算・P36(教009)		
当初予算額	31,580	【事業の概要】	
補正予算額	2,466	体育館(市民体育館を除く鳥取地域24館、新市域15館)の維持管理を行う。	
予算流・充用額	81	【事業の成果】	
		体育館の維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。	
最終予算額	34,127	(実績)修繕費・光熱水費・火災保険料など地区体育館の維持管理費	
		平成21年度 38館 30,143千円	
		平成22年度 39館 29,720千円	
		平成23年度 39館 31,157千円	
本年度決算額	31,165	【今後の課題・方向性】	
		体育館の管理運営のあり方について、一部委託、指定管理者制度移行だけでなく、地元移管、廃止も含めて検討していく。	
区分	決算額	【参考】	
財源内訳		前年度決算額 31,157	
国・県支出金	0	評価結果	
地方債	0	全国の現状と比較し体育館の設置数が多く、老朽化も進んでいることから、一部委託、指定管理者制度移行のみならず、地元移管、老朽施設の廃止も含めて検討していく。	
その他	10,562		
一般財源	20,603		
計	31,165		

教114	項目名	体育施設管理費	
主要な施策	体育施設管理費	ページ	46
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 体育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】		
目 体育施設費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P292(教101)		
当初予算額	110,632	【事業の概要】	
補正予算額	0	次の施設について、指定管理者による民間活力を利用した管理運営を行う。	
予算流・充用額	10	①市民体育館・市民プール・千代テニスコート・城北テニスコート・鳥取市武道館 (管理期間:H21~25)指定管理者(公募):(一財)鳥取市教育福祉振興会	
		②鳥取市営サッカー場 (管理期間:H21~25)指定管理者(公募):(一財)鳥取県サッカー協会	
最終予算額	110,642	③鳥取市B&G海洋センター (管理期間:H21~25)指定管理者(公募):(株)エコール鳥取	
		④福部町ほっとスイミングプール (管理期間:H22~26)指定管理者(公募):(株)エヌ・エス・アイ	
本年度決算額	109,710	(実績)	
		平成21年度 99,071千円	
		平成22年度 105,110千円	
		平成23年度 109,810千円	
区分	決算額	【事業の成果】	
財源内訳		指定管理施設の維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。	
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】	
地方債	0	平成25年度から福部町ほっとスイミングプールが高齢社会課へ所管換となるほか、平成25年4月から若葉台スポーツセンター、同年7月から弓道場が新築オープンし、指定管理施設が増えることとなる。当面はこれらの体育施設の指定管理を継続しつつ、経費削減を図っていく。将来的には他の体育施設においても指定管理者制度の導入を検討する。	
その他	632		
一般財源	109,078		
計	109,710		
前年度決算額	109,810	評価結果	
		当面は現在の体育施設の指定管理者制度を継続しつつ、経費削減とサービスの向上に努める。	

教115	項目名	サッカー場整備費	
主要な施策	サッカー場整備費	ページ	45
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 体育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】		
目 体育施設費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P292(教102)、6月補正予算・P30(教008)		
当初予算額	594,502	【事業の概要】	
補正予算額	△90,419	(1) 大型映像装置設置工事(既存の電光掲示板の老朽化進行)	
		(2) 夜間照明取替工事(開場以来改修されず、劣化進行)	
		総事業費 503,891千円	
		①総合評価落札方式選定検討委員会費用②基本設計・監理業務③大型映像装置新設	
		④夜間照明取替⑤負担金(事務委託費)	
		(財源)	
		①スポーツ振興くじ助成金(toto) 補助率3/4 365,389千円	
		②バードスタジアム国際交流基金 128,078千円	
予算流・充用額	△2	【事業の成果】	
最終予算額	504,081	経年劣化していた、既存の電光掲示板及び夜間照明の改修を行った。十分な照度の確保によりナイターの試合を安定的に開催することが可能になったほか、大型映像装置の設置によりプロスポーツのエンターテインメント性と満足度の向上を図った。	
本年度決算額	503,891	【今後の課題・方向性】	
		鳥取市宮サッカー場(とりぎんバードスタジアム)は、平成7年に竣工したJリーグ基準を満たすサッカー専用競技場であり、ガイナレ鳥取のホームスタジアムである。	
		ガイナレ鳥取のJリーグ昇格の際、観客へのホスピタリティの向上や試合のエンターテインメント性の向上に向け、スタジアム環境の整備が求められた。今後も試合観戦に訪れる市民の満足度向上を図り、ガイナレ鳥取の集客基盤を向上させるため、Jリーグでの継続的・安定的な活動の基盤を整備していく。	
区分	決算額	【評価結果】	
財源内訳		ガイナレ鳥取の今後の飛躍のためにも、J1基準に適合した全国にアピールできる施設として、有利な財源を考慮しながら必要な改修に取り組む。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	495,069		
一般財源	8,822		
計	503,891		
前年度決算額	116,466		

教117	項目名	屋外体育施設管理費	
主要な施策	屋外体育施設管理費	ページ	45
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 体育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】		
目 体育施設費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P293(教103)		
当初予算額	18,084	【事業の概要】	
補正予算額	0	現在鳥取市には、多目的スポーツ広場やテニス場などの屋外体育施設が42施設あり、地域の身近な体育施設として多くの市民に利用されている。これらの屋外体育施設の維持管理を行う。	
		【事業の成果】	
		屋外体育施設の維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。	
		(実績) 修繕費・光熱水費など屋外体育施設の維持管理費	
		平成21年度 16,060千円	
		平成22年度 17,594千円	
		平成23年度 15,659千円	
予算流・充用額	△237	【今後の課題・方向性】	
最終予算額	17,847	屋外体育施設の管理運営のあり方について、一部委託、指定管理者制度移行だけでなく、地元移管、廃止も含めて検討していく。	
本年度決算額	16,442		
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	757		
一般財源	15,685		
計	16,442		
前年度決算額	15,659	【評価結果】	
		地元移管が適当な施設、廃止の検討を要する施設等、施設ごとの特性に応じた管理方法を検討する。	

教117	項目名	屋外体育施設整備事業費		
主要な施策	屋外体育施設整備事業費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P293(教104)、6月補正予算・P31(教009)			
目 体育施設費	【事業の概要】 4月に発生した強風で気高町龍見台テニスコートのフェンスが一部倒壊し、市民利用・中学校の部活動などに支障をきたすため修繕を行う。			
(単位:千円)	気高町龍見台テニスコート補修工事 人工芝部分張替 47㎡			
当初予算額	1,730	【事業の成果】 修繕を行い、市民の体育振興・健康増進に寄与する。		
補正予算額	271	【今後の課題・方向性】 老朽化した屋外体育施設を段階的に整備する。また、地域により利用に偏りのある屋外広場等市民と協働して管理していく方法を模索する。		
予算流・充用額	0	気高町龍見台テニスコート補修工事 人工芝部分張替 47㎡		
最終予算額	2,001	【事業の成果】 修繕を行い、市民の体育振興・健康増進に寄与する。		
本年度決算額	2,000	【今後の課題・方向性】 老朽化した屋外体育施設を段階的に整備する。また、地域により利用に偏りのある屋外広場等市民と協働して管理していく方法を模索する。		
区分	決算額	【事業の成果】 修繕を行い、市民の体育振興・健康増進に寄与する。		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 老朽化した屋外体育施設を段階的に整備する。また、地域により利用に偏りのある屋外広場等市民と協働して管理していく方法を模索する。	
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	2,000		
	計	2,000		
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 地元移管が適当な施設、廃止の検討を要する施設等、施設ごとの特性に応じた管理方法を検討する。	

教118	項目名	海洋センター管理費		
主要な施策	海洋センター管理費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P294(教105)、9月補正予算・P56(教012)			
目 体育施設費	【事業の概要】 佐治、気高、鹿野町B&G海洋センターは、地域の身近な体育施設として多くの市民に利用されている。これらの海洋センターの維持管理を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 B&G海洋センターの維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。			
当初予算額	12,780	(実績) 修繕費・光熱水費・日々雇用職員賃金など海洋センターの維持管理費 平成21年度 10,593千円 平成22年度 10,517千円 平成23年度 12,456千円		
補正予算額	8,750	【今後の課題・方向性】 B&G海洋センターの管理運営のあり方について、一部委託、指定管理者制度移行を含めた今後のあり方を検討していく必要がある。		
予算流・充用額	△401	【事業の成果】 B&G海洋センターの維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。		
最終予算額	21,129	【今後の課題・方向性】 B&G海洋センターの管理運営のあり方について、一部委託、指定管理者制度移行を含めた今後のあり方を検討していく必要がある。		
本年度決算額	19,887	【事業の成果】 B&G海洋センターの維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 B&G海洋センターの管理運営のあり方について、一部委託、指定管理者制度移行を含めた今後のあり方を検討していく必要がある。		
財源内訳	国・県支出金	0	【事業の成果】 B&G海洋センターの維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。	
	地方債	0		
	その他	4,504		
	一般財源	15,383		
	計	19,887		
(参考)	前年度決算額	12,456	評価結果 当面、直営管理を継続するが、指定管理者制度の活用も含めて今後の管理方法を検討する。	

教119	項目名	プール管理費		
主要な施策	プール管理費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 体育施設係 0857-20-3373			
款 教育費	【9次総の施策体系】 3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】			
目 体育施設費	予算事業別概要目次			
(単位:千円)	当初予算・P294(教106)、9月補正予算・P57(教013)			
当初予算額	6,706	【事業の概要】		
補正予算額	586	国府町農村勤労者福祉センタープール、河原市民プールの維持管理を行う。		
予算流・充用額	468	【事業の成果】		
最終予算額	7,760	プールの維持管理を行い、市民の体育振興と健康増進に寄与する。		
本年度決算額	7,280	(実績) 修繕費・光熱水費・日々雇用職員賃金などプールの維持管理費		
区分	決算額	平成21年度 9,880千円		
国・県支出金	0	平成22年度 7,264千円		
地方債	0	平成23年度 7,009千円		
その他	521	【今後の課題・方向性】		
一般財源	6,759	プールの管理運営のあり方について、一部委託、指定管理者制度移行を含めた今後のあり方を検討していく必要がある。		
計	7,280	その他の課題・方向性		
財源内訳		【今後の課題・方向性】		
国・県支出金	0	プールの管理運営のあり方について、一部委託、指定管理者制度移行を含めた今後のあり方を検討していく必要がある。		
地方債	0			
その他	521			
一般財源	6,759			
計	7,280			
(参考)		評価結果		
前年度決算額	7,009	中学校の授業や市民体育祭等各種大会でも利用されており、スポーツ振興に寄与している。今後は、指定管理者制度の活用も検討していく。		

教120	項目名	鳥取市弓道場整備事業費		
主要な施策	鳥取市弓道場整備事業費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 体育施設係 0857-20-3373			
款 教育費	【9次総の施策体系】 3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】			
目 体育施設費	予算事業別概要目次			
(単位:千円)	当初予算・P295(教107)			
当初予算額	370,067	【事業の概要】		
補正予算額	△ 37,673	鳥取市武道館弓道場は、6人立ちの仕様で手狭であることから、平成17年3月議会で、新弓道場建設の請願が採択されている。		
予算流・充用額	0	また、鳥取城跡整備事業及び鳥取西高整備事業の実施に伴い、現在の弓道場の撤去が予定されている。		
最終予算額	332,394	これらを背景に、平成20年9月より開催された「鳥取市弓道場建設検討委員会」の提言を受け、平成25年度供用開始を目指して新弓道場を整備する。		
本年度決算額	234,691	【新弓道場概要】		
区分	決算額	管理棟 (平屋建て、近的射場 (10人立)、巻ワラ道場、事務室等)		
国・県支出金	0	観覧席 (190席、車椅子用3席)		
地方債	221,900	遠的射場 (6人立)		
その他	0	防矢ネット		
一般財源	12,791	外構 (駐車場 69台、うち車椅子利用者用2台)		
計	234,691	【工事請負費】		
財源内訳		①鳥取市弓道場新築 (建築・電気・機械) 工事		
国・県支出金	0	②鳥取市弓道場駐車場ほか新設工事		
地方債	221,900	【事業の成果】		
その他	0	新弓道場の整備により中国大会レベルの大会等が開催されるようになり、地域の活性化及び市民の満足度が高まるほか、弓道人口の増加と競技力向上の相乗効果が見込まれる。		
一般財源	12,791	【今後の課題・方向性】		
計	234,691	平成25年7月より供用開始。		
(参考)		評価結果		
前年度決算額	22,163	平成25年7月に予定どおり供用開始した。		

教121	項目名	(仮称)若葉台スポーツセンター整備事業費		
主要な施策	(仮称)若葉台スポーツセンター整備事業費	ページ	46	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373 【9次総の施策体系】3103 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P295(教108)			
款 教育費	【事業の概要】			
項 保健体育費	(1) クラブハウス付芝グラウンド ①クラブハウス新設工事 ②芝グラウンド整備 ③夜間照明設備設置 ④駐車場等外構工事			
目 体育施設費	(2) 財源 スポーツ振興くじ助成金 (toto) 補助率4/5、2/3 64,919千円 都道府県フットボールセンター整備助成金 41,418千円 合併特例債			
(単位:千円)	(3) 管理形態 指定管理者制度を導入			
当初予算額	383,634	【事業の成果】		
補正予算額	△ 95,030	鳥取市土地開発公社長期保有土地対策実施計画に基づき、若葉台地内の市営住宅用地の取得を行い、塩漬け土地が解消された。		
予算流・充用額	86	幅広い利用により、市民のスポーツ振興・健康の増進に寄与する。 なお、平成25年シーズンからのJリーグクラブライセンス制度への対応可能な施設である。		
最終予算額	288,690	【今後の課題・方向性】		
本年度決算額	266,142	平成25年4月より供用開始。スポーツ大会の誘致による交流人口の拡大や地域スポーツのレベルアップを通して、まちの魅力や活力を創出する。		
区分	決算額	【参考】		
国・県支出金	0	前年度決算額		
地方債	151,600	13,493		
その他	106,337	評価結果		
一般財源	8,205	平成25年3月に整備を完了し、4月から供用開始した。		
計	266,142	分担金 0		
		負担金 0		
		使用料 0		
		手数料 0		
		財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収 106,337		
		その他 0		

教122	項目名	(仮称)若葉台スポーツセンター用地取得事業費		
主要な施策	(仮称)若葉台スポーツセンター用地取得事業費	ページ	46	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373 【9次総の施策体系】3103 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P296(教109)			
款 教育費	【事業の概要】			
項 保健体育費	鳥取市土地開発公社長期保有土地対策実施計画に基づき、若葉台地内の市営住宅用地の取得を行い、(仮称)若葉台スポーツセンターを整備する。			
目 体育施設費	所在地 鳥取市若葉台北二丁目 用地面積 24,938.62㎡ 取得金額 1,500,000千円 用地取得費は平成23、24年度の2ヶ年度で支出。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	750,000	鳥取市土地開発公社長期保有土地対策実施計画に基づき、若葉台地内の市営住宅用地の取得を行い、塩漬け土地が解消された。		
補正予算額	0	幅広い利用により、市民のスポーツ振興・健康の増進に寄与する。 なお、平成25年シーズンからのJリーグクラブライセンス制度への対応可能な施設である。		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】		
最終予算額	750,000	平成25年4月より供用開始。スポーツ大会の誘致による交流人口の拡大や地域スポーツのレベルアップを通して、まちの魅力や活力を創出する。		
本年度決算額	750,000	【参考】		
区分	決算額	前年度決算額		
国・県支出金	0	750,000		
地方債	712,500	評価結果		
その他	0	平成25年3月に整備を完了し、4月から供用開始した。		
一般財源	37,500	分担金 0		
計	750,000	負担金 0		
		使用料 0		
		手数料 0		
		財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収 0		
		その他 0		

教123	項目名	(仮称)若葉台スポーツセンター備品等整備事業費		
主要な施策	(仮称)若葉台スポーツセンター備品等整備事業費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 体育施設係 0857-20-3373			
款 教育費	【9次総の施策体系】 3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P296(教110)			
目 体育施設費	【事業の概要】 若葉台スポーツセンターの必要備品及び消耗品を整備する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取市土地開発公社長期保有土地対策実施計画に基づき、若葉台地内の市営住宅用地の取得を行い、塩漬け土地が解消された。 幅広い利用により、市民のスポーツ振興・健康の増進に寄与する。 なお、平成25年シーズンからのJリーグクラブライセンス制度への対応可能な施設である。			
当初予算額	20,700	【今後の課題・方向性】 平成25年4月より供用開始。幅広い利用により、スポーツ大会の誘致による交流人口の拡大や地域スポーツのレベルアップを通して、まちの魅力や活力を創出する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	20,700	【参考】		
本年度決算額	18,423	前年度決算額 0		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		平成25年3月に整備を完了し、4月から供用開始した。		
国・県支出金	0	分担金 0		
地方債	0	負担金 0		
その他	0	使用料 0		
一般財源	18,423	手数料 0		
計	18,423	財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		

教124	項目名	(仮称)鳥取市スケートリンク検討委員会費		
主要な施策	(仮称)鳥取市スケートリンク検討委員会費	ページ	46	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 体育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 体育施設係 0857-20-3373			
款 教育費	【9次総の施策体系】 3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P297(教111)			
目 体育施設費	【事業の概要】 平成18年に鳥取市内の民間スケート場が閉鎖され、中国5県でスケート場がない県は鳥取県のみとなった。県内の子供たちは氷上スポーツを身近に体験する場を失い、競技選手たちは県外での練習を強いられるなど、今後の地元選手の育成衰退が懸念されている。こうしたことから、平成18年以降、競技人口が多く指導者も充実している鳥取市へのスケートリンク建設要望が寄せられている。			
(単位:千円)	冬季オリンピックでのフィギュアスケート、カーリング人気などもあり、子どもから大人まで氷上スポーツへの関心は高まっている。また、スケート競技は国民体育大会の正式種目でもあるが、競技人口の拡大・競技力の向上などの効果も踏まえ、地元で氷上スポーツに親しめる施設整備について検討する。			
当初予算額	136	【事業の成果】		
補正予算額	0	1 スケートリンク検討委員会の設置・会議の開催		
予算流・充用額	0	2 先進地視察(鳥根県浜田市「サン・ビレッジ浜田」)		
最終予算額	136	3 スケートリンク需要、他市事例など検討資料作成		
本年度決算額	72	【今後の課題・方向性】 今後も建設方式及びコスト、ランニングコスト、利用者数、収入見込など様々な事項について調査し、検討を行う。		
区分	決算額	【参考】		
財源内訳		今後も建設方式及びコスト、ランニングコスト、利用者見込、収入見込など様々な事項について調査し、検討を要する。		
国・県支出金	0	分担金 0		
地方債	0	負担金 0		
その他	0	使用料 0		
一般財源	72	手数料 0		
計	72	財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		
前年度決算額	0			

教125	項目名	鳥取市弓道場用地取得事業費	
主要な施策	鳥取市弓道場用地取得事業費	ページ	46
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 体育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P297(教112)		
目 体育施設費	【事業の概要】 鳥取市武道館弓道場は、6人立ちの仕様で手狭であることから、平成17年3月議会で、新弓道場建設の請願が採択されている。 また、鳥取城跡整備事業及び鳥取西高整備事業の実施に伴い、現在の弓道場の撤去が予定されている。 これらを背景に、平成20年9月より開催された「鳥取市弓道場建設検討委員会」の提言を受け、平成25年度供用開始を目指して新弓道場を整備する。		
(単位:千円)	鳥取市弓道場の整備のため用地を購入 (起債対象事業費113,700,000円 充当率95%)		
当初予算額	119,750	【事業の成果】 新弓道場の整備により中国大会レベルの大会等が開催されるようになり、地域の活性化及び市民の満足度が高まるほか、弓道人口の増加と競技力向上の相乗効果が見込まれる。	
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 平成25年7月より供用開始。	
予算流・充用額	0	鳥取市弓道場の整備のため用地を購入 (起債対象事業費113,700,000円 充当率95%)	
最終予算額	119,750	【事業の成果】 新弓道場の整備により中国大会レベルの大会等が開催されるようになり、地域の活性化及び市民の満足度が高まるほか、弓道人口の増加と競技力向上の相乗効果が見込まれる。	
本年度決算額	119,750	【今後の課題・方向性】 平成25年7月より供用開始。	
区分	決算額	鳥取市弓道場の整備のため用地を購入 (起債対象事業費113,700,000円 充当率95%)	
財源内訳	国・県支出金 0	【事業の成果】 新弓道場の整備により中国大会レベルの大会等が開催されるようになり、地域の活性化及び市民の満足度が高まるほか、弓道人口の増加と競技力向上の相乗効果が見込まれる。	
	地方債 113,700	【今後の課題・方向性】 平成25年7月より供用開始。	
	その他 0	鳥取市弓道場の整備のため用地を購入 (起債対象事業費113,700,000円 充当率95%)	
	一般財源 6,050	【事業の成果】 新弓道場の整備により中国大会レベルの大会等が開催されるようになり、地域の活性化及び市民の満足度が高まるほか、弓道人口の増加と競技力向上の相乗効果が見込まれる。	
	計 119,750	【今後の課題・方向性】 平成25年7月より供用開始。	
(参考)	評価結果	平成25年7月に予定どおり供用開始した。	
前年度決算額	0		

教126	項目名	地域社会教育活動総合事業費	
主要な施策	地域社会教育活動総合事業費	ページ	44
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 市立図書館	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182		
款 教育費	【9次総の施策体系】2102		
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P298(教113)		
目 市民図書館費	【事業の概要】 ①各図書館で毎週定期的に「おはなし会」の実施 ②絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施 ③保健センターが行なうブックスタート事業に協力 ④鳥取大学等と連携しての一般向け講座の実施 ⑤中央図書館開館30周年記念事業の実施		
(単位:千円)	【事業の成果】 1 延べ200回を超える事業を実施し、多くの市民の参加があった。 2 ボランティアの養成も図られた。 3 市民と共に市立図書館の30年を振り返るとともに、30年記念誌及びDVD映像記録を作成した。		
当初予算額	1,601	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
予算流・充用額	71	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
最終予算額	1,672	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
本年度決算額	1,595	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
財源内訳	国・県支出金 0	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
	地方債 0	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
	その他 0	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
	一般財源 1,595	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
	計 1,595	【今後の課題・方向性】 1 ボランティアの再研修の場の創出 2 地域や学校等関連機関と連携してボランティアの紹介や活動の場の拡大	
(参考)	評価結果	子どもの読書活動推進に対する認識が高まり、読み聞かせ研修講座などボランティア養成講座への参加希望が多い。ボランティアを養成しながら、地域や学校、公民館と図書館とが連携し合い、それぞれの地域の読書力を高めたい。また、高齢者の図書館利用も増えており、今後、音読教室など新たな講座にも取り組み、図書館利用をとおして、心豊かな生活の実現や地域文化の発展、課題解決などを図りたい。	
前年度決算額	1,013		

教127	項目名	図書館情報管理システム処理費
------	-----	----------------

主要な施策	図書館情報管理システム処理費	ページ	44
-------	----------------	-----	----

所 属 名	教育委員会事務局 市立図書館
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	市民図書館費

(単位:千円)	
当初予算額	10,715

補正予算額	△ 457
-------	-------

予算流・充用額	△ 160
---------	-------

最終予算額	10,098
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収	0
その他	0

本年度決算額	9,894
--------	-------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	9,894
計	9,894

【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182

【9次総の施策体系】2102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P298(教114)

【事業の概要】  
 1 図書館システムの運用  
 2 図書館システムの更新  
 図書館システムを新システムに更新し、より迅速で多彩な図書館サービスの提供を目指す。

【事業の成果】  
 1 市民の図書館利用の利便性向上  
 2 図書、利用者、貸出管理及び図書購入整備の効率性向上  
 3 地域間格差の是正  
 4 利用者によるインターネットでの検索、予約受付、貸出期間延長などのサービスの拡張

【今後の課題・方向性】  
 新システムの効果的な運用を図りながら一層の利便性の強化を図る。

(参考)	
前年度決算額	8,760

評価結果	市町村合併に対応し、平成18年度に3館6室のコンピュータシステムを統合したことで、市民の図書館利用の利便性は飛躍的に向上した。平成24年には公募型のプロポーザル方式により経費を抑えながら、より高機能のシステムに更新した。セルフ利用の促進を図ることで貸出業務での人的な省力化を図る一方、これまで不十分であった資料相談や資料案内等の利用者サービスの充実を図る。
------	--